

2024

放送大学学園要覧

令和6年度

THE OPEN  
UNIVERSITY  
OF JAPAN

 放送大学学園

文部科学省・総務省所管

# 設立の趣旨・目的

放送大学学園法は、放送大学の設置及び運営に関し必要な事項を定めることにより、大学教育の機会に対する広範な国民の要請にこたえるとともに、大学教育のための放送の普及発達を図ることを目的として制定されました。

放送大学学園は、同法に基づき設立された学校法人であり、放送大学を設置し、放送による授業や、全国各地の学習者の身近な場所において面接による授業等を行うことを目的としています。

放送大学には学部及び大学院を置き、次のように目的を定めています。

- 1 各専門分野における学術研究を通じて新しい教養の理念を追求し、放送を活用して大学教育を行い、併せて広く生涯学習の要望に応えること(放送大学学則)
- 2 生涯にわたって学ぶ意欲を有する学習者に対し、学術の理論及び応用を教授し、その深奥を極め、又は高度の専門性が求められる社会的役割を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことによって、文化の進展並びに社会と地域の発展に寄与すること(放送大学大学院学則)

## 放送大学学園要覧 2024 目次

▶ 理事長 挨拶	3	▶ 大学院博士後期課程	36
▶ 学長 挨拶	4	▶ 単位互換・資格等	41
▶ 沿革	5	▶ 科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)	45
▶ 組織	6	▶ インターネット配信公開講座	46
▶ 特色	13	▶ 学習センター	47
▶ 放送大学の教育システム・放送システム	14	▶ 在学生の概要	49
▶ 教養学部	18	▶ 卒業生等の概要	53
▶ 大学院修士課程	28		



▶ 次世代教育研究開発センター・IR室・ 障がいに関する学生支援相談室・ 公認心理師教育推進室・ データサイエンス教育推進室	55
▶ 施設紹介	57
▶ 土地・建物一覧・予算	58
▶ 放送大学学園案内図	60

## 放送大学のシンボリックマークについて

制作 永井一正氏



1. 知識を吸収し、集約し、人格形成され、  
外に向かって上昇していくことを表す。
2. 多数の人々が教育を受ける機会を表す。
3. 白は知識の吸収を、ブルーは人格の形成を表す。

# 理事長挨拶

放送大学学園理事長

## 高橋 道和



放送大学は、特別な学校法人である放送大学学園により設置された私立大学です。私立大学は、創設者の意思＝建学の精神に基づいて運営されるのが常ですが、本学の建学の精神は、「大学教育の機会に対する広範な国民の要請にこたえ」「大学教育のための放送の普及発達を図る」(放送大学学園法第1条)ことであると言えるでしょう。その精神に基づいて「学びたい人が、いつでも、どこでも学べる開かれた大学」の実現に努め、1985年の学生受入れから39年間の累計で、約186万人の学生が学び、約14.5万人が卒業・修了しています。

一方でこの間に、大学進学率の上昇、平均寿命や就業期間の延伸、産業・職業構造の転換、放送・通信の技術革新など、学園・大学を取り巻く状況は劇的に変わりました。2020年に発生した新型コロナウィルスによる世界規模のパンデミックもその一例です。これらの変化に対応するため、修士課程・

博士後期課程の設置、放送授業番組のインターネット配信、インターネットで単位修得が完結するオンライン授業の開講、地上放送・CS放送からBSマルチチャンネル放送への一元化、Web単位認定試験の導入、ライブWeb授業の開講など、関係者の尽力により、不断の改革が重ねられてきました。

2024年4月には、新たに次世代教育研究開発センターを設置しました。同センターにおいては、放送大学の教授形態の多様性と諸特性を踏まえ、メディアを活用した次世代教育の研究開発を行うとともに、先駆的なコンテンツの企画・制作・評価を一貫して進めてまいります。また、内外の研究機関・企業等と技術的・人的ネットワークを形成し、次世代を見据えた遠隔高等教育の研究開発を推進してまいります。

2024年度に「放送大学学園中期計画」(2022年策定の6カ年計画)の折り返し点を迎えます。今後、同計画を

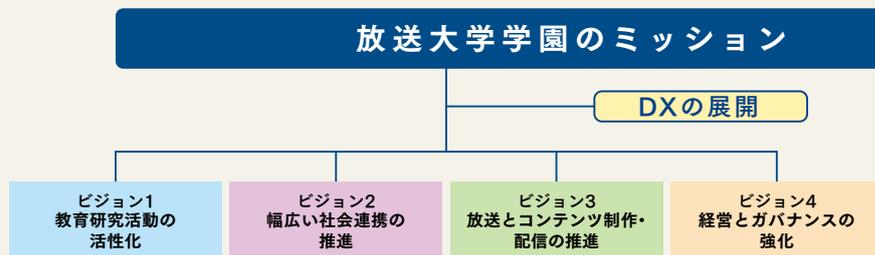
踏まえ、質の高い放送授業・オンライン授業の提供や多彩な面接授業・ライブWeb授業の開設に引き続き努めるとともに、リカレント教育ニーズへの対応、在外邦人や外国人への教育機会の提供も含めた教育の国際化の推進、障がいのある学生に対する学習支援の充実、企業を含めた関係機関・団体との連携などの諸課題に積極的に取り組んでまいります。

我が国の中核的な生涯学習機関である放送大学の一層の発展に努めてまいりますので、関係の皆様方のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

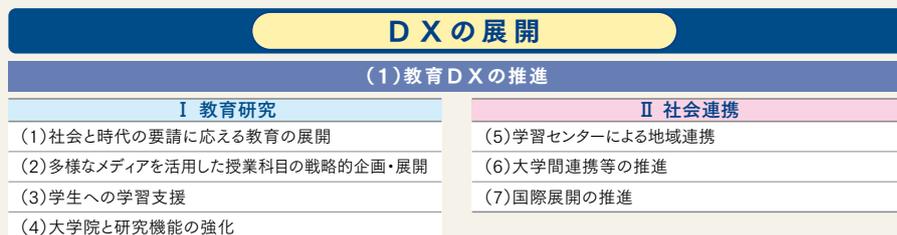
### 歴代理事長

- 藤田 健治  
昭和56.7.1 ~ 昭和58.6.30
- 香月 秀雄  
昭和58.7.1 ~ 昭和61.7.15
- 宮地 貫一  
昭和61.7.16 ~ 平成3.6.30
- 阿部 充夫  
平成3.7.1 ~ 平成9.6.30
- 井上 孝美  
平成9.7.15 ~ 平成17.9.30
- 御手洗 康  
平成17.10.1 ~ 平成23.3.31
- 白井 克彦  
平成23.4.1 ~ 平成29.3.31
- 有川 節夫  
平成29.4.1 ~ 令和4.1.31
- 高橋 道和  
令和4.4.1 ~

### 放送大学学園中長期ビジョン2033



### 放送大学学園中期計画



# 学長挨拶

放送大学長

## 岩永 雅也

1983年に開学した放送大学は、制度上、「放送大学学園法」に基づいて設置された特別な学校法人・放送大学学園が開設する私立大学ですが、創設の経緯や国からの運営費補助金の規模などに関しては、国立大学に極めて近い性格を持つ大学です。その原点は、半世紀以上前、1967年の社会教育審議会への当時の文相の諮問「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」に求めることができますが、諮問の背景には、第一に、大学紛争によって明らかになった諸問題に対して有効な大学教育改革が求められていたこと、第二に、実用化されるUHFおよびFM波の教育分野での利用が模索されていたこと、そして第三に、世界的な生涯教育推進の潮流がありました。その諮問への答申を受けて、1969年文部省は『放送大学』の設立について」を公表し、放送大学の名称もそのときに定められました。そうした背景のもと

に出発したことで、放送大学は「いつでも、どこでも、誰もが学べる開かれた大学」を標榜しつつ、他の伝統的な大学にはなかった多様な社会的使命を掲げることとなりました。それは、①生涯学習機関として広く社会人等に大学教育機会を提供し、②新しい高等教育システムとして新規高卒者に対し柔軟な大学進学機会を保障し、③既存の大学との連携協力のもと単位互換、教員交流、放送教材の普及などにより大学教育全体を改善する、といったミッションです。現在はそれに、④職業・資格に関わるリカレント教育を行うことが加わり、単に「開かれた大学」から「自由に多様に学べる大学」へと脱皮を図っています。今日の放送大学は、学士課程のみならず大学院修士課程・博士後期課程をも有する日本最大の遠隔大学です。BSチャンネルによるテレビ・ラジオの放送授業のほか、インターネットを利用したオンライン科目などをあわせ、每学期約400科目に及ぶ授業を多様なメディ



アにより提供しています。また、全国57カ所に設置された学習センター、サテライトスペースで、年間約3,000科目の面接授業を開設しています。インターネットを利用する同時双方向のライブWeb授業も増えています。設置されている学部は教養学部のみ、大学院は文化科学研究科のみですが、カリキュラムは、健康科学、生活科学、人間発達科学、社会科学、人文学、情報学、そして自然環境科学など、一般の総合大学に匹敵する広がりを持っています。現在、学部と大学院を合わせて8万人以上の在学生の方々が、自分の学びたい領域の科目を、自身の都合とペースに合わせ、全国各地で学んでいます。

教養教育の充実を図り、社会の諸要請に迅速に対応するため、大学を活性化し機動性を高めるとともに、「学びたい人が、いつでも、どこでも、学べる開かれた大学」の諸活動を推進する

### 教学ビジョン2027

#### 基本理念

ひとりひとりに最適な学びを放送大学から

I 社会と時代の要請に応える教育改革

II 教育DXの推進とデジタルデバイドの解消

III 研究する大学としての機能の充実

IV 連携機能の充実と社会貢献

放送大学学園の教育研究をはじめとする全ての活動のデジタル化を推進し、デジタル変革(DX)を展開する。

#### (2) 学園DXの推進

##### III 放送とメディア

- (8) 放送番組の充実
- (9) インターネットを活用した授業の充実
- (10) 放送による教育支援

##### IV 経営とガバナンス

- (11) 学園資金や施設設備の有効活用
- (12) ダイバーシティと包摂性に配慮した経営
- (13) 情報発信と広報活動の強化

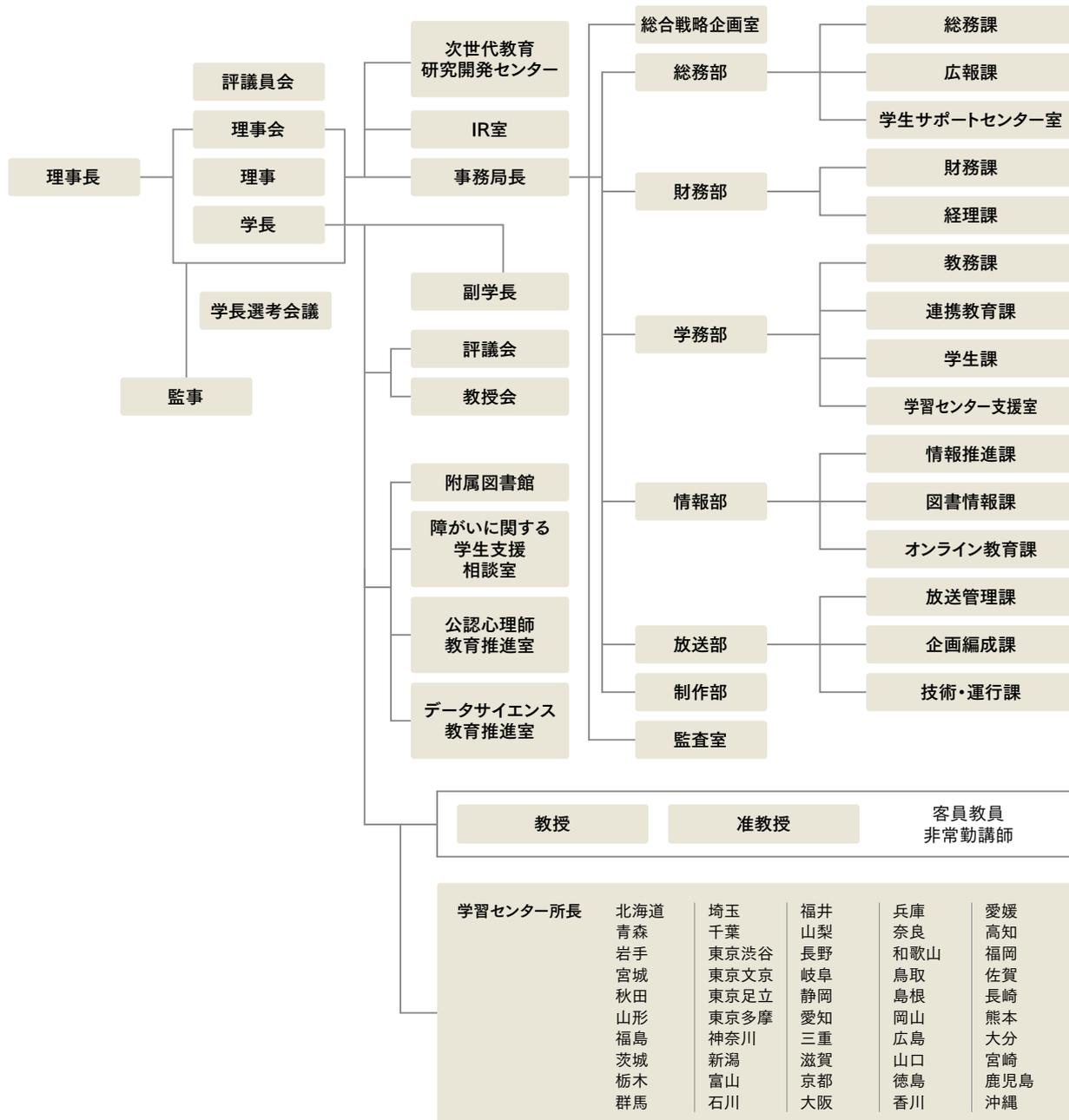
#### 歴代学長

- 香月 秀雄  
昭和58. 4. 1 ~ 平成元. 4. 30
- 甲田 和衛  
平成元. 5. 1 ~ 平成4. 3. 31
- 小尾 信彌  
平成4. 4. 1 ~ 平成10. 3. 31
- 吉川 弘之  
平成10. 4. 1 ~ 平成13. 4. 30
- 丹保 憲仁  
平成13. 5. 1 ~ 平成19. 4. 30
- 石 弘光  
平成19. 5. 1 ~ 平成23. 4. 30
- 岡部 洋一  
平成23. 5. 1 ~ 平成29. 3. 31
- 來生 新  
平成29. 4. 1 ~ 令和3. 3. 31
- 岩永 雅也  
令和3. 4. 1 ~

# 沿革

昭和42年(1967)	11月	●文部省社会教育審議会に対し「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」諮問
昭和44年(1969)	3月	●文部省社会教育審議会「映像放送およびFM放送による教育専門放送のあり方について」答申
	11月	●文部省放送大学問題懇談会が文部・郵政両大臣に意見書提出
昭和45年(1970)	7月	●文部省放送大学準備調査会「放送大学の設立について」報告書提出
昭和49年(1974)	3月	●文部省放送大学(仮称)設置に関する調査研究会議「放送大学(仮称)の基本構想」提出
昭和50年(1975)	12月	●文部省放送大学創設準備に関する調査研究会議「放送大学の基本計画に関する報告」提出
昭和53年(1978)	10月	●国立大学共同利用機関として「放送教育開発センター(現オンライン教育センター)」設立
昭和56年(1981)	6月	●放送大学学園法(昭和56年法律第80号)公布・施行
	7月	●放送大学学園設立
昭和58年(1983)	4月	●放送大学設置
昭和59年(1984)	11月	●東京放送局予告放送開始
昭和60年(1985)	4月	●学習センター(群馬・埼玉・千葉・東京第一・東京第二・神奈川)学生受入れ開始・放送(テレビ及びFMラジオ)による授業開始
昭和62年(1987)	4月	●諏訪地区学習センター学生受入れ開始
	11月	●アジア公開大学連合(AAOU)加盟
平成元年(1989)	4月	●3学期制から2学期制への移行 ●第1回卒業式の挙行
平成2年(1990)	6月	●附属図書館開館
	10月	●ビデオ学習センター学生受入れ開始
平成6年(1994)	6月	●ビデオ学習センターを地域学習センターに改組
平成9年(1997)	10月	●委託放送業務認定(CSデジタル放送)
平成10年(1998)	1月	●CSデジタル放送による全国放送開始
	4月	●地区学習センター及び地域学習センターを学習センターに改組
	10月	●学習センター(和歌山・徳島・佐賀・鹿児島)学生受入れ開始により、すべての都道府県への学習センターの設置が完了
平成12年(2000)	1月	●国際遠隔教育評議会(ICDE)加盟
	12月	●放送大学大学院設置認可
平成13年(2001)	4月	●放送大学大学院修士課程設置
平成14年(2002)	4月	●放送大学大学院修士課程学生受入れ開始・放送による授業開始
	12月	●放送大学の設置主体を特別な学校法人とするため、放送大学学園法(平成14年法律第156号)公布
平成15年(2003)	10月	●放送大学学園法(平成14年法律第156号)の施行に伴い、特殊法人から特別な学校法人に移行
平成16年(2004)	3月	●最初の大学院修士課程学位記の授与
平成18年(2006)	12月	●地上デジタル放送開始(関東エリア)
平成19年(2007)	4月	●放送授業番組(ラジオ)のインターネット配信開始(テレビは平成23年(2011)4月)
平成21年(2009)	4月	●ICT活用・遠隔教育センター設置
平成23年(2011)	7月	●地上アナログ放送終了(関東エリア)
	10月	●BSデジタル放送開始
平成24年(2012)	3月	●CSデジタル放送終了
平成25年(2013)	4月	●ICT活用・遠隔教育センターを教育支援センターに改組
	10月	●放送大学大学院課程変更認可
平成26年(2014)	4月	●放送大学大学院博士後期課程設置
	10月	●放送大学大学院博士後期課程学生受入れ開始
平成27年(2015)	4月	●オンライン授業配信開始
平成29年(2017)	4月	●教育支援センターをオンライン教育センターに改組
	9月	●最初の大学院博士後期課程学位記の授与
平成30年(2018)	4月	●学習教育戦略研究所設置
	9月	●地上デジタル放送及びFMラジオ放送終了
	10月	●BSマルチチャンネル放送開始
令和2年(2020)	5月	●インターネット配信公開講座 配信開始
令和4年(2022)	5月	●ライブWeb授業開始(前年度より試行した「同時双方向Web授業」を改称)
	7月	●IBT(Internet-Based Testing)による単位認定試験の試行開始
令和6年(2024)	4月	●学習教育戦略研究所及びオンライン教育センターを次世代教育研究開発センターに改組
	4月	●IR室設置

## 組織図 (令和6年4月1日現在)



## 役員（令和6年4月1日現在）

理事長	高橋 道和
理事(学長)	岩永 雅也
理事	里見 朋香
〃	樽川 流
〃	中西 悦子
〃	近藤 智嗣

理事(非常勤)	高橋 裕子(津田塾大学長)
〃	佐々木 泰子(国立大学法人お茶の水女子大学長)
〃	等々力 健(学校法人NHK学園理事長)
監事(非常勤)	出口 利定(前国立大学法人東京学芸大学長)
〃	大河原 遼平(弁護士)

## 評議員会評議員（令和6年4月1日現在）

浅井 清文	一般社団法人公立大学協会副会長(名古屋国立大学長)
石井 潔	放送大学静岡学習センター所長
伊藤 通子	東京都市大学教授
牛木 辰男	一般社団法人国立大学協会理事(新潟大学長)
音 好宏	上智大学教授
加藤 和弘	放送大学副学長
河村 潤子	国立教育政策研究所名誉所員 元文部科学省生涯学習政策局長
工藤 貴子	放送大学群馬学習センター所長
熊埜御堂 朋子	日本放送協会理事
佐々木 泰子	国立大学法人お茶の水女子大学長
下夷 美幸	放送大学教授
高橋 裕子	津田塾大学長
高橋 陽一	公益財団法人私立大学通信教育協会理事長(武蔵野美術大学教授)

※50音順

田中 愛治	日本私立大学団体連合会会長(早稲田大学総長)
辻 篤子	中部大学学術推進機構特任教授
等々力 健	学校法人NHK学園理事長
冨塚 昌子	千葉県教育委員会教育長
長谷川 眞理子	独立行政法人日本芸術文化振興会理事長
羽田 正	トヨタ財団理事長
林 徹	放送大学副学長
福田 益和	全国専修学校各種学校総連合会会長 (学校法人福田学園理事長)
松井 房樹	株式会社MM総研顧問
御手洗 康	一般財団法人放送大学教育振興会理事長
南谷 雄司	放送大学同窓会連合会会長
本橋 春紀	一般社団法人日本民間放送連盟事務局長
横手 幸太郎	国立大学法人千葉大学長
渡辺 善子	JBCCホールディングス株式会社取締役

## 学長選考・監察会議委員（令和6年4月1日現在）

浅井 清文	一般社団法人公立大学協会副会長(名古屋国立大学長)
有馬 道久	放送大学香川学習センター所長
河村 潤子	国立教育政策研究所名誉所員、 元文部科学省生涯学習政策局長
近藤 智嗣	放送大学副学長

※50音順

関根紀子	放送大学教授
羽田 正	トヨタ財団理事長
李 鳴	放送大学教授
松井 房樹	株式会社MM総研顧問

## 放送大学学園組織（令和6年4月1日現在）

### 事務局

事務局長	羽鳥 政男
事務局審議役	伊藤 嘉規
財務部長	北原 文幸
学務部長	高橋 慶匡
情報部長	荒井 幸男
放送部長	斉藤 康弘

制作部長	足立 圭介
事務局参事役 総合戦略企画室長	杉江 達也
事務局参事役	山本 学
事務局参事役	小野 耕志
事務局参事役	佐々木 秀樹

### 次世代教育研究開発センター

次世代教育研究開発センター長	中川 一史
----------------	-------

### IR室

IR室長	加藤 和弘
------	-------

## 放送大学教員組織（令和6年4月1日現在）

## 学長・副学長

学長	岩永 雅也
副学長(理事)	近藤 智嗣
副学長	加藤 和弘
副学長	林 徹

## 附属図書館長

教授	野崎 敏
----	------

## 障がいに関する学生支援相談室長

教授	角田 哲也
----	-------

## 公認心理師教育推進室長

特任教授	桑原 知子
------	-------

## データサイエンス教育推進室長

教授	中谷 多哉子
----	--------

## 評議会評議員

学長	岩永 雅也
副学長	近藤 智嗣
副学長	加藤 和弘
副学長	林 徹
教授	野崎 敏
教授	山内 豊明
教授	岩崎 久美子
教授	原田 順子
教授	滝浦 真人
教授	芝崎 順司
教授	安池 智一
特任教授	有馬 道久
特任教授	山室 恭子
教授	関根 紀子
教授	李 鳴
教授	高橋 秀明
教授	中川 一史

## 学習センター所長

北海道学習センター所長	山田 義裕
青森学習センター所長	石川 善朗
岩手学習センター所長	西崎 滋
宮城学習センター所長	高橋 満
秋田学習センター所長	倉林 徹
山形学習センター所長	安田 弘法
福島学習センター所長	中田 スウラ
茨城学習センター所長	小野寺 淳

栃木学習センター所長	伊東 明彦
群馬学習センター所長	工藤 貴子
埼玉学習センター所長	川又 伸彦
千葉学習センター所長	高橋 浩之
東京渋谷学習センター所長	山室 恭子
東京文京学習センター所長	熊野 純彦
東京足立学習センター所長	最上 善広
東京多摩学習センター所長	尾崎 正峰
神奈川学習センター所長	大谷 英雄
新潟学習センター所長	大原 謙一
富山学習センター所長	森岡 裕
石川学習センター所長	千木 昌人
福井学習センター所長	小野田 信春
山梨学習センター所長	村松 俊夫
長野学習センター所長	大塚 勉
岐阜学習センター所長	野々村 修一
静岡学習センター所長	石井 潔
愛知学習センター所長	根本 二郎
三重学習センター所長	梅川 逸人
滋賀学習センター所長	平井 肇
京都学習センター所長	玉田 芳史
大阪学習センター所長	金水 敏
兵庫学習センター所長	岡田 修一
奈良学習センター所長	井上 容子
和歌山学習センター所長	宗森 純
鳥取学習センター所長	渡邊 文雄
島根学習センター所長	出口 顕
岡山学習センター所長	田仲 洋己
広島学習センター所長	吉村 幸則
山口学習センター所長	杉浦 崇夫
徳島学習センター所長	橋爪 正樹
香川学習センター所長	有馬 道久
愛媛学習センター所長	吉田 正広
高知学習センター所長	深見 公雄
福岡学習センター所長	久枝 良雄
佐賀学習センター所長	滝澤 登
長崎学習センター所長	山下 敬彦
熊本学習センター所長	谷 時雄
大分学習センター所長	越智 義道
宮崎学習センター所長	石川 千佳子
鹿児島学習センター所長	高津 孝
沖縄学習センター所長	川本 康博

《教養学部》

■専任教員(令和6年4月1日現在)(専任教授・准教授とその専門分野)

区分	氏名	専門分野
生活と福祉	教授 朝倉 富子	食品科学
	教授 石丸 昌彦	精神医学 ※2
	教授 井出 訓	老年看護学
	教授 川島 聡	障害法学・国際人権法学 ※2
	教授 下夷 美幸	家族社会学
	教授 関根 紀子	運動生理学
	教授 田城 孝雄	内科学・公衆衛生学・地域医療学
	教授 戸ヶ里 泰典	基礎看護学・保健医療社会学
	教授 奈良 由美子	生活経営学・リスクマネジメント論
	教授 山内 豊明	臨床看護学
教授 山田 知子	社会福祉学	
准教授 川原 靖弘	計測工学・生活科学	
心理と教育	教授 岩崎 久美子	生涯学習論
	教授 岩永 雅也	教育社会学・生涯学習
	教授 苑 復傑	教育経済学・教育社会学
	教授 大山 泰宏	心理臨床学 ※2 ※3
	教授 進藤 聡彦	教育心理学 ※3
	教授 高橋 秀明	認知心理学・情報生態学
	教授 橋本 鉦市	高等教育論
	教授 橋本 朋広	臨床心理学
	教授 丸山 広人	臨床心理学
	教授 向田 久美子	発達心理学・文化心理学
社会と産業	教授 森 津太子	社会心理学・認知心理学 ※1
	准教授 小林 祐紀	教育学・情報教育・カリキュラム研究
	准教授 櫻井 直輝	教育政策・教育行政学
	准教授 佐藤 仁美	臨床心理学 ※2 ※3
	准教授 高梨 利恵子	臨床心理学
	准教授 波田野 茂幸	臨床心理学 ※3
	教授 北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	特任教授 児玉 晴男	新領域法学・情報社会学
	教授 玉野 和志	社会学(都市・地域)

区分	氏名	専門分野
社会と産業	教授 古橋 元	農業経済学
	教授 原田 順子	経営学・人的資源管理
	教授 堀部 安嗣	環境デザイン
	特任教授 松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授 松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授 柳原 正治	国際法
	教授 山岡 龍一	政治学
	教授 李 鳴	商法(保険法)
	准教授 桑田 学	経済思想史・環境思想
	准教授 齋藤 正章	会計学・管理会計
人間と文化	准教授 白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	特任教授 魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授 大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授 大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授 河原 温	西洋中世・ルネサンス史・都市社会史
	特任教授 近藤 成一	日本中世史・古文書学
	教授 杉森 哲也	日本史学
	教授 滝浦 真人	言語学
	教授 野崎 敏	フランス文学・映画論
	教授 宮本 徹	中国語学
情報	特任教授 宮本 陽一郎	アメリカ文学・カルチュラルスタディーズ
	准教授 小田 田章	中国史・東洋史・史学史・地方史誌学
	准教授 鶴見 英成	博物館学・アンデス文明論
	准教授 船岡 美穂子	西洋美術史
	教授 青木 久美子	情報コミュニケーション学 ※1
	教授 浅井 紀久夫	マルチメディア情報学
	教授 大西 仁	認知科学

区分	氏名	専門分野
情報	教授 加藤 浩	教育工学 ※1
	教授 近藤 智嗣	教育工学
	教授 芝崎 順司	教育工学
	教授 鈴木 一史	計算機科学
	教授 辰己 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授 辻 靖彦	教育工学
	教授 中川 一史	メディア教育・情報教育 ※1
	教授 中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
	教授 仁科 エミ	情報環境学
	特任教授 広瀬 洋子	メディア教育(障害者支援)・社会人進学 ※2
自然と環境	教授 伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
	教授 森本 容介	教育工学 ※1
	教授 柳沼 良知	情報工学
	教授 山田 恒夫	情報学・教育学・学習心理学
	准教授 秋光 淳生	数理工学
	准教授 葉田 善章	情報工学・教育学
	准教授 平岡 齊士	教育学・認知心理学
	教授 石崎 克也	科学
	教授 大森 聡一	地球惑星科学・岩石学
	教授 加藤 和弘	環境生態学・景観生態学
自然と環境	教授 岸根 順一郎	物理学
	教授 隈部 正博	数学
	特任教授 谷口 義明	宇宙物理学・銀河天文学・光学・赤外線天文学
	教授 二河 成男	生命情報科学・遺伝学
	教授 橋本 健朗	化学・理論・計算化学
	特任教授 松井 哲男	原子核理論・高エネルギー核反応論
	教授 安池 智一	理論分子科学

(凡例) ※1次世代教育研究開発センターを兼務する者  
 ※2障がいに関する学生支援相談室を兼務する者  
 ※3公認心理師教育推進室を兼務する者

■客員教員(2024年度開設科目主任講師及び専門担当講師)

科目区分	職名	氏名	現職	
基盤科目	教授	岡崎 晴輝	九州大学教授	
	教授	粕谷 恭子	東京学芸大学教職大学院教授	
	教授	倉田 賀世	熊本大学教授	
	教授	関本 義秀	東京大学教授	
	教授	高橋 和夫	放送大学名誉教授、国際政治学者	
	教授	直山 木綿子	関西外国語大学教授	
	教授	三輪 眞木子	放送大学名誉教授	
	教授	渡辺 美智子	立正大学教授	
	准教授	柴山 盛生	放送大学客員准教授	
	教授	井出 万秀	立教大学教授	
基盤科目(外国語)	教授	大石 和欣	東京大学大学院教授	
	教授	生越 直樹	放送大学客員教授	
	教授	斎藤 兆史	東京大学名誉教授	
	教授	田口 亜紀	共立女子大学教授	
	教授	沼野 恭子	東京外国語大学名誉教授	
	准教授	クリスティ コロンズ	麗澤大学准教授	
	准教授	永原 歩	東京女子大学准教授	
	准教授	三品 由紀子	電気通信大学准教授	
	生活と福祉導入科目	教授	岡田 忍	川崎市立看護大学教授
		教授	岡田 隆夫	順天堂大学名誉教授
教授		北村 聖	地域医療研究所 シニアアドバイザー	
教授		駒村 康平	慶應義塾大学教授	
教授		齊藤 広子	横浜市立大学教授	
教授		佐伯 由香	人間環境大学特任教授	

科目区分	職名	氏名	現職
生活と福祉導入科目	教授	坂井 建雄	順天堂大学特任教授
	教授	櫻井 隆	順天堂大学大学院教授
	教授	佐藤 真治	帝京大学教授
	教授	重川 純子	埼玉大学教授
	教授	内藤 久士	順天堂大学大学院教授
	教授	中城 康彦	明海大学教授
	教授	中山 和弘	聖路加国際大学教授
	教授	服部 信孝	順天堂大学大学院教授
	教授	林 光緒	広島大学教授
	教授	宮崎 総一郎	中部大学特任教授
心理と教育導入科目	教授	渡邊 清高	帝京大学医学部 内科学講座教授
	准教授	瀬戸 寿一	駒澤大学准教授
	准教授	渡辺 久里子	神奈川大学助教
	教授	岡崎 淳一	産業雇用安定センター理事長
	教授	小杉 礼子	元独立行政法人労働政策研究・研修機構統括研究員
	教授	末廣 啓子	元目白大学教授
	教授	田中 統治	東海大学特任教授
	教授	谷口 明子	東洋大学教授
	教授	藤田 真也	キャリアカウンセリング協会理事長
	准教授	中井 智子	中町誠法律事務所弁護士
社会と産業導入科目	教授	金光 秀和	法政大学教授
	教授	林 拓也	奈良女子大学教授
	教授	待島 聡史	京都大学教授
	教授	間々田 孝夫	立教大学名誉教授

科目区分	職名	氏名	現職
導入科目	教授	山口 恵子	東京学芸大学教授
	教授	山元 一	慶應義塾大学教授
	教授	阿部 公彦	東京大学教授
	教授	伊東 祐郎	国際教養大学特命教授
	教授	佐藤 廉也	大阪大学教授
	教授	季武 嘉也	創価大学教授
	教授	高倉 浩樹	東北大学教授
	教授	根橋 玲子	明治大学教授
	教授	納富 信留	東京大学大学院教授
	教授	松江 崇	京都大学大学院教授
人間と文化導入科目	教授	宮澤 仁	お茶の水女子大学教授
	教授	渡部 泰明	国文学研究資料館館長
	教授	高岡 詠子	上智大学教授
	教授	清水 明	東京大学名誉教授
	教授	鈴木 啓介	東京工業大学客員教授、日本学士院会員
	教授	飯島 佐知子	順天堂大学教授
	教授	居神 浩	神戸国際大学教授
	教授	片桐 祥雅	東京大学大学院上席研究員
	教授	金田 嘉清	藤田医科大学教授
	教授	神崎 初美	兵庫医科大学看護学部教授
生活と福祉専門科目	教授	小松 理佐子	日本福祉大学教授
	教授	斉藤 弥生	大阪大学教授
	教授	佐藤 隆一郎	東京大学大学院特任教授
	教授	関 正雄	社会構想大学院大学客員教授

履修区分	職名	氏名	現職
生活と福祉専門科目	教授	関崎 勉	東京大学名誉教授
	教授	田中 幸子	東京慈恵会医科大学教授
	教授	田間 泰子	大阪府立大学名誉教授
	教授	栞本 一三郎	放送大学客員教授
	教授	永田 智子	慶應義塾大学教授
	教授	西上 あゆみ	藍野大学教授
	教授	林 春男	放送大学客員教授
	教授	松井 彰彦	東京大学大学院教授
	教授	丸谷 浩介	九州大学大学院教授
	教授	山縣 文治	関西大学教授
	教授	横山 和仁	国際医療福祉大学大学院教授、 順天堂大学客員教授
	教授	横山 登志子	札幌学院大学教授
	教授	吉村 悦朗	放送大学名誉教授 東京大学名誉教授
	准教授	大塚 圭	藤田医科大学准教授
	准教授	小野 若菜子	聖路加国際大学准教授
	准教授	鈴木 淳一	株式会社電通グループ電通イノベーション シヨニシアティブプロデューサー職
	准教授	山川 みやえ	大阪大学准教授
	教授	青木 栄一	東北大学教授
	教授	赤尾 勝己	関西大学名誉教授
	教授	石口 彰	お茶の水女子大学名誉教授
	教授	伊東 毅	武蔵野美術大学教授
	教授	内田 良	名古屋大学教授
	教授	宇都宮 博	立命館大学教授
	教授	及川 幸彦	奈良教育大学准教授
	教授	大川 一郎	埼玉学園大学教授
	教授	太田 俊己	放送大学客員教授
	教授	大坪 庸介	東京大学教授
	教授	大野 裕己	兵庫教育大学大学院教授
	教授	貝塚 茂樹	武蔵野大学教授
	教授	加瀬 進	東京学芸大学教授
	教授	神村 栄一	新潟大学大学院教授
	教授	川上 泰彦	兵庫教育大学教授
	教授	川間 健之介	筑波大学教授
	教授	菊池 聡	信州大学教授
	教授	倉光 修	東京大学名誉教授
	教授	倉賀 精治	大分大学教授
教授	小林 真理子	聖心女子大学教授	
教授	坂田 仰	日本女子大学教授	
教授	佐々木 英和	宇都宮大学教授	
教授	佐藤 慎二	植草学園短期大学特別教授	
教授	佐藤 晴雄	帝京大学教授	
教授	塩崎 尚美	日本女子大学教授	
教授	清水 裕士	関西学院大学教授	
教授	下山 晴彦	跡見学園女子大学教授	
教授	鈴木 克徳	特定非営利活動法人持続可能な開発のための 教育推進会議(ECS-D)理事、日本ESD学会副会長	
教授	砂上 史子	千葉大学教授	
教授	園山 大祐	大阪大学教授	
教授	高瀬 堅吉	中央大学教授	
教授	高橋 智	日本大学教授	
教授	田中 健夫	東京女子大学教授	
教授	田中 理絵	西南学院大学教授	
教授	津川 律子	日本大学教授	
教授	辻 智子	北海道大学教授	
教授	堤 英俊	都留文科大学教授	
教授	坪井 裕子	名古屋国立大学教授	
教授	露口 健司	愛媛大学教授	
教授	中澤 静男	奈良教育大学教授	
教授	中澤 潤	植草学園大学・植草学園短期大学学長、 千葉大学名誉教授	
教授	永田 雅子	名古屋大学教授	

履修区分	職名	氏名	現職
心理と教育専門科目	教授	長沼 俊夫	日本体育大学教授
	教授	西島 央	青山学院大学教授
	教授	野口 隆子	東京家政大学教授
	教授	林 泰成	上越教育大学学長
	教授	東 宏行	埼玉県立大学教授
	教授	平野 直己	北海道教育大学教授
	教授	廣井 亮一	立命館大学特任教授
	教授	福元 真由美	青山学院大学教授
	教授	藤田 武志	日本女子大学教授
	教授	堀川 照代	放送大学客員教授
	教授	前田 稔	東京学芸大学教授
	教授	三浦 麻子	大阪大学大学院教授
	教授	元永 拓郎	帝京大学教授
	教授	森田 美弥子	中部大学特任教授
	教授	師岡 章	白梅学園大学教授
	教授	矢口 徹也	早稲田大学教授
	教授	山口 裕幸	京都橘大学特任教授
	教授	吉川 眞理	学習院大学教授
	教授	吉田 敦也	徳島大学名誉教授
	准教授	池田 吉史	東京学芸大学准教授
	准教授	大木 真徳	青山学院大学准教授
	准教授	佐々木 玲仁	九州大学大学院准教授
	准教授	田中 謙	日本大学准教授
	准教授	田部 絢子	金沢大学准教授
	准教授	辻野 けんま	大阪公立大学准教授
	准教授	仲田 康一	法政大学准教授
	教授	阿部 圭司	高崎経済大学教授
	教授	五百旗 薫	東京大学大学院教授
	教授	依田 高典	京都大学大学院教授
	教授	伊藤 宗彦	大手前大学教授
	教授	稲継 裕昭	早稲田大学教授
	教授	井上 淳子	成蹊大学教授
	教授	今井 由紀子	内閣府官民人材交流センター 主任調整官
	教授	大橋 正明	恵泉女子学園大学名誉教授
	教授	小方 直幸	香川大学教授
	教授	岡田 幸彦	筑波大学教授
教授	金井 利之	東京大学大学院教授	
教授	蟹江 章	青山学院大学大学院教授	
教授	金菱 清	関西学院大学教授	
教授	川島 清嘉	川島法律事務所弁護士	
教授	川島 志保	川島法律事務所弁護士	
教授	川村 義則	早稲田大学教授	
教授	岸 眞理子	ハリウッド大学院大学教授	
教授	國武 英生	小樽商科大学教授	
教授	坂井 素思	放送大学名誉教授	
教授	坂田 裕輔	近畿大学教授	
教授	作花 文雄	放送大学客員教授	
教授	佐藤 亮	東京理科大学嘱託教授	
教授	高橋 信行	国学院大学教授	
教授	谷本 雅之	東京大学教授	
教授	中西 徹	東京大学名誉教授	
教授	中山 洋平	東京大学教授	
教授	奈良岡 聰智	京都大学大学院教授	
教授	新山 陽子	京都大学名誉教授	
教授	野間 敏克	同志社大学教授	
教授	原 武史	放送大学客員教授	
教授	洞口 治夫	法政大学教授	
教授	水島 治郎	千葉大学教授	
教授	宮城 俊作	設計組織PLACEMEDIAパートナー	

履修区分	職名	氏名	現職
社会と産業専門科目	教授	向井 人史	国立環境研究所客員研究員
	教授	武川 幸嗣	慶應義塾大学教授
	教授	本山 敦	立命館大学教授
	教授	諸富 徹	京都大学大学院教授
	教授	六川 修一	防災科学技術研究所主幹研究員
	教授	和田 俊憲	東京大学教授
	教授	渡辺 靖	慶應義塾大学教授
	准教授	浅輪 貴史	東京工業大学准教授
	准教授	石田 大典	同志社大学准教授
	准教授	伊藤 亜聖	東京大学准教授
	准教授	岩井 勝弘	岩井法律事務所弁護士
	准教授	高木 佑輔	政策研究大学院大学准教授
	准教授	中村 恭志	東京工業大学准教授
	准教授	原 辰徳	東京大学准教授
	教授	青山 昌文	放送大学客員教授
	教授	赤塚 健太郎	成城大学教授
	教授	秋富 克哉	京都工芸繊維大学教授
	教授	池上 俊一	東京大学名誉教授
	教授	稲賀 繁美	京都精華大学特任教授
	教授	稲村 哲也	野市民族博物館リトルワールド館長 放送大学名誉教授
	教授	小田部 胤久	元東京大学教授
	教授	小野沢 透	京都大学教授
	教授	北村 暁夫	日本女子大学教授
	教授	湖中 真哉	静岡県立大学教授
	教授	坂上 康俊	九州大学名誉教授
	教授	榎原 哲也	東京女子大学教授
	教授	佐川 英治	東京大学教授
	教授	佐々木 亨	北海道大学大学院特任教授
	教授	佐藤 良明	東京大学名誉教授
	教授	島内 裕子	放送大学客員教授
	教授	杉山 清彦	東京大学教授
	教授	勢力 尚雅	日本大学教授
	教授	丹治 愛	東京大学名誉教授
	教授	津上 英輔	成城大学教授
	教授	中嶋 毅	東京都立大学教授
	教授	沼野 充義	名古屋外国語大学副学長
教授	林 佳世子	東京外国語大学学長	
教授	肥後 芳男	同志社大学教授	
教授	本郷 均	東京電機大学教授	
教授	本田 光子	九州国立博物館名誉館員	
教授	三ツ井 崇	東京大学教授	
教授	宮下 規久朗	神戸大学教授	
教授	村松 真理子	東京大学教授	
教授	山田 広昭	東京大学名誉教授	
教授	横山 安由美	立教大学教授	
教授	頼住 光子	駒澤大学教授	
准教授	今村 信隆	北海道大学大学院准教授	
准教授	大高 幸	慶應義塾大学大学院非常勤講師	
准教授	寺島 洋子	国立西洋美術館客員研究員	
准教授	中空 萌	広島大学大学院准教授	
准教授	古田 徹也	東京大学准教授	
教授	伊藤 一成	青山学院大学教授	
教授	上原 哲太郎	立命館大学教授	
教授	菊池 浩明	明治大学教授	
教授	黒橋 禎夫	国立情報学研究所長	
教授	小池 英樹	東京工業大学教授	
教授	櫻井 鉄也	筑波大学教授	
教授	関根 千佳	美作大学客員教授	
教授	増井 俊之	慶應義塾大学教授	

人間と文化専門科目

情報専門科目

科目区分	職名	氏名	現職	
自然と環境専門科目	教授	水越 伸	関西大学教授	
	教授	荒木 崇	京都大学教授	
	教授	河添 健	慶應義塾大学名誉教授	
	教授	御領 潤	弘前大学教授	
	教授	田中 博	筑波大学名誉教授	
	教授	塚谷 裕一	東京大学教授	
	教授	橋本 義武	東京都市大学教授	
	教授	藤井 良宜	宮崎大学教授	
	教授	三浦 伸夫	神戸大学名誉教授	
	准教授	秋山 良	九州大学准教授	
	准教授	伊賀 啓太	東京大学准教授	
	非常勤講師	齋藤 雅子	宇都宮大学非常勤講師	
	総合科目	教授	木村 茂喜	西南女学院大学教授
		教授	鈴木 康弘	名古屋大学教授

科目区分	職名	氏名	現職
総合科目	教授	服部 真治	医療経済研究機構主席研究員
	教授	平部 康子	佐賀大学教授
	教授	山崎 浩司	静岡社会健康医学大学院大学教授
	教授	大塚 直	早稲田大学教授
	教授	大野 昭彦	青山学院大学名誉教授
	教授	加治佐 敬	京都大学教授
	教授	迫田 章義	放送大学客員教授
	教授	篠原 正治	国際港湾協会(IAPH)副会長
	教授	田中 稲子	横浜国立大学教授
	教授	堤 敦司	東京大学名誉教授
	教授	藤田 幸一	青山学院大学教授
	教授	山口 高平	神奈川大学教授
	教授	岩橋 均	岐阜大学名誉教授
	教授	重松 亨	新潟薬科大学教授

科目区分	職名	氏名	現職	
司書教諭資格取得に資する科目	教授	岩崎 れい	京都ノートルダム女子大学教授	
	教授	鎌田 和宏	帝京大学教授	
	教授	呑海 沙織	筑波大学副学長	
	教授	野口 武悟	専修大学教授	
	教授	米谷 茂則	放送大学客員教授	
	准教授	塩谷 京子	放送大学客員准教授	
	准教授	高嶽 裕樹	大阪教育大学准教授	
	准教授	田嶋 知宏	常磐大学准教授	
	准教授	米谷 優子	放送大学客員准教授	
	看護師資格取得に資する科目	教授	江本 リナ	日本赤十字看護大学教授
		教授	齋藤 いづみ	神戸大学大学院教授
		教授	佐藤 まゆみ	順天堂大学大学院教授
		教授	林 直子	聖路加国際大学大学院教授
		教授	松下 年子	横浜市立大学名誉教授
准教授	田辺 有理子	横浜市立大学講師		

## (大学院修士課程)

### ■専任教員(令和6年4月1日現在)(専任教授・准教授とその専門分野)

区分	氏名	専門分野	
生活健康科学	教授	朝倉 富子	食品科学
	教授	石丸 昌彦	精神医学
	教授	井出 訓	老年看護学
	教授	川島 聡	障害法学・国際人権法学
	教授	下夷 美幸	家族社会学
	教授	関根 紀子	運動生理学
	教授	田城 孝雄	内科学・公衆衛生学・地域医療学
	教授	戸ヶ里 泰典	基礎看護学・保健医療社会学
	教授	奈良 由美子	生活経営学・リスクマネジメント論
	教授	山内 豊明	臨床看護学
人間発達科学	教授	山田 知子	社会福祉学
	准教授	川原 靖弘	計測工学・生活科学
	教授	岩崎 久美子	生涯学習論
	教授	岩永 雅也	教育社会学・生涯学習
	教授	苑 復傑	教育経済学・教育社会学
	教授	進藤 聡彦	教育心理学
	教授	高橋 秀明	認知心理学・情報生態学
	教授	橋本 鉦市	高等教育論
	教授	向田 久美子	発達心理学・文化心理学
	教授	森 津太子	社会心理学・認知心理学
臨床心理学	准教授	小林 祐紀	教育学・情報教育・カリキュラム研究
	准教授	櫻井 直輝	教育政策・教育行政学
	教授	大山 泰宏	心理臨床学
	教授	橋本 朋広	臨床心理学
	教授	丸山 広人	臨床心理学
	教授	村松 健司	臨床心理学
	准教授	佐藤 仁美	臨床心理学
	准教授	高梨 利恵子	臨床心理学
	准教授	波田野 茂幸	臨床心理学

区分	氏名	専門分野	
社会経営科学	教授	北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	特任教授	児玉 晴男	新領域法学・情報社会学
	教授	玉野 和志	社会学(都市・地域)
	教授	古橋 元	農業経済学
	教授	原田 順子	経営学・人的資源管理
	教授	堀部 安嗣	環境デザイン
	特任教授	松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授	松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授	柳原 正治	国際法
	教授	山岡 龍一	政治学
	教授	李 鳴	商法(保険法)
	准教授	桑田 学	経済思想史・環境思想
	准教授	白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	准教授	齋藤 正章	会計学・管理会計
人文学	特任教授	魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授	大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授	大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授	河原 温	西洋中世・ルネサンス史・都市社会史
	特任教授	近藤 成一	日本中世史・古文書学
	教授	杉森 哲也	日本史学
	教授	滝浦 真人	言語学
	教授	野崎 敏	フランス文学・映画論
	教授	宮本 徹	中国語学
	特任教授	宮本 陽一郎	アメリカ文学・カルチュラルスタディーズ
情報学	准教授	小二田 章	中国史・東洋史・史学史・地方史誌学
	准教授	鶴見 英成	博物館学・アンデス文明論
	准教授	船岡 美穂子	西洋美術史
	教授	青木 久美子	情報コミュニケーション学
教授	浅井 紀久夫	マルチメディア情報学	

区分	氏名	専門分野	
情報学	教授	大西 仁	認知科学
	教授	加藤 浩	教育工学
	教授	近藤 智嗣	教育工学
	教授	芝崎 順司	教育工学
	教授	鈴木 一史	計算機科学
	教授	辰己 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授	辻 靖彦	教育工学
	教授	中川 一史	メディア教育・情報教育
	教授	中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
	教授	仁科 エミ	情報環境学
	特任教授	広瀬 洋子	メディア教育(障害者支援)・社会人薬学
	教授	伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
	教授	森本 容介	教育工学
	教授	柳沼 良知	情報工学
自然環境科学	教授	山田 恒夫	情報学・教育学・学習心理学
	准教授	秋光 淳生	数理工学
	准教授	葉田 善章	情報工学・教育工学
	准教授	平岡 斉士	教育学・認知心理学
	教授	石崎 克也	数学
	教授	大森 聡一	地球惑星科学・岩石学
	教授	加藤 和弘	環境生態学・景観生態学
	教授	岸根 順一郎	物理学
	教授	隈部 正博	数学
	特任教授	谷口 義明	宇宙物理学・観天文学・光学・赤外線天文学
人間発達科学	教授	二河 成男	生命情報科学・遺伝学
	教授	橋本 健朗	化学・理論・計算化学
	特任教授	松井 哲男	原子核理論・高エネルギー核反応論
	教授	安池 智一	理論分子科学

### ■客員教員(2024年度開設科目主任講師)

科目区分	職名	氏名	現職
生活健康科学	教授	石井 邦子	千葉県立保健医療大学教授
	教授	井上 洋士	株式会社アクセラティンシア リサーチ&コンサルティング
	教授	大木 幸子	杏林大学教授
	教授	小川 薫	順天堂大学名誉教授
	教授	金川 めぐみ	和歌山大学教授
	教授	河合 祥雄	順天堂大学名誉教授
	教授	北村 聖	地域医療研究所シニアアドバイザー
	教授	佐藤 隆一郎	東京大学大学院特任教授
	教授	下条 直樹	千葉大学予防医学センター特任教授
	教授	服部 真治	医療経済研究機構主席研究員
	教授	東本 恭幸	放送大学客員教授

科目区分	職名	氏名	現職
生活健康科学	教授	三浦 豊	東京農工大学大学院教授
	教授	三上 直之	名古屋大学教授
	教授	八木 絵香	大阪大学教授
	教授	柳田 俊彦	宮崎大学教授
	教授	山城 興介	日本文理大学教授
	教授	山脇 正永	東京医科歯科大学教授
	教授	ロベズギョーム	青山学院大学教授
	准教授	岩見 昌邦	和光大学講師
	准教授	木澤 晃代	日本看護協会常任理事
	准教授	山本 武志	札幌医科大学准教授
	教授	稲垣 恭子	京都大学理事・副学長

科目区分	職名	氏名	現職	
人間発達科学	教授	勝野 正章	東京大学教授	
	教授	坂野 慎二	玉川大学教授	
	教授	田中 統治	東海大学特任教授	
	教授	西野 真由美	国立教育政策研究所総括研究官	
	教授	根津 朋美	早稲田大学教授	
	教授	藤田 晃之	筑波大学教授	
	教授	堀 薫夫	大阪教育大学名誉教授	
	教授	村上 祐介	東京大学教授	
	臨床心理学	教授	伊藤 亜矢子	学習院大学教授
		教授	荻野 美佐子	上智大学名誉教授
		教授	小野寺 孝義	広島国際大学教授

科目区分	職名	氏名	現職
臨床心理学	教授	川部 哲也	大阪公立大学教授
	教授	倉光 修	東京大学名誉教授
	教授	小林 真理子	聖心女子大学教授
	教授	大六 一志	NPO法人LD・Dyslexiaセンター顧問
	教授	橋本 和明	国際医療福祉大学大学院教授
	准教授	石原 宏	島根大学准教授
	准教授	山中 克夫	筑波大学准教授
社会科学部	教授	大澤 津	北九州市立大学教授
	教授	北川 太一	摂南大学教授

科目区分	職名	氏名	現職
社会経営科学	教授	坂井 素思	放送大学名誉教授
	教授	迫田 章義	放送大学客員教授
	教授	砂原 庸介	神戸大学教授
	教授	手塚 洋輔	大阪公立大学教授
	教授	平野 光俊	大手前大学学長
	教授	宮城 俊作	設計組織PLACEMEDIAパートナー
	教授	青山 昌文	放送大学客員教授
人文学	教授	島内 裕子	放送大学客員教授
	教授	堀越 宏一	早稲田大学教授

科目区分	職名	氏名	現職
人文学	教授	三ツ井 崇	東京大学教授
	教授	三輪 真木子	放送大学名誉教授
情報学	教授	大西 淳	立命館大学教授
	教授	緒方 広明	京都大学教授
	教授	河合 徳枝	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター研究員
	教授	須永 剛司	東京藝術大学名誉教授
	教授	常盤 祐司	放送大学客員教授
	教授	中島 震	国立情報学研究所名誉教授
	教授	萩谷 昌己	東京大学名誉教授
	教授	諸澤 俊介	高知大学名誉教授

## 〈大学院博士後期課程〉

### ■専任教員(令和6年4月1日現在)(専任教授・准教授とその専門分野)

区分	氏名	専門分野	
生活健康科学	教授	朝倉 富子	食品科学
	教授	石丸 昌彦	精神医学
	教授	井出 訓	老年看護学
	教授	川島 聡	障害法学・国際人権法学
	教授	下夷 美幸	家族社会学
	教授	関根 紀子	運動生理学
	教授	田城 孝雄	内科学・公衆衛生学・地域医療学
	教授	戸ヶ里 泰典	基礎看護学・保健医療社会学
	教授	奈良 由美子	生活経営学・リスクマネジメント論
	教授	山内 豊明	臨床看護学
人間科学	教授	山田 知子	社会福祉学
	准教授	川原 靖弘	計測工学・生活科学
	教授	岩崎 久美子	生涯学習論
	教授	岩永 雅也	教育社会学・生涯学習
	教授	苑 復傑	教育経済学・教育社会学
	教授	大山 泰宏	心理臨床学
	教授	進藤 聡彦	教育心理学
	教授	高橋 秀明	認知心理学・情報生態学
	教授	橋本 鉦市	高等教育論
	教授	橋本 朋広	臨床心理学
	教授	丸山 広人	臨床心理学
	教授	向田 久美子	発達心理学・文化心理学
	教授	村松 健司	臨床心理学
	教授	森 津太子	社会心理学・認知心理学
	准教授	小林 祐紀	教育学・情報教育・カリキュラム研究
	准教授	櫻井 直輝	教育政策・教育行政学
	准教授	高梨 利恵子	臨床心理学

区分	氏名	専門分野	
社会経営科学	教授	北川 由紀彦	社会学・都市社会学
	教授	玉野 和志	社会学(都市・地域)
	教授	古橋 元	農業経済学
	教授	原田 順子	経営学・人的資源管理
	特任教授	松井 美樹	オペレーションズマネジメント
	教授	松原 隆一郎	社会経済学・経済思想
	特任教授	柳原 正治	国際法
	教授	山岡 龍一	政治学
	教授	李 鳴	商法(保険法)
	准教授	桑田 学	経済思想史・環境思想
人文学	准教授	白鳥 潤一郎	国際政治学・日本政治外交史
	准教授	齋藤 正章	会計学・管理会計
	特任教授	魚住 孝至	哲学・日本思想
	教授	大橋 理枝	異文化間コミュニケーション
	教授	大村 敬一	社会文化人類学・極北人類学
	教授	河原 温	西洋中世・ルネサンス・都市社会史
	特任教授	近藤 成一	日本中世史・古文書学
	教授	杉森 哲也	日本史学
	教授	滝浦 真人	言語学
	教授	野崎 敏	フランス文学・映画論
情報学	教授	宮本 徹	中国語学
	特任教授	宮本 陽一郎	アメリカ文学・カルチュラルスタディーズ
	准教授	小二田 章	中国史・東洋史・史学史・地方史誌学
	准教授	鶴見 英成	博物館学・アンデス文明論
	准教授	船岡 美穂子	西洋美術史
	教授	青木 久美子	情報コミュニケーション学
	教授	浅井 紀久夫	マルチメディア情報学

区分	氏名	専門分野	
情報学	教授	大西 仁	認知科学
	教授	加藤 浩	教育工学
	教授	近藤 智嗣	教育工学
	教授	芝崎 順司	教育工学
	教授	鈴木 一史	計算機科学
	教授	辰己 丈夫	情報学・情報教育・情報倫理
	教授	中川 一史	メディア教育・情報教育
	教授	中谷 多哉子	ソフトウェア工学・要求工学
	教授	仁科 エミ	情報環境学
	教授	伏見 清香	デザイン学・情報デザイン
自然科学	教授	森本 容介	教育工学
	教授	柳沼 良知	情報工学
	教授	山田 恒夫	情報学・教育工学・学習心理学
	准教授	葉田 善章	情報工学・教育工学
	准教授	平岡 齊士	教育工学・認知心理学
	教授	石崎 克也	数学
	教授	大森 聡一	地球惑星科学・岩石学
	教授	加藤 和弘	環境生態学・景観生態学
	教授	岸根 順一郎	物理学
	教授	隈部 正博	数学
自然科学	特任教授	谷口 義明	宇宙物理学・銀河天文学・光学・赤外線天文学
	教授	二河 成男	生命情報科学・遺伝学
	教授	橋本 健朗	化学・理論・計算化学
	特任教授	松井 哲男	原子核理論・高エネルギー核反応論
	教授	安池 智一	理論分子科学

## 〈障がいに関する学生支援相談室〉

### ■専任教員(令和6年4月1日現在)

職名	氏名	専門分野
教授	角田 哲哉	臨床心理学・特別支援教育

## 〈公認心理師教育推進室〉

### ■専任教員(令和6年4月1日現在)

職名	氏名	専門分野
特任教授	桑原 知子	臨床心理学
准教授	伊藤 匡	臨床心理学
准教授	北原 知典	臨床心理学

## 役職員数(令和6年4月1日現在)

常勤役職員数:397名

	総数	内訳		
		男	女	
役員	6	4	2	
副学長(役員を除く)	2	2	0	
教員	87	66	21	
	教授	60	44	16
	准教授	17	14	3
学習センター所長	50	45	5	

	総数	内訳	
		男	女
事務職員	252	172	80
課長相当職以上	39	37	2
その他の職員	213	135	78
計	397	289	108

※教員には特任教授10を含む

放送大学では、BSテレビ・ラジオ、インターネットなどを通じて、いつでもどこでも学べ、日本全国に設置した学習センターで学友と学べる面接授業が受講できるなど、大学教育の機会を広く提供しています。学士の学位取得ができるほか、大学院も設置し修士号・博士号を目指せる環境を整えています。深い教養を身につける科目以外にも、教員や看護師に関する資格取得等が目指せる科目を多数開設しており、国民の多様な学習ニーズに対応しています。

## いつでも、だれでも、自由な学び方を

詳しくはこちら ▶ P14,P18-40

放送授業をBSテレビ・ラジオで広く放送するほか、インターネット配信も行っており、時間や場所を問わずに学べるしくみで、大学・大学院ともに学位(学士・修士・博士)取得を目指すだけでなく、学習する目的に合わせて、興味のある分野から好きな科目だけ選んで学ぶ科目履修もできます。さまざまな年代、職業の人たちが自由に学べる環境が整っており、学ぶ意欲があれば、いつからでも何度でも入学して学び続けることができます。

## 多様で質の高い授業科目の開設

詳しくはこちら ▶ P22-27,P34-35,P40

様々な専門分野を持つ専任教員と全国の国公私立大学からの数多くの客員教員による多彩な授業科目を提供しています。2024年度は、放送授業約340科目、オンライン授業約90科目、ライブWeb授業約160科目、面接授業約3000科目が予定されており、基礎科目から専門的な科目まで学習可能となっています。

## 資格取得とキャリアアップ

詳しくはこちら ▶ P43-45

学位取得や生涯学習だけでなく、キャリアアップを目指す社会人、上位資格を目指す教員や看護師の方、定年後のセカンドキャリアを構築したい方など、さまざまなニーズに対応する授業科目やカリキュラムが設けられています。

## 日本各地の学習センター

詳しくはこちら ▶ P47-48

日本全国の都道府県に57の学習センターやサテライトスペースを設置しており、地域の特色に合わせた面接授業を開講しています。また、開かれた大学として、在学生に限らず広く地域の方々の学習を支援するために公開講座・公開講演会を開催するほかオープンキャンパス、個別相談会といったイベントの開催、資料配布も行っています。

## 多様性とアクセシビリティへの配慮

詳しくはこちら ▶ P56, 放送大学ウェブサイトwww.ouj.ac.jp

15歳(大学院は18歳)以上の全ての人の人に開かれた放送大学では、さまざまな方がそれぞれの目的で学んでいます。本学では働きながら、育児をしながら学びたい方、定年退職を迎えたシニア世代、障がいのある方もない方も、皆が平等に学べる各種のサポートを行っています。また、放送大学公式ウェブサイトでは、アクセシビリティに配慮した情報発信を行っています。



## 教育システム(3つの授業スタイル)

放送大学の授業には、**放送授業**・**面接授業(スクーリング)**・**オンライン授業**の3つの授業スタイルがあり、各科目いずれかの形態で行われます。

授業の講師として、多数の国公立私立大学等の専門家にご協力をいただいています。

### 放送授業



BSテレビ放送(231ch)、BSラジオ放送(531ch)などで放送される授業番組の視聴と印刷教材による学習を併せて行い、通信指導の提出と単位認定試験の受験により単位を修得します。

1科目2単位で、45分の授業番組を15回視聴します。放送番組はBS放送やケーブルテレビなどを通じ全国で放送されています。在学学生はインターネットで視聴することも可能です。

※232chでも一部視聴可能。

※テレビ科目の中には、インターネット配信限定で視聴する科目があります。

### 面接授業(スクーリング)



学習センターなどで教員より直接指導を受けられる授業です。教室での講義形式のほかに学習センター以外の場所での実習形式の授業もあります。

1科目1単位で、8回の授業(90分授業を7回と45分授業を1回)を行います。

### オンライン授業

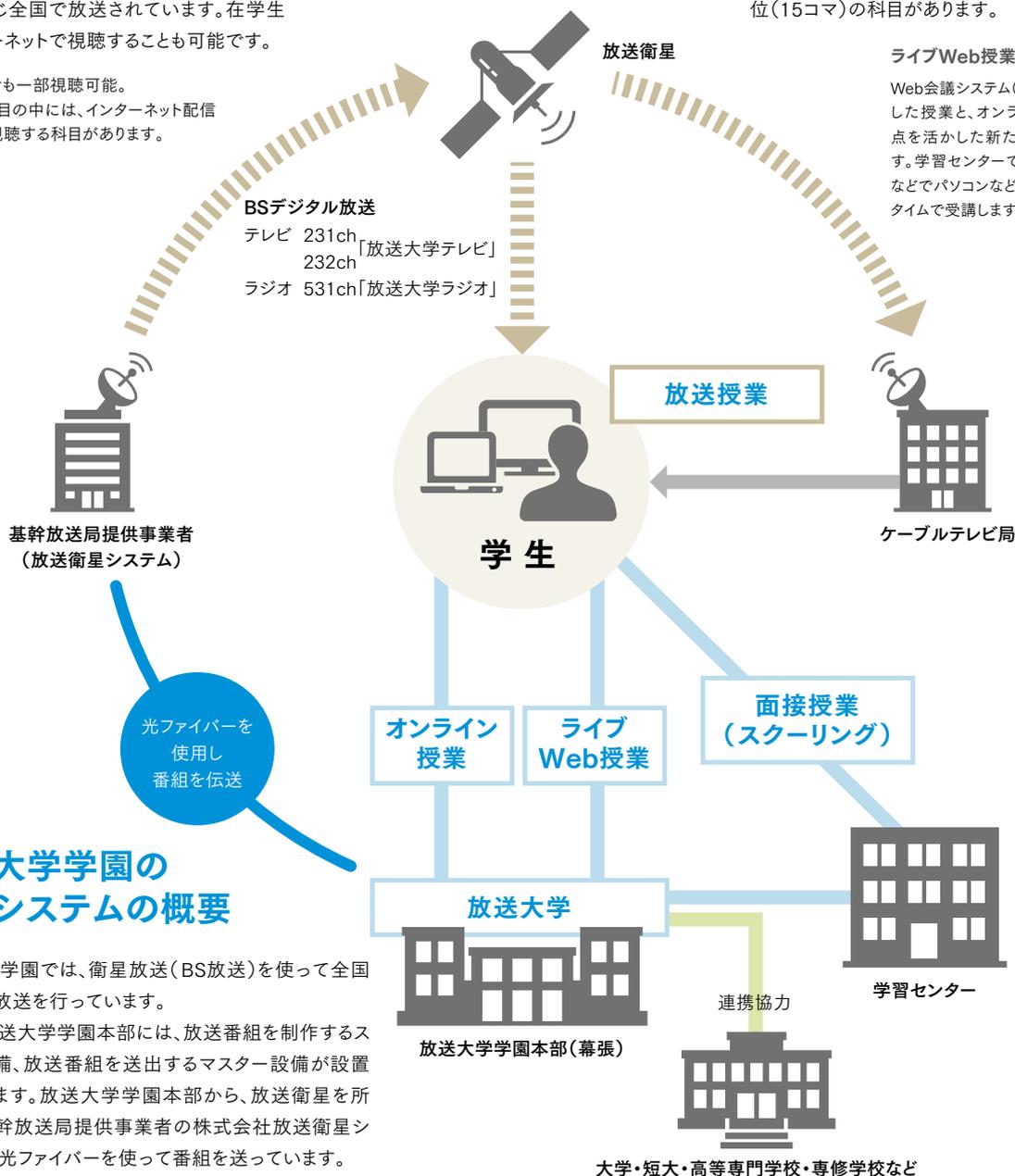


2015年に開設。インターネットに接続されたパソコンなどを使い、講義を視聴し課題(選択式問題、ディスカッション、レポートなど)を実施。授業内の学習活動により成績評価を行う授業です。

1コマ90分程度(講義45分と学習活動45分程度)の授業で、1単位(8コマ)の科目と、2単位(15コマ)の科目があります。

### ライブWeb授業

Web会議システム(Zoom)を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。



## 放送大学学園の放送システムの概要

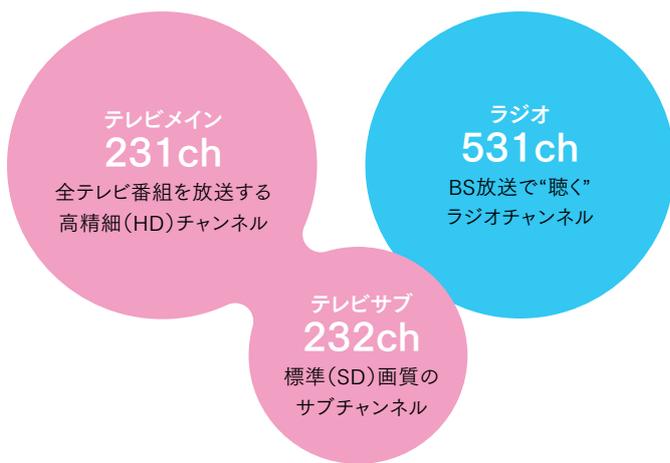
放送大学学園では、衛星放送(BS放送)を使って全国に向けて放送を行っています。

幕張の放送大学学園本部には、放送番組を制作するスタジオ設備、放送番組を送出するマスター設備が設置されています。放送大学学園本部から、放送衛星を所有する基幹放送局提供事業者の株式会社放送衛星システムに、光ファイバーを使って番組を送っています。

## マルチチャンネル放送

### ■ テレビチャンネル【BS231ch、BS232ch】

2023年4月1日からは、BS231chをメインチャンネルに据えてBS232chをサブチャンネルとする番組編成に変更しています。これに伴い、メインチャンネル(BS231ch)でのHD(高精細)画質による放送を基本とし、一部の時間帯ではSD(標準)画質のサブチャンネル(BS232ch)を活用した2チャンネルマルチ放送を実施しています。



#### 画質がきれいに!

高画質のBS231chをテレビメインチャンネルとし、全てのテレビ番組を放送しています。細かい文字や記号もより鮮明に見やすくなっています。

#### 早朝・夜間に観られない人も安心!

BS231chで早朝・夜間に放送するテレビ授業科目をBS232chで日中にも放送しています。視聴する時間帯が選べるため、夜間の視聴が難しい方なども視聴できます。

#### 迷ったらBS231ch!

BS231chでは全てのテレビ番組を高画質で放送しています。観たい番組や録画したい番組がある場合は、まずはBS231chの番組表をご覧ください。

### 放送大学40周年記念 見えない友と共にまなぶ



1983年に設立された放送大学は、2023年に設立40周年を迎えました。通信技術の発達など学習を取りまく環境は大きく変化したが、「学びたい人が、いつでも、どこでも学べる開かれた大学」という設立の理念を守り続けてきました。40年の歴史を残された貴重な資料映像をもとに、放送大学の役割や意義を改めて見つめ直します。

### ■ ラジオチャンネル【BS531ch】

主に本学の学生の単位修得を目的に、ラジオ授業科目をBS531chで単位認定試験に向けて計画的に放送しています。

## 番組の視聴方法 以下の方法により放送大学の番組を視聴することができます。

### 〈BSテレビ放送(BS231ch,BS232ch)〉

お手元のリモコンで「BS」を押し、BS放送に切り替えてください。

a、b、c いずれかの方法により、視聴できます。

#### a. リモコンのチャンネルボタンで選局

リモコンの「V」のついたチャンネル(選局)ボタンを順送りして、放送大学のチャンネルを選局してください。

#### b. 電子番組表(EPG)から選択

リモコンの「番組表」ボタンを押し、電子番組表を表示し、上下左右ボタン等で放送大学の番組を選択してください。

#### c. 3桁のチャンネル番号を入力

リモコンの「チャンネル番号入力」「10キー入力」「3桁入力」等と表示されたボタンを押し、数字ボタンで「231」、「232」を入力してください。

※一部機種に限り、リモコンのBSボタン2度押しによるダイレクトな選局ができます。  
 ①地上波画面で、リモコンの「BSボタン」を押し、BS放送に切り替えます。  
 ②もう一度「BSボタン」を押すと、テレビ画面上にチャンネルが表示されます。  
 ③「1番」を押すことで選局できます。

### 〈BSラジオ放送(BS531ch)〉

テレビでお聴きいただく音声放送です。画面には番組名が静止画で表示されます。お手元のリモコンで「BS」を押し、BS放送に切り替えてください。d、e いずれかの方法により、聴取できます。

#### d. BS テレビの放送大学のデータ放送から切り替える

上記テレビ放送 a、b、c いずれかの方法でテレビ放送大学を選局し、直後に数秒間表示される画面左下の「BSラジオ」の案内のとおり、「青」ボタンを押し、表示されない、または、表示が消えた場合は「d(データ)」ボタン→「青」ボタンの順に押してください。

#### e. 3桁のチャンネル番号を入力

リモコンの「チャンネル番号入力」「10キー入力」「3桁入力」等と表示されたボタンを押し、数字ボタンで「531」を入力してください。

### 〈インターネット配信〉

開講期間中、原則全ての放送授業の番組をインターネットで配信しますので、在学生はパソコンやスマートフォン等で視聴できます(一部インターネット配信限定で視聴する科目があります)。科目名や視聴に必要な環境については放送大学ウェブサイトの「よくあるご質問」を参照してください。  
 ※映像・音声をパソコン等に保存することはできません。  
 ※接続の際の通信費やプロバイダ料金などは利用者のご負担となりますので、ご注意ください。

### 〈学習センター(サテライトスペース)〉

学生になれば、全国の学習センター(サテライトスペース)でも、放送授業を再視聴できます。

### 〈放送教材の貸出し〉

大学本部より、郵送による放送教材(DVD・CD)の貸出しを行っています。

### 〈ひかりTV〉

テレビ科目は、映像配信サービスの「ひかりTV」でも視聴できます(ラジコ科目の聴取はできません)。

詳しくは<https://www.hikaritv.net/entry?cid=ouj>をご覧ください。

### 〈インターネット配信公開講座〉

BS231chで放送している生涯学習支援番組の一部を視聴できます。  
 ※視聴には会員登録が必要です。[https://aoba.ouj.ac.jp/rpv/external/sso.aspx?type=provisional\\_login&id=temp\\_user](https://aoba.ouj.ac.jp/rpv/external/sso.aspx?type=provisional_login&id=temp_user)  
 ※一部有料講座があります。

#### ▶ 放送大学YouTubeチャンネル

様々な学びの機会を提供する番組の紹介動画、授業科目の紹介動画などを配信しています。

## 番組の編成(2024年度現在)

### ■ 放送時間

	BS231ch	BS232ch	BS531ch
1学期 授業期間	【日曜】 6:00~翌0:15 【月曜~土曜】 6:00~翌3:45	【日曜】 12:00~12:45、13:30~15:45 【月曜~金曜】 12:00~19:30 【土曜】 12:00~12:45、14:15~17:15	【日曜】 6:00~翌0:15 【月曜~金曜】 6:00~翌0:00 【土曜】 6:00~翌0:45
夏期学習 期間	【土曜、日曜】 6:00~翌0:00 【月曜~金曜】 (7/15~8/9) 6:00~翌2:15 (8/12~9/27、9/30)6:00~翌0:00	【土曜、日曜】 6:00~12:45 【月曜~金曜】 6:00~18:00* *12:45~13:30は放送休止、9/28~9/30は放送休止	【土曜、日曜】 (7/20~8/4) 6:00~21:00 (8/10~9/29) 6:00~18:15 【月曜~金曜】 (7/15~8/9) 6:00~翌1:30 (8/12~9/27) 6:00~22:30 (9/30) 6:00~18:15
2学期 授業期間	【日曜】 6:00~翌0:15 【月曜~土曜】 6:00~翌3:45	【日曜】 12:00~15:45 【月曜~金曜】 12:00~19:30 【土曜】 12:00~17:15	【日曜】 6:00~翌0:15 【月曜~土曜】 6:00~翌0:00
年末・年始 学習期間	12/31~1/2 6:00~翌0:00	放送無し	12/31~1/2 6:00~18:15
冬期学習 期間	【土曜、日曜】 6:00~翌0:00 【月曜~金曜】 (1/20~2/28) 6:00~翌2:15 (1/17) 6:00~翌0:00 (3/3~3/31) 6:00~翌0:00	【土曜、日曜】 6:00~12:45 【月曜~金曜】 (1/20~3/7) 6:00~21:45* (3/10~3/27) 6:00~18:00* (1/17) 6:00~12:45 (3/28) 13:30~18:00 *12:45~13:30、18:00~19:30は放送休止	【土曜、日曜】 6:00~18:15 【月曜~金曜】 (1/20~2/28) 6:00~翌0:45 (3/3~3/27) 6:00~22:30 (3/28) 13:30~22:30 (1/17、3/31) 6:00~18:15

### ■ 番組の種類

主な放送番組は、次のとおりです。

放送大学の教育課程に 定める授業科目の番組	授業番組	卒業・修了に必要な単位を修得するための番組です。
	生涯学習支援番組	単位認定を前提としない広義の授業番組です。
放送大学に関する 告知番組	キャンパスガイド	大学の魅力をさまざまな形でお伝えする番組です。
	あなたの知りたい放送大学	教養学部各コース、大学院を紹介する番組です。

## ■ 編成の期間

年間の編成の期間は、次のとおりです。

### BS231ch(テレビ)、BS232ch(テレビ)、BS531ch(ラジオ)

第1学期	放送期間	4月1日～7月14日(15週間)
	夏期学習期間	7月15日～9月30日
第2学期	授業期間	10月1日～12月30日、1月3日～1月16日
	年末・年始学習期間	12月31日～1月2日
	冬期学習期間	1月17日～3月31日

- ・「授業期間」各学期の1日目から15週間です。
- ・「夏期学習期間」司書教諭資格取得に資する科目の資格系科目の放送とともに、復習や次学期の科目選びの参考となるよう一部の科目を再放送します。
- ・「冬期学習期間」、「年末・年始学習期間」復習や次学期の科目選びの参考となるよう一部の科目を再放送します。

## ■ 番組制作

### ■ 制作フロー



## 学部・学科・コース

放送大学は、国民の多様な要請に応じて豊かな教養を培うとともに、実生活に即した専門的学習を深められるよう、幅広い学問分野からなる教養学部を設けています。平成21年度(2009年度)に教養学部の学科再編を行い、教養学部教養学科の下に5つのコースを設けましたが、平成25年度

(2013年度)に新たに情報コースを設置し、6つのコースに拡充いたしました。大学卒業を目指す学生は、6つのコースの中からいずれかのコースに所属し、主に所属するコースの科目を履修しますが他のコースの科目も履修することができます。

学部名	学科名	コース名	教育目標
教養学部	教養学科	生活と福祉	質の高い持続可能な生活を築くために、衣食住・家族・健康・福祉など生活にかかわる諸問題への理解を深める。
		心理と教育	人間の心と発達に関する諸問題を現代社会とのかかわりにおいて理解し、持続可能な社会の実現に向けて、発達の支援と教育に必要な基本的知識及び考え方を習得する。
		社会と産業	変動する社会と産業の基本的なしくみを理解し、持続可能でゆたかな社会を生きるための知識と技術を身につける。
		人間と文化	人間の思想・文学・芸術のありかたなどの理解を深めるとともに、現代文明と地域文化・社会について、その特質と発展の歴史を探る。
		情報	情報化社会の中で生活する者にとって欠くことのできない、情報のありかた、情報技術に関する概念と知識を習得する。
		自然と環境	自然の様相を科学的に学んでその本質について理解を深め、また人間活動と自然との関わり合いを認識することで、持続可能な未来に向けた実践と判断の能力を養う。

## 教育の基本方針

※2025年度より「教育の基本方針」は改定致します。

### ■ 教育の目的

本学の教育は、各専門分野における学術研究を通じて新しい教養の理念を追求し、放送を活用して大学教育を行い、併せて広く生涯学習の要望に応えるため、教養学部という一つの学部として、古今の学術研究の成果を総合しながら、人類が直面している「社会の持続的発展」の解決に手掛かりを与えるような学問的教養の涵養を図ることを目的としています。そのため、学習者がこれらにかかわるものの見方や考え方を豊かにし、それらの諸課題を解決するための知識・技能・方法を身につけることができるように教育を展開します。

### ■ ディプロマ・ポリシー

#### 【資質・能力等の養成】

人文・社会・自然の各学問分野を中核とする幅広い知識を修得し、豊かな教養の涵養を図ることにより、様々な課題に対して、複眼的視点からのものの見方や考え方ができるようになり、物事の本質を見極めることのできる総合的理解力が身につきます。

これらの資質・能力を身につけることにより、職場や日々の生活などで生じる様々な課題に対して、物事の本質を見極め、それらの課題を解決するための糸口を見出すことができる人材を養成します。

#### 【卒業に必要となる学習成果(条件)】

複数の分野にまたがって124単位以上を修得する必要があります。

## ■ カリキュラム・ポリシー

### 【教育課程編成】

学生の幅広いニーズに対応した体系的かつ弾力的なカリキュラムとなるよう、学問分野に応じた系統的学習により教養を深めることができ、また、教養の幅を広げるため、特定の学問分野を超えた幅広い知識の修得が可能となるよう、柔軟性のある教育課程編成となっています。

### 【教育内容・方法】

様々な学生ニーズに対応した授業を、それぞれの環境に合わせて学習できるよう、本学では、BSテレビ・BSラジオによる放送授業、インターネットを活用したオンライン授業、そして教員と直接対面して行う面接授業の3つの形態により授業を実施しており、いつでもどこでも学べる環境を確保しています。

### 【学習成果の評価方法】

単位認定試験の結果により成績評価を行います。単位認定試験を課さないオンライン授業においては、各回における形成的評価と、最終回後に行われる達成度評価の結果を総合的に判断して成績評価を行います。

## ■ アドミッション・ポリシー

### 【求める人材像】

本学は、広く国民に高等教育の機会を提供することを教育理念としており、一定の条件を満たし、学ぶ意欲のある者であれば誰でも入学することができます。

### 【入学者選抜の方法】

本学の教育理念に鑑み、入学者選抜は行いません。

### 【求める学習成果】

高等学校卒業など、一定の条件を具備していることが条件となります。

## 学習システム

## ■ 入学機会は年2回

年間2学期制(4月～9月、10月～3月)を採用し、学期ごとにまとまりのある学習ができるように教育課程を編成しています。したがって、各年度とも4月、または10月に入学することができます。

## ■ 放送授業

### 【授業番組の視聴】

放送授業は、各学期とも15回(週1回、1回45分)にわたって、BSテレビ又はBSラジオで授業が行われます。

在學生はテレビ科目、ラジオ科目の原則すべてをインターネットでも視聴可能です。

※テレビ科目の中には、インターネット配信限定で視聴する科目があります。

### 【印刷教材による学習】

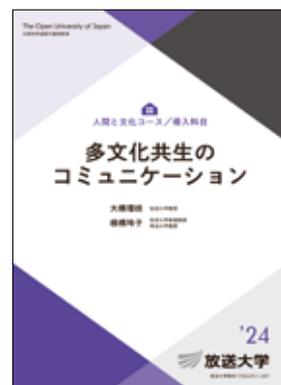
放送授業科目には、すべて印刷教材が用意され、放送教材と印刷教材による学習を併せて行うことになります。印刷教材は、200頁(A5版)程度で、原則として指定の期日までに授業料を納入いただくと、学期開始前に送付されます。

なお、印刷教材は、放送大学の企画の下に授業科目担当講師が執筆し、一般財団法人放送大学教育振興会が発行しています。この印刷教材は、学習センターや全国の主な書店でも販売されています。

### 【通信指導】

通信指導とは、学期の途中に1回、前半の一定範囲から問題を出題し、その答案を提出して、担当教員の指導(添削・講評)を受けることです。

なお、通信指導に合格することによって単位認定試験の受験資格が得られます。



### 【単位認定試験】

単位認定試験は15週間の放送授業終了後に実施される試験で、合格者には単位の認定を行います。2022年度からインターネットを通じて自宅等から受験する、Web受験方式で実施しています。Web受験が困難な場合は、学習センターなどで受験することも可能です。

### ■ オンライン授業

インターネット上で講義を視聴、小テストやディスカッション、レポート等の課題を科目ごとに決められた期間に提出して学びを進めます。通信指導、単位認定試験は行わず、インターネット上での学習により成績評価を行います。(一部科目ではWeb通信指導、単位認定試験を行います。)

#### ライブWeb授業

Web会議システム(Zoom)を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。

### ■ 面接授業

面接授業は、学習センターなどで教員から直接指導を受ける機会として重要なだけでなく、学生相互の啓発などにおいても大きな意義があります。面接授業は、原則として90分(1時間30分)の授業を7回、45分の授業を1回、計8回で実施します。

### ■ 卒業研究

卒業研究は、全科履修生の選択科目です。指導教員から直接指導を受け「卒業研究報告書」を作成します。主にゼミナール形式や個別指導の形式でWeb会議システムやE-mailを使用した指導も行っています。

## 学生の種類

### ■ 全科履修生 ～卒業を目指す学生～

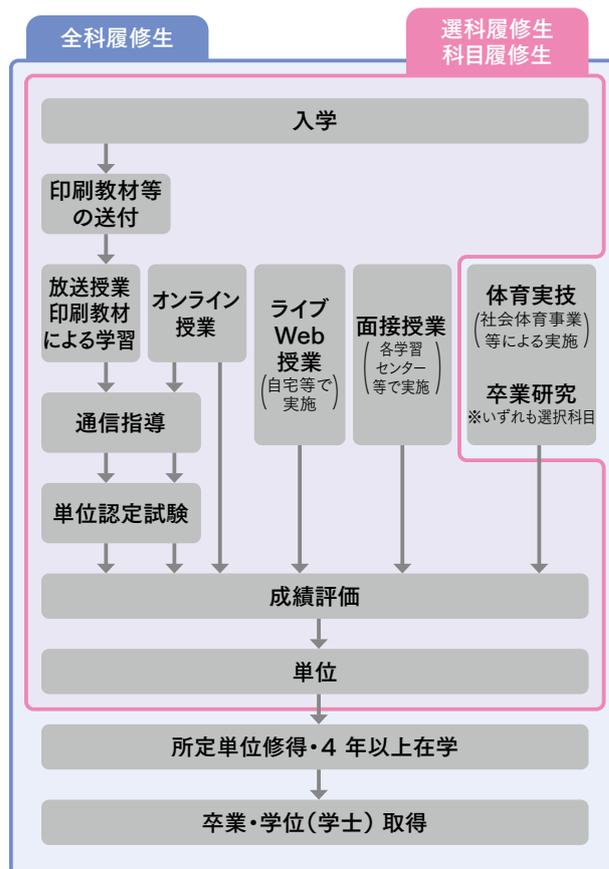
卒業を目指す人は、全科履修生として入学することになります。全科履修生として入学するには、高等学校卒業、またはこれと同等以上の大学入学資格が必要です。

全科履修生は、6つのコースのいずれか1つのコースに所属し、4年以上在学して、所定の124単位以上を修得した場合に卒業が認定されます。本学を卒業すると、学士(教養)の学位が得られます。

また、大学、短期大学、高等専門学校、一定の基準を満たす専修学校専門課程を卒業・修了された方や大学に2年以上在学した方などの場合、全科履修生の3年次に編入することもできます。

なお、1年次から入学された場合には、卒業までに最長10年間在学することができます(再入学も可)ので、自分の生活に合わせた形で学習の進捗を決めることができます。

4年間で卒業する場合に要する1週当たりの標準的な学習量と卒業の要件は次のとおりです。



## ○毎週の標準的な学習量(4年で卒業を目指す場合)

放送授業の視聴	45分番組を7回程度
印刷教材などの学習	45～60頁程度

予習、復習の時間は含まれていません。また、放送授業が行われる科目については、提示された課題について答案を提出する通信指導を受けることとなっています。

## ○卒業の要件

科目区分		修得すべき最低単位数	単位の認定方法	修得すべき最低単位数		
基盤科目		14	①基盤科目のうち、外国語から2単位以上を修得するものとする。	放送授業で修得すべき最低単位数	面接授業又はオンライン授業で修得すべき最低単位数	授業形態を問わない単位数
コース科目	導入科目	34	①コース科目(導入科目、専門科目、総合科目)のうち、所属するコースが開設する科目から34単位以上、所属するコース以外が開設する科目から4単位以上を修得するものとする。 ②卒業研究の6単位は、所属するコースの専門科目の単位として認定するものとする。			
	専門科目					
	総合科目	76		74	20	30
計		124		124		

- ※1. 全科履修生の在学期間中に本学大学院修士科目生又は修士選科生として修得した単位については、申請により卒業要件の単位数に含めることができます。ただし学部卒業要件の単位として使用した大学院の単位は、大学院での修得要件の単位に含めることはできません。
- ※2. オンライン授業「教育課程の意義及び編成の方法(15)」「幼児理解の理論及び方法(15)」「小学校外国語教育教授基礎論(17)」は、卒業要件上「授業形態を問わない単位数」として取り扱います。
- ※3. ライブWeb授業科目は、卒業要件上は「面接授業又はオンライン授業」として取り扱います。

## ■ 選科履修生～1年間在学する学生～ ■ 科目履修生～1学期間(6カ月)在学する学生～

必ずしも大学の卒業を目的とせず、自分の学習したいテーマに基づいて一定の科目を選択し、履修を希望する方は、選科履修生、又は科目履修生として入学できます。入学する年度の初めにおいて満15歳以上であれば、誰でも選科・科目履修生として入学することができます。選科履修生は入学した学期の途中に、次の学期の科目登録を行います。

## ■ 大学入学資格のない方が全科履修生として入学するためには

中学校卒業又は高等学校中退の方でも、選科履修生、又は科目履修生として本学に在籍し、入学年度当初に18歳以上で以下の条件を満たす方は全科履修生として入学できます。

基盤科目(保健体育を除く)、または導入科目から16単位以上を修得していることが必要です。

**単位の通算** 選科履修生、又は科目履修生として修得した単位は、全科履修生として入学後、卒業に必要な単位として通算されます。

## ■ 集中科目履修生～学期内のある特定の期間、特定の授業科目を履修する学生～

第1学期夏期学習期間(夏季集中)において、資格取得などに資する科目として、「学校図書館司書教諭資格取得に資する科目」(学校図書館司書教諭講習)を開設しています。なお、この講習科目の単位は卒業要件の単位に算入されません。

## ■ 特別聴講学生～単位互換協定に基づいて受け入れる学生～

本学と他の大学など(大学・短期大学・高等専門学校・大学院)との単位互換協定に基づいて、協定締結校の学生を本学に受け入れています。本学で修得した単位は、所属大学などの単位として認定されます。

## 入学手続と学費

### 入学手続

- (1) 放送大学は、年間2学期制(4月～9月、10月～3月)を採用しており、年2回(4月・10月)入学の機会があります。
- (2) 入学者の選考は、書類により行い、学力試験は行いません。
- (3) 出願者は、所属を希望する学習センターを選びます。

### 学費

学生種	入学料	授業料	
全科履修生	24,000円	放送授業1科目(2単位)	12,000円
選科履修生	9,000円	面接授業1科目(1単位)	6,000円
科目履修生	7,000円	オンライン授業・ ライブWeb授業1科目(1単位)	6,000円
集中科目履修生	5,000円	(2単位)	12,000円
		※1学期(半年間)・放送授業は教材費込み	

- (1) 入学料は入学時に、授業料はそれぞれの学期の開始前に履修登録した科目の合計単位数分(登録単位数×6,000円)の金額を、コンビニエンスストア・ゆうちょ銀行・金融機関から払い込むことになります。一部スマホ決済も使用可能となりました。
- (2) 放送授業の場合、印刷教材(テキスト)の費用は上記の授業料に含まれています。
- (3) 既修得単位認定審査等手数料は10,000円となります。
- (4) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

### 入学料の割引

学校・企業などが推薦する20名以上の所属学生や職員の出願書類を取りまとめ、一括して手続きをした場合などには、全員の入学料を割引します。また、過去3年以内に教養学部の学生であった方は、入学料が割引となります。(ただし、集中科目履修生の入学料は前年度に集中科目履修生であった方に限り割引となります。)

#### 「奨学金の貸与及び給付」

- 全科履修生(面接授業を履修する人)に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与・給付されます。
- 選科履修生(4月入学者のみ)に対しては、選考の上、公益財団法人北野生涯教育振興会の奨学金が給付されます。

#### 「勤労学生の所得控除」

- 全科履修生に対しては、年間所得が一定額に満たない場合、勤労学生控除が適用されます。

#### 「国民年金学生納付特例」

- 全科履修生に対しては、前年の所得が一定額に満たない場合、学生納付特例制度が適用されます。

#### 「郵便料金の割引」

- 通信指導や授業内容に関する質問のための郵便料金は、1通100グラムまで15円です。

#### 「学生旅客運賃割引証の発行」

- 全科履修生が自宅から学習センターに通学する場合などに、学生旅客運賃割引証を発行します。

#### 「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」(一般教育訓練給付)

- 選科履修生は教養学部企業会計コース、教養学部企業経営コース、データサイエンスリテラシーコース、データサイエンスアドバンスコース、学校地域連携コーディネーターコース、科目履修生は教養学部企業経営(短期養成)コースが対象講座です。

## 教養学部開設授業科目一覧

授業科目には、すべてのコースにおける学習をするための基礎となる基盤科目、各コースで開設するコース科目があります。コース科目は導入科目、専門科目、総合科目に分類されます。その他に資格取得などに資する科目として、学校図書館司書教諭資格取得に資する科目(学校図書館司書教諭講習)及び看護師資格取得に資する科目があります。

2024年度に開設する放送授業科目は288科目(テレビ169科目、ラジオ119科目)、オンライン授業科目は50科目です

(卒業研究及び体育実技は含まれません)。

この他に面接授業も多数開講し、ライブWeb授業も徐々に開講数を増やしています。

資格取得などに資する科目のうち、学校図書館司書教諭資格取得に資する科目については、夏季集中型科目として開設しており、第1学期夏期学習期間にのみ放送されます。なお、この講習科目については、単位を修得しても本学の卒業に必要な単位数に算入されません。

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目  
TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
基盤科目	運動と健康('22)	(関根 紀子)	TV	2
	小学校外国語教育教授基礎論('17)	—新学習指導要領に向けた外国語活動・外国語への対応—	OL	2
		(柏谷 恭子、直山 木綿子)		
	市民自治の知識と実践('21)	(山岡 龍一、岡崎 晴輝)	R	2
	問題解決の進め方('19)	(秋光 淳生、柴山 盛生)	TV	2
	国際理解のために('19)	(高橋 和夫)	R	2
	自然科学はじめの一歩('22)	(岸根 順一郎、大森 聡一)	TV	2
	子育て支援一法と政策を学ぶ('20)	(大曾根 寛(2023年2月ご逝去)、倉田 賀世)	OL	1
	社会と産業の倫理('21)	(松原 隆一郎、山岡 龍一)	R	2
	より良い思考の技法('23)	—クリティカル・シンキングへの招待—	TV	2
		(菊池 聡)		
	心理と教育へのいざない('24)	(苑 復傑、向田 久美子、佐藤 仁美)	R	2
	日本語リテラシー('21)	(滝浦 真人)	TV	2
	日本語リテラシー演習('18)	(滝浦 真人)	OL	1
	日本語アカデミックライティング('22)	(滝浦 真人)	TV※	2
	遠隔学習のためのパソコン活用('21)	(秋光 淳生、三輪 眞木子)	TV	2
	地理空間情報の基礎と活用('22)	(川原 靖弘、関本 義秀)	TV	2
	情報学へのとびら('22)	(加藤 浩、大西 仁)	TV	2
データサイエンス・リテラシー導入('22)	(中谷 多哉子)	OL	1	
データサイエンス・リテラシー基礎('22)	(加藤 浩)	OL	1	
データサイエンス・リテラシー心得('22)	(辰己 丈夫)	OL	1	
初歩からの数学('18)	(隈部 正博)	TV	2	
身近な統計('24)	(石崎 克也、渡辺 美智子)	TV	2	
演習初歩からの数学('20)	(隈部 正博)	OL	1	
<b>小 計</b>	<b>22科目</b>	<b>38単位</b>		
基盤科目 外国語	ビートルズ de 英文法('21)	(佐藤 良明)	R	2
	英語で「道」を語る('21)	(大橋 理枝、斎藤 兆史)	TV	2
	グローバル時代の英語('22)	(宮本 陽一郎、大橋 理枝、クリスティ コリンズ)	R	2
	英語で読む大統領演説('20)	(宮本 陽一郎)	TV	2
	教養で読む英語('19)	(大橋 理枝)	OL	2
	看護・医療の英語('19)	(三品 由紀子、大石 和欣)	OL	1
	ドイツ語Ⅰ('23)	(井出 万秀)	TV	2
	ドイツ語Ⅱ('23)	(井出 万秀)	R	2
	フランス語Ⅰ('24)	(田口 亜紀)	TV	2
	フランス語Ⅱ('24)	(田口 亜紀)	R	2
	中国語Ⅰ('23) —夏目漫歩東京—	(宮本 徹)	TV	2
	中国語Ⅱ('23) —劉汀「舅爺」他—	(宮本 徹)	R	2
	韓国語Ⅰ('20)	(永原 歩、生越 直樹)	TV	2
韓国語Ⅱ('20)	(生越 直樹、永原 歩)	R	2	
初歩のロシア語('22)	(沼野 恭子)	R	2	
<b>小 計</b>	<b>15科目</b>	<b>29単位</b>		
生活と福祉コース 導入科目	生活経済学('20)	(重川 純子)	R	2
	暮らしに活かす不動産学('22)	(齊藤 広子、中城 康彦)	TV	2
	生活環境情報の表現—GIS入門('20)	(川原 靖弘、瀬戸 寿一※)	OL	1
	健康と社会('23)	(戸ヶ里 泰典)	R	2
	健康への力の探究('19)	(戸ヶ里 泰典、中山 和弘)	R	2
	疾病の成立と回復促進('21)	—人体の構造と機能及び疾病B—	TV	2
		(岡田 忍、佐伯 由香)		
	疾病の回復を促進する薬('21)	(櫻井 隆、服部 信孝)	TV	2
	人体の構造と機能('22)	—人体の構造と機能及び疾病A—	TV	2
		(坂井 建雄、岡田 隆夫)		
	睡眠と健康('21)	(宮崎 総一郎、林 光緒)	R	2
	がんを知る('16)	(田城 孝雄、渡邊 清高)	OL	2
	感染症と生体防御('24)	(田城 孝雄、北村 聖)	R	2
	がんとともに生きる('18)	(田城 孝雄、渡邊 清高)	OL	1
	健康長寿のためのスポーツロジー('24)	(田城 孝雄、内藤 久士)	TV	2

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位	
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)				
導入科目	循環器の健康科学('20)	(田城 孝雄、佐藤 真治※)	OL	1	
	社会福祉—新しい地平を拓く('22)	(山田 知子)	TV	2	
	貧困の諸相('23)	(駒村 康平、渡辺 久里子)	R	2	
	社会統計学入門('24)【社会と産業コースと共用】	(林 拓也)	R	2	
	社会調査の基礎('19)【社会と産業コースと共用】	(北川 由紀彦、山口 恵子)	TV	2	
	かたちの化学-化学の考え方入門('23)	【自然と環境コースと共用】	(橋本 健朗)	TV	2
	分子の変化からみた世界('23)	【自然と環境コースと共用】	(安池 智一)	TV	2
	<b>小 計</b>	<b>20科目</b>	<b>37単位</b>		
	生活環境と情報認知('20)	(川原 靖弘、片桐 祥雅)	TV	2	
	持続可能な社会と生活('23)	(関 正雄)	TV	2	
ソーシャルシティ('23)	(川原 靖弘、鈴木 淳一)	TV	2		
食と健康('24)	(朝倉 富子、佐藤 隆一郎)	TV	2		
リスクコミュニケーションの探究('23)	(奈良 由美子)	R	2		
コミュニティがつなぐ安全・安心('20)	(林 春男)	TV	2		
リスク社会の家族変動('20)	(田間 泰子)	R	2		
家族問題と家族支援('20)	(下夷 美幸)	R	2		
食の安全('21)	(吉村 悦郎、関崎 勉)	TV	2		
公衆衛生('24)	(田城 孝雄、横山 和仁)	R	2		
認知症と生きる('21)	(井出 訓、山川 みやえ)	TV	2		
リハビリテーション('19)	(金田 嘉清、大塚 圭)	R	2		
今日のメンタルヘルス('23)	—健康・医療心理学の実践的展開—	(石丸 昌彦)	TV	2	
看護学概説('22)	(山内 豊明)	R	2		
基礎看護学('24)	(戸ヶ里 泰典)	TV	2		
地域・在宅看護論('23)	(永田 智子、小野 若菜子)	TV	2		
災害看護学・国際看護学('20)	(神崎 初美、西上 あゆみ)	TV	2		
看護管理と医療安全('24)	(飯島 佐知子、田中 幸子)	R	2		
精神疾患とその治療('20)	(石丸 昌彦)	R	2		
高齢期を支える('23)	—高齢者が社会を支える時代に向け—	(板本 一三郎)	R	2	
地域福祉の課題と展望('22)	(齊藤 弥生、小松 理佐子)	TV	2		
社会福祉実践とは何か('22)	(横山 登志子)	R	2		
社会政策の国際動向と日本の位置('23)	(居神 浩)	TV	2		
ライフステージと社会保障('20)	(丸谷 浩介)	R	2		
子どもの人権をどうまもるのか('21)	—福祉施策と実践を学ぶ—	(山縣 文治)	TV	2	
障害者の自立と制度('24)	(松井 彰彦、川島 聡)	TV	2		
生物の進化と多様化の科学('17)	【自然と環境コースと共用】	(二河 成男)	TV	2	
環境を可視化する技術と応用('23)	【社会と産業コースと共用】	(中村 恭志、浅輪 貴史)	TV	2	
ヒューマンインタフェース('23)	【情報コースと共用】	(増井 俊之、小池 英樹)	TV※	2	
感覚と応答の生物学('23)【自然と環境コースと共用】	(二河 成男)	TV	2		
都市と地域の社会学('24)【社会と産業コースと共用】	(北川 由紀彦、玉野 和志)	R	2		
<b>小 計</b>	<b>31科目</b>	<b>62単位</b>			
総合科目	地域生活を支える社会福祉と法('24)	(平部 康子、木村 茂喜)	R	2	
	レジリエンスの科学('24)	(奈良 由美子、鈴木 康弘)	TV	2	
	グリーンサポートと死生学('24)	(石丸 昌彦、山崎 浩司)	R	2	
	地域包括ケアシステムと在宅医療('18)	(田城 孝雄、服部 真治)	OL	1	
	住まいの環境論('23)【社会と産業コースと共用】	(田中 稲子)	TV	2	
<b>小 計</b>	<b>5科目</b>	<b>9単位</b>			
心理と教育コース 導入科目	教育社会学概論('19)	(岩永 雅也)	TV	2	
	現代教育入門('21)	(岩永 雅也、岩崎 久美子)	R	2	
	テーマで学ぶ日本教育史('24)	(貝塚 茂樹)	R	2	
	学校と社会を考える('17)	(田中 統治)	OL	2	

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目  
TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
導入科目	キャリアコンサルティング概説('20) (岩永 雅也、藤田 真也※、原田 順子※、中井 智子※、小杉 礼子※、末廣 啓子※、石丸 昌彦※、岡崎 淳一※)		OL	1
	教育・学校心理学('20) (進藤 聡彦、谷口 明子)		TV	2
	心理学概論('24) (森 津太子、向田 久美子)		TV	2
	発達心理学概論('17) (向田 久美子)		R	2
	社会調査の基礎('19)【社会と産業コースと共用】 (北川 由紀彦、山口 恵子)		TV	2
	疾病の成立と回復促進('21) 一人体の構造と機能及び疾病B-【生活と福祉コースと共用】 (岡田 忍、佐伯 由香)		TV	2
	社会学概論('21)【社会と産業コースと共用】 (北川 由紀彦)		TV	2
	社会福祉-新しい地平を拓く('22) 【生活と福祉コースと共用】 (山田 知子)		TV	2
	人体の構造と機能('22) 一人体の構造と機能及び疾病A-【生活と福祉コースと共用】 (坂井 建雄、岡田 隆夫)		TV	2
	日常生活のデジタルメディア('22)【情報コースと共用】 (青木 久美子、高橋 秀明)		TV	2
	博物館概論('23)【人間と文化コースと共用】 (鶴見 英成)		TV	2
	総合人類学としてのヒト学('18) 【人間と文化コースと共用】 (高倉 浩樹)		R	2
	睡眠と健康('21)【生活と福祉コースと共用】 (宮崎 総一郎、林 光緒)		R	2
	貧困の諸相('23) 【生活と福祉コースと共用】 (駒村 康平、渡辺 久里子)		R	2
	経営学入門('24) 【社会と産業コースと共用】 (原田 順子、松井 美樹)		R	2
	社会統計学入門('24)【社会と産業コースと共用】 (林 拓也)		R	2
	多文化共生のコミュニケーション('24) 【人間と文化コースと共用】 (大橋 理枝、根橋 玲子)		R	2
Rで学ぶ確率統計('21)【情報コースと共用】 (秋光 淳生)		OL	1	
共生のための技術者倫理('24)【社会と産業コースと共用】 (金光 秀和)		OL	2	
日本語教育学入門('24) 【人間と文化コースと共用】 (伊東 祐郎、滝浦 真人)		TV※	2	
<b>小 計</b>	<b>24科目</b>	<b>46単位</b>		
心理と教育コース	肢体不自由児の教育('20) (川間 健之介、長沼 俊夫)		TV	2
	教育調査の基礎('20) (藤田 武志、西島 央)		TV	2
	学校リスク論('22) (内田 良)		TV	2
	新時代の生徒指導('23) (東 宏行、伊東 毅)		TV	2
	コミュニティと教育('24) (仲田 康一、大木 真徳)		TV	2
	現代の家庭教育('18) (田中 理絵)		R	2
	特別支援教育総論('19) (加瀬 進、高橋 智)		R	2
	知的障害教育総論('20) (太田 俊己、佐藤 慎二)		R	2
	道徳教育論('21) (貝塚 茂樹、林 泰成)		R	2
	乳幼児の保育・教育('21) (野口 隆子)		R	2
	幼児教育の指導法('22) (師岡 章)		R	2
	日本の文化と教育('23) (矢口 徹也、辻 智子)		R	2
	教育の行政・政治・経営('23) (青木 栄一、川上 泰彦)		R	2
	学校と法('24) (坂田 仰)		R	2
	世界の学校('24) (園山 大祐、辻野 けんま)		R	2
	教育課程の意義及び編成の方法('15) (福元 真由美)		OL	1
	幼児理解の理論及び方法('15) (中澤 潤、砂上 史子)		OL	1
	生涯学習を考える('17) (岩永 雅也、岩崎 久美子)		OL	2
	SDGsと教育('22) (及川 幸彦、鈴木 克徳※、中澤 静男※)		OL	2
	特別支援教育基礎論('24) (加瀬 進、高橋 智※、田部 絢子※、池田 吉史※、堤 英俊※)		OL	2
	学校図書館サービス論('21) (前田 稔、堀川 照代)		TV※	2
	社会教育経営実践論('22) (佐藤 晴雄、佐々木 英和)		TV※	2
	生涯学習支援の理論と実践('22) (赤尾 勝己、吉田 敦也)		TV※	2
	日本の教職論('22) (大野 裕己、露口 健司)		TV※	2
	心理学研究法('20) (三浦 麻子)		TV	2
	錯覚の科学('20) (菊池 聡)		TV	2
	社会・集団・家族心理学('20) (森 津太子)		TV	2
心理学統計法('21) (清水 裕士)		TV	2	
学習・言語心理学('21) (高橋 秀明)		TV	2	

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
心理と教育コース	神経・生理心理学('22) (高瀬 堅吉)		TV	2
	知覚・認知心理学('23) (石口 彰)		TV	2
	進化心理学('23) (大坪 庸介)		TV	2
	産業・組織心理学('20) (山口 裕幸)		R	2
	乳幼児・児童の心理臨床('17) (小林 真理子、塩崎 尚美)		TV	2
	認知行動療法('20) (下山 晴彦、神村 栄一)		TV	2
	臨床心理学概論('20) (倉光 修)		TV	2
	心理カウンセリング序説('21) 一心理学的支援法一 (大山 泰宏)		TV	2
	イメージの力('24) (佐藤 仁美)		TV	2
	思春期・青年期の心理臨床('19) (大山 泰宏)		R	2
	中高年の心理臨床('20) (宇都宮 博、大川 一郎)		R	2
	心理職の専門性('20) 一公認心理師の職責一 (吉川 真理、平野 直己)		R	2
	心理的アセスメント('20) (森田 美弥子、永田 雅子)		R	2
	司法・犯罪心理学('20) (廣井 亮一)		R	2
	感情・人格心理学('21) (大山 泰宏、佐々木 玲仁)		R	2
	心理臨床における法・倫理・制度('21) 一関係行政論一 (津川 律子、元永 拓郎)		R	2
	福祉心理学('21) (村松 健司、坪井 裕子)		R	2
	障害者・障害児心理学('21) (古賀 精治)		R	2
	精神分析とユング心理学('23) (吉川 真理、田中 健夫)		R	2
	博物館情報・メディア論('18)【人間と文化コースと共用】 (稲村 哲也、近藤 智嗣)		TV	2
	情報社会のユニバーサルデザイン('19) 【情報コースと共用】 (広瀬 洋子、関根 千佳)		TV	2
	Webのしくみと応用('19)【情報コースと共用】 (森本 容介、伊藤 一成)		TV	2
	ユーザ調査法('20)【情報コースと共用】 (高橋 秀明)		TV	2
	子どもの人権をどうまもるのか('21) 一福祉施策と実践を学ぶ一 【生活と福祉コースと共用】 (山縣 文治)		TV	2
	認知症と生きる('21)【生活と福祉コースと共用】 (井出 訓、山川 みやえ)		TV	2
	マーケティング('21)【社会と産業コースと共用】 (井上 淳子、石田 大典)		TV	2
	教育のためのICT活用('22)【情報コースと共用】 (中川 一史、苑 復傑)		TV	2
	メディア論('22)【情報コースと共用】 (水越 伸)		TV	2
	持続可能な社会と生活('23)【生活と福祉コースと共用】 (関 正雄)		TV	2
	ソーシャルシティ('23)【生活と福祉コースと共用】 (川原 靖弘、鈴木 淳一)		TV	2
	今日のメンタルヘルス('23) 一健康・医療心理学の実践的展開一 【生活と福祉コースと共用】 (石丸 昌彦)		TV	2
	障害者の自立と制度('24) 【生活と福祉コースと共用】 (松井 彰彦、川島 聡)		TV	2
	フィールドワークと民族誌('24) 【人間と文化コースと共用】 (大村 敬一、中空 萌)		TV	2
	データの分析と知識発見('24) 【情報コースと共用】 (秋光 淳生)		TV	2
統計学('19)【自然と環境コースと共用】 (藤井 良宜)		R	2	
家族問題と家族支援('20)【生活と福祉コースと共用】 (下夷 美幸)		R	2	
精神疾患とその治療('20)【生活と福祉コースと共用】 (石丸 昌彦)		R	2	
大学マネジメント論('20)【社会と産業コースと共用】 (小方 直幸)		R	2	
NPO・NGOの世界('21)【社会と産業コースと共用】 (大橋 正明、利根川 佳子)		R	2	
博物館教育論('22)【人間と文化コースと共用】 (大高 幸、寺島 洋子)		R	2	
リスクコミュニケーションの探究('23) 【生活と福祉コースと共用】 (奈良 由美子)		R	2	
高齢期を支える('23) 一高齢者が社会を支える時代に向け一 【生活と福祉コースと共用】 (柄本 一三郎)		R	2	
サービスサイエンス('23) 【社会と産業コースと共用】 (岡田 幸彦、原 辰徳)		R	2	
現代に生きる現象学('23) 一意味・身体・ケア一 【人間と文化コースと共用】 (榎原 哲也、本郷 均)		R	2	
博物館経営論('23)【人間と文化コースと共用】 (佐々木 亨、今村 信隆)		R	2	

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目  
TV\*:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
心理と教育コース	専門科目	情報化社会におけるメディア教育('24) 【情報コースと共用】 (苑 復傑、中川 一史)	R	2
		行政学講読('24)【社会と産業コースと共用】 (金井 利之)	R	2
		小学校プログラミング教育概論('21) 【情報コースと共用】 (中川 一史、小林 祐紀※)	OL	1
		情報セキュリティの理論と基盤('23) 【情報コースと共用】 (菊池 浩明、上原 哲太郎※)	OL	1
		情報セキュリティの現状と展望('23) 【情報コースと共用】 (上原 哲太郎、菊池 浩明※)	OL	1
		ヒューマンインタフェース('23)【情報コースと共用】 (増井 俊之、小池 英樹)	TV*	2
		<b>小 計</b>	<b>80科目</b>	<b>155単位</b>
総合科目	色を探究する('23) (佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2	
	情報技術が拓く人間理解('20)【情報コースと共用】 (仁科 エミ、辰己 丈夫)	TV	2	
	レジリエンスの科学('24) 【生活と福祉コースと共用】 (奈良 由美子、鈴木 康弘)	TV	2	
	グリーンサポートと死生学('24) 【生活と福祉コースと共用】 (石丸 昌彦、山崎 浩司)	R	2	
	時間を究める('23)【人間と文化コースと共用】 (大橋 理枝、佐藤 仁美※、岸根 順一郎※)	OL	1	
<b>小 計</b>	<b>5科目</b>	<b>9単位</b>		
社会と産業コース	導入科目	経済社会を考える('19) (坂井 素思、間々田 孝夫)	R	2
		社会調査の基礎('19) (北川 由紀彦、山口 恵子)	TV	2
		社会統計学入門('24) (林 拓也)	R	2
		社会学概論('21) (北川 由紀彦)	TV	2
		一般市民のための法学入門('23) (李 鳴)	R	2
		グローバル化時代の日本国憲法('19) (山元 一)	TV	2
		政治学入門('22) (山岡 龍一、待鳥 聡史)	R	2
		経営学入門('24) (原田 順子、松井 美樹)	R	2
		共生のための技術者倫理('24) (金光 秀和)	OL	2
		教育社会学概論('19)【心理と教育コースと共用】 (岩永 雅也)	TV	2
		生活経済学('20)【生活と福祉コースと共用】 (重川 純子)	R	2
		生活環境情報の表現-GIS入門('20) 【生活と福祉コースと共用】 (川原 靖弘、瀬戸 寿一※)	OL	1
		日本近現代史('21)【人間と文化コースと共用】 (季武 嘉也)	R	2
		暮らしに活かす不動産学('22)【生活と福祉コースと共用】 (齋藤 広子、中城 康彦)	TV	2
		西洋哲学の根源('22)【人間と文化コースと共用】 (納富 信留)	R	2
		健康と社会('23)【生活と福祉コースと共用】 (戸ヶ里 泰典)	R	2
		貧困の諸相('23)【生活と福祉コースと共用】 (駒村 康平、渡辺 久里子)	R	2
		哲学・思想を今考える('23) 一歴史の中で— 【人間と文化コースと共用】 (魚住 孝至)	R	2
		情報と法('23)【情報コースと共用】 (児玉 晴男)	R	2
<b>小 計</b>	<b>19科目</b>	<b>37単位</b>		
専門科目	都市と地域の社会学('24) (北川 由紀彦、玉野 和志)	R	2	
	現代経済学('19) (依田 高典)	TV	2	
	現代国際社会と有機農業('23) (中西 徹)	R	2	
	日本経済の比較史('24) (谷本 雅之)	TV	2	
	財政と現代の経済社会('19) (諸富 徹)	TV	2	
	災害社会学('20) (金菱 清)	TV	2	
	金融と社会('20) (野間 敏克)	TV	2	
	大学マネジメント論('20) (小方 直幸)	R	2	
	椅子クラフツ文化の社会経済学('20) (坂井 素思)	OL	1	
	環境と持続可能な経済発展('24) (坂田 裕輔)	R	2	
	市民生活と裁判('22) (川島 清嘉、川島 志保)	TV	2	
	刑法と生命('21) (和田 俊憲)	R	2	
	民法('22) (武川 幸嗣)	R	2	
	行政法('22) (高橋 信行)	R	2	
	人生100年時代の家族と法('23) (本山 敦、岩井 勝弘)	TV	2	
	日本政治思想史('21) (原 武史)	R	2	

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
社会と産業コース	専門科目	国際法('19) (柳原 正治)	R	2
		著作権法('22) (作花 文雄)	R	2
		雇用社会と法('21) (國武 英生)	TV	2
		全体主義と新自由主義のあいだ('23) (山岡 龍一)	OL	2
		日本政治外交史('19) (五百旗頭 薫、奈良岡 聡智)	TV	2
		現代の国際政治('22) (白鳥 潤一郎、高橋 和夫)	TV	2
		ヨーロッパ政治史('24) (中山 洋平、水島 治郎)	R	2
		新興アジアの政治と経済('24) (高木 佑輔、伊藤 聖聖)	R	2
		行政学講読('24) (金井 利之)	R	2
		現代アメリカの政治と社会('24) (渡辺 靖)	TV	2
		マーケティング('21) (井上 淳子、石田 大典)	TV	2
		国際経営('19) (原田 順子、洞口 治夫)	R	2
		管理会計('22) (齋藤 正章)	R	2
		簿記入門('22) (齋藤 正章)	R	2
		ファイナンス入門('23) (齋藤 正章、阿部 圭司)	TV	2
		経営情報学入門('23) (岸 真理子、佐藤 亮)	TV	2
		現代の内部監査('22) (齋藤 正章、蟹江 章)	TV	2
		フードシステムと日本農業('22) (新山 陽子)	R	2
		SDGs下のアジア産業論('23) (古橋 元)	R	2
		サプライチェーン・マネジメント('21) (松井 美樹)	TV	2
		NPO・NGOの世界('21) (大橋 正明、利根川 佳子)	R	2
		サービスサイエンス('23) (岡田 幸彦、原 辰徳)	R	2
		イノベーション・マネジメント('23) (伊藤 宗彦)	R	2
		会計学('24) (川村 義則)	TV	2
		官民の人的資源論('24) (原田 順子、今井 由紀子※、稲継 裕昭※)	OL	1
		地球温暖化と社会イノベーション('18) (六川 修一、向井 人史)	TV	2
		環境を可視化する技術と応用('23) (中村 恭志、浅輪 貴史)	TV	2
		緑地環境の計画('21) (宮城 俊作)	OL	2
		コミュニティと教育('24) 【心理と教育コースと共用】 (仲田 康一、大木 真徳)	TV	2
		コミュニティがつなぐ安全・安心('20) 【生活と福祉コースと共用】 (林 春男)	TV	2
		リスク社会の家族変動('20)【生活と福祉コースと共用】 (田間 泰子)	R	2
		ライフステージと社会保障('20) 【生活と福祉コースと共用】 (丸谷 浩介)	R	2
		社会・集団・家族心理学('20) 【心理と教育コースと共用】 (森 津太子)	TV	2
		産業・組織心理学('20)【心理と教育コースと共用】 (山口 裕幸)	R	2
		日本の近世('20)【人間と文化コースと共用】 (杉森 哲也)	R	2
		データの分析と知識発見('24)【情報コースと共用】 (秋光 淳生)	TV	2
		近現代ヨーロッパの歴史('22) 一人の移動から見る— 【人間と文化コースと共用】 (北村 暁夫、中嶋 毅)	TV	2
		メディア論('22)【情報コースと共用】 (水越 伸)	TV	2
		持続可能な社会と生活('23)【生活と福祉コースと共用】 (関 正雄)	TV	2
		社会政策の国際動向と日本の位置('23) 【生活と福祉コースと共用】 (居申 浩)	TV	2
		ソーシャルシティ('23)【生活と福祉コースと共用】 (川原 靖弘、鈴木 淳一)	TV	2
		障害者の自立と制度('24)【生活と福祉コースと共用】 (松井 彰彦、川島 聡)	TV	2
		食と健康('24)【生活と福祉コースと共用】 (朝倉 富子、佐藤 隆一郎)	TV	2
		学校と法('24)【心理と教育コースと共用】 (坂田 仰)	R	2
		アメリカ史:世界史の中で考える('24) 【人間と文化コースと共用】 (小野沢 透、肥後本 芳男)	TV	2
		原典で読む日本の思想('24)【人間と文化コースと共用】 (頼住 光子)	R	2
西アジアの歴史('24)【人間と文化コースと共用】 (林 佳世子)	R	2		
フィールドワークと民族誌('24) 【人間と文化コースと共用】 (大村 敬一、中空 萌)	TV	2		
<b>小 計</b>	<b>64科目</b>	<b>126単位</b>		
総合科目	海からみた産業と日本('22) (原田 順子、篠原 正治)	R	2	
	エネルギーと社会('19) (迫田 章義、堤 敦司)	TV	2	
	開発経済学:アジア社会の変容('24) (大野 昭彦、藤田 幸一※、加治佐 敬※)	OL	2	
世界の中の日本外交('21) (白鳥 潤一郎、高橋 和夫)	TV	2		

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目  
TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位		
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)					
社会と産業コース	総合科目	環境と社会('21) (大塚 直)	R	2		
		空間と政治('22) (原 武史)	TV	2		
		住まいの環境論('23) (田中 稲子)	TV	2		
		時間を究める('23)【人間と文化コースと共用】 (大橋 理枝、佐藤 仁美※、岸根 順一郎※)	OL	1		
		地域生活を支える社会福祉と法('24) 【生活と福祉コースと共用】 (平部 康子、木村 茂喜)	R	2		
		情報社会と国際ボランティア活動('24) 【情報コースと共用】 (山田 恒夫)	TV	2		
		レジリエンスの科学('24) 【生活と福祉コースと共用】 (奈良 由美子、鈴木 康弘)	TV	2		
		<b>小 計</b>	<b>11科目</b>	<b>21単位</b>		
		導入科目	哲学・思想を今考える('23)－歴史の中で－ (魚住 孝至)	R	2	
			西洋哲学の根源('22) (納富 信留)	R	2	
歴史のなかの人間('22) (近藤 成一、杉森 哲也)	TV		2			
日本近現代史('21) (季武 嘉也)	R		2			
『枕草子』の世界('24) (島内 裕子)	R		2			
日本文学と和歌('21) (渡部 泰明)	R		2			
世界文学への招待('22) (野崎 敏、阿部 公彦)	TV		2			
漢文の読み方('19) (宮本 徹、松江 崇)	R		2			
日本語学入門('20) (滝浦 真人)	TV		2			
日本語教育学入門('24) (伊東 祐郎、滝浦 真人)	TV※		2			
多文化共生のコミュニケーション('24) (大橋 理枝、根橋 玲子)	R		2			
人文地理学からみる世界('22) (佐藤 廉也、宮澤 仁)	TV		2			
総合人類学としてのヒト学('18) (高倉 浩樹)	R		2			
博物館概論('23) (鶴見 英成)	TV		2			
政治学入門('22)【社会と産業コースと共用】 (山岡 龍一、待鳥 聡史)	R		2			
心理学概論('24)【心理と教育コースと共用】 (森 津太子、向田 久美子)	TV		2			
宮沢賢治と宇宙('24)【自然と環境コースと共用】 (谷口 義明、大森 聡一)	TV		2			
<b>小 計</b>	<b>17科目</b>	<b>34単位</b>				
人間と文化コース	専門科目	文学・芸術・武道にみる日本文化('19) (魚住 孝至)	TV	2		
		原典で読む日本の思想('24) (頼住 光子)	R	2		
		原初から/への思索('22)－西田幾多郎とハイデッガー－ (秋富 克哉)	R	2		
		現代に生きる現象学('23)－意味・身体・ケア－ (榎原 哲也、本郷 均)	R	2		
		英米哲学の挑戦('23)－文学と懐疑－ (勢力 尚雅、古田 徹也)	R	2		
		西洋の美学・美術史('24) (小田部 胤久、宮下 規久朗)	TV	2		
		アメリカの芸術と文化('19) (宮本 陽一郎、佐藤 良明)	TV	2		
		日本美術史の近代とその外部('18) (稲賀 繁美)	TV	2		
		西洋音楽史('21) (津上 英輔、赤塚 健太郎)	R	2		
		舞台芸術の魅力('17) (青山 昌文)	TV	2		
		古代中世の日本('23) (近藤 成一、坂上 康俊)	TV	2		
		日本の近世('20) (杉森 哲也)	R	2		
		韓国朝鮮の歴史と文化('21) (須川 英徳(2023年3月ご逝去)、三ツ井 崇)	R	2		
		中国と東部ユーラシアの歴史('20) (佐川 英治、杉山 清彦)	TV	2		
		西アジアの歴史('24) (林 佳世子)	R	2		
		都市から見るヨーロッパ史('21) (河原 温、池上 俊一)	TV	2		
		近現代ヨーロッパの歴史('22)－人の移動から見る－ (北村 暁夫、中嶋 毅)	TV	2		
		アメリカ史:世界史の中で考える('24) (小野沢 透、肥後本 芳男)	TV	2		
		樋口一葉の世界('23) (島内 裕子)	R	2		
		『方丈記』と『徒然草』('18) (島内 裕子)	TV	2		
文学批評への招待('18) (丹治 愛、山田 広昭)	R	2				
世界文学の古典を読む('20) (村松 真理子、横山 安由美)	R	2				
ヨーロッパ文学の読み方－近代篇('19) (沼野 充義、野崎 敏)	R	2				
言語研究法('19) (滝浦 真人)	OL	2				
フィールドワークと民族誌('24) (大村 敬一、中空 萌)	TV	2				
「人新世」時代の文化人類学('20) (大村 敬一、湖中 真哉)	TV	2				
博物館教育論('22) (大高 幸、寺島 洋子)	R	2				
博物館資料論('18) (稲村 哲也、近藤 智嗣)	OL	2				

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位		
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)					
人間と文化コース	専門科目	博物館資料保存論('19) (稲村 哲也、本田 光子)	TV	2		
		博物館展示論('16) (稲村 哲也)	TV	2		
		博物館情報・メディア論('18) (稲村 哲也、近藤 智嗣)	TV	2		
		博物館経営論('23) (佐々木 亨、今村 信隆)	R	2		
		生涯学習を考える('17)【心理と教育コースと共用】 (岩永 雅也、岩崎 久美子)	OL	2		
		学習・言語心理学('21)【心理と教育コースと共用】 (高橋 秀明)	TV	2		
		日本の文化と教育('23)【心理と教育コースと共用】 (矢口 徹也、辻 智子)	R	2		
		全体主義と新自由主義のあいだ('23) 【社会と産業コースと共用】 (山岡 龍一)	OL	2		
		日本政治思想史('21)【社会と産業コースと共用】 (原 武史)	R	2		
		日本政治外交史('19)【社会と産業コースと共用】 (五百旗頭 薫、奈良岡 聡智)	TV	2		
		新興アジアの政治と経済('24) 【社会と産業コースと共用】 (高木 佑輔、伊藤 聖聖)	R	2		
		ヨーロッパ政治史('20)【社会と産業コースと共用】 (中山 洋平、水島 治郎)	R	2		
		現代の国際政治('22)【社会と産業コースと共用】 (白鳥 潤一郎、高橋 和夫)	TV	2		
		メディア論('22)【情報コースと共用】 (水越 伸)	TV	2		
		世界の学校('24)【心理と教育コースと共用】 (園山 大祐、辻野 けんま)	R	2		
		現代アメリカの政治と社会('24) 【社会と産業コースと共用】 (渡辺 靖)	TV	2		
		記号論理学('24)【情報コースと共用】 (加藤 浩、辰己 丈夫)	TV※	2		
		<b>小 計</b>	<b>45科目</b>	<b>90単位</b>		
		総合科目	時間を究める('23) (大橋 理枝、佐藤 仁美※、岸根 順一郎※)	OL	1	
			色を探究する('23)【心理と教育コースと共用】 (佐藤 仁美、二河 成男)	TV	2	
<b>小 計</b>	<b>2科目</b>	<b>3単位</b>				
導入科目	専門科目	計算の科学と手引き('19) (辰己 丈夫、高岡 詠子)	TV	2		
		表計算プログラミングの基礎('21)－業務効率化をめざして－ (辻 靖彦)	OL	1		
		プログラミング入門Python('24) (辰己 丈夫)	OL	1		
		情報理論とデジタル表現('19) (加藤 浩、浅井 紀久夫)	TV	2		
		Rで学ぶ確率統計('21) (秋光 淳生)	OL	1		
		日常生活のデジタルメディア('22) (青木 久美子、高橋 秀明)	TV	2		
		情報ネットワーク('18) (芝崎 順司)	OL	2		
		情報と法('23) (児玉 晴男)	R	2		
		社会統計学入門('24)【社会と産業コースと共用】 (林 拓也)	R	2		
		生活環境情報の表現－GIS入門('20) 【生活と福祉コースと共用】 (川原 靖弘、瀬戸 寿一※)	OL	1		
		入門微分積分('22)【自然と環境コースと共用】 (石崎 克也)	TV	2		
		共生のための技術者倫理('24) 【社会と産業コースと共用】 (金光 秀和)	OL	2		
		<b>小 計</b>	<b>12科目</b>	<b>20単位</b>		
		情報コース	専門科目	データ構造の基礎('24) (鈴木 一史)	TV	2
				コンピュータの動作と管理('17) (葉田 善章)	TV	2
				コンピュータとソフトウェア('18) (辰己 丈夫、中谷 多哉子)	TV	2
				C言語基礎演習('20) (森本 容介)	OL	1
続・C言語基礎演習('23) (森本 容介)	OL			1		
問題解決の数理('21) (大西 仁)	TV※			2		
データの分析と知識発見('24) (秋光 淳生)	TV			2		
記号論理学('24) (加藤 浩、辰己 丈夫)	TV※			2		
数値の処理と数値解析('22) (櫻井 鉄也)	R			2		
数理最適化法演習('20) (大西 仁)	OL			1		
コンピュータグラフィックス('22) (浅井 紀久夫)	OL			2		
映像コンテンツの制作技術('20) (近藤 智嗣)	TV			2		
デジタル情報の処理と認識('22) (柳沼 良知)	OL			2		
自然言語処理('23) (黒橋 禎夫)	R			2		
情報デザイン('21) (伏見 清香、茂登山 清文(2022年8月ご逝去))	TV			2		

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目  
TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
情報コース	コンピュータビジョン('22)-画像処理による情報抽出の技法-(浅井 紀久夫)		OL	2
	画像処理('24) (柳沼 良知)		R	2
	教育のためのICT活用('22) (中川 一史、苑 復傑)		TV	2
	ユーザ調査法('20) (高橋 秀明)		TV	2
	情報社会のユニバーサルデザイン('19) (広瀬 洋子、関根 千佳)		TV	2
	メディアと知的財産('16) (児玉 晴男)		OL	2
	メディア論('22) (水越 伸)		TV	2
	情報化社会におけるメディア教育('24) (苑 復傑、中川 一史)		R	2
	小学校プログラミング教育概論('21) (中川 一史、小林 祐紀※)		OL	1
	ヒューマンインタフェース('23) (増井 俊之、小池 英樹)		TV※	2
	身近なネットワークサービス('20) (葉田 善章)		TV	2
	情報セキュリティ概論('22) (山田 恒夫、辰己 丈夫)		TV	2
	Webのしくみと応用('19) (森本 容介、伊藤 一成)		TV	2
	データベース('23) (辻 靖彦、芝崎 順司)		TV	2
	情報セキュリティの理論と基盤('23) (菊池 浩明、上原 哲太郎※)		OL	1
	情報セキュリティの現状と展望('23) (上原 哲太郎、菊池 浩明※)		OL	1
	アルゴリズムとプログラミング('20) (鈴木 一史)		R	2
	コンピュータ通信概論('24) (葉田 善章)		R	2
	博物館情報・メディア論('18)		TV	2
	【人間と文化コースと共用】 (稲村 哲也、近藤 智嗣)		TV	2
	解析入門('24)【自然と環境コースと共用】 (河添 健)		TV※	2
	統計学('19)【自然と環境コースと共用】 (藤井 良宜)		R	2
	教育調査の基礎('20)【心理と教育コースと共用】 (藤田 武志、西島 央)		TV	2
心理学統計法('21)【心理と教育コースと共用】 (清水 裕士)		TV	2	
マーケティング('21)【社会と産業コースと共用】 (井上 淳子、石田 大典)		TV	2	
著作権法('22)【社会と産業コースと共用】 (作花 文雄)		R	2	
経営情報学入門('23)【社会と産業コースと共用】 (岸 眞理子、佐藤 亮)		TV	2	
ソーシャルシティ('23)【生活と福祉コースと共用】 (川原 靖弘、鈴木 淳一)		TV	2	
環境を可視化する技術と応用('23)		TV	2	
【社会と産業コースと共用】 (中村 恭志、浅輪 貴史)		TV	2	
<b>小 計</b>		<b>43科目</b>	<b>80単位</b>	
総合科目	情報化社会と国際ボランティア('24) (山田 恒夫)		TV	2
	AIシステムと人・社会との関係('20) (山口 高平、中谷 多哉子)		R	2
	情報技術が拓く人間理解('20) (仁科 エミ、辰己 丈夫)		TV	2
<b>小 計</b>		<b>3科目</b>	<b>6単位</b>	
自然と環境コース	初歩からの生物学('24) (二河 成男、加藤 和弘)		TV	2
	生物環境の科学('16) (加藤 和弘)		TV	2
	初歩からの物理('22) (岸根 順一郎、松井 哲男)		TV	2
	初歩からの化学('18) (安池 智一、鈴木 啓介)		TV	2
	物理の世界('24) (岸根 順一郎、清水 明)		TV	2
	かたちの化学-化学の考え方入門('23) (橋本 健朗)		TV	2
	現代を生きるための化学('22) (橋本 健朗)		R	2
	物理と化学のための数学('21) (橋本 健朗、松井 哲男※、岸根 順一郎※、安池 智一※)		OL	1
	分子の変化からみた世界('23) (安池 智一)		TV	2
	宮沢賢治と宇宙('24) (谷口 義明、大森 聡一)		TV	2
	ダイナミックな地球('21) (大森 聡一)		TV	2
	入門線型代数('19) (隈部 正博)		TV	2
	入門微積分('22) (石崎 克也)		TV	2
	演習微積分('19) (石崎 克也)		OL	1
	感染症と生体防御('24)【生活と福祉コースと共用】 (田城 孝雄、北村 聖)		R	2
	計算の科学と手引き('19)【情報コースと共用】 (辰己 丈夫、高岡 詠子)		TV	2
	人体の構造と機能('22)-人体の構造と機能及び疾病A-【生活と福祉コースと共用】 (坂井 建雄、岡田 隆夫)		TV	2
	博物館概論('23)【人間と文化コースと共用】 (鶴見 英成)		TV	2
	プログラミング入門Python('24)【情報コースと共用】 (辰己 丈夫)		OL	1
	<b>小 計</b>		<b>19科目</b>	<b>35単位</b>

テレビ科目169・ラジオ科目119・オンライン授業科目50  
「科目名」欄の「(〇〇)」は科目が開設された年度の下2桁です。

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
自然と環境コース	生命分子と細胞の科学('19) (二河 成男)		TV	2
	生物の進化と多様化の科学('17) (二河 成男)		TV	2
	植物の科学('21) (塚谷 裕一、荒木 崇)		TV	2
	感覚と応答の生物学('23) (二河 成男)		TV	2
	力と運動の物理('19) (岸根 順一郎、松井 哲男)		TV	2
	場と時間空間の物理('20) (松井 哲男、岸根 順一郎)		TV	2
	量子物理学('21) (松井 哲男、岸根 順一郎)		TV	2
	量子化学('19) (橋本 健朗、安池 智一)		TV	2
	エントロピーからはじめる熱力学('20) (安池 智一、秋山 良)		R	2
	物理演習('16) (岸根 順一郎、齋藤 雅子)		OL	1
	力と運動の物理演習('21) (岸根 順一郎、松井 哲男※)		OL	1
	量子物理演習('24) (岸根 順一郎、御領 潤※)		OL	2
	宇宙の誕生と進化('19) (谷口 義明)		TV	2
	太陽と太陽系の科学('18) (谷口 義明)		TV	2
	地球と環境の探究('20) (大森 聡一)		OL	2
	はじめての気象学('21) (田中 博、伊賀 啓太)		TV	2
	正多面体と素数('21) (橋本 義武)		TV	2
	微分方程式('23) (石崎 克也)		TV※	2
	統計学('19) (藤井 良宜)		R	2
	数学の歴史('19) (三浦 伸夫)		TV	2
	線型代数('17) (隈部 正博)		R	2
	解析入門('24) (河添 健)		TV※	2
	食と健康('24)【生活と福祉コースと共用】 (朝倉 富子、佐藤 隆一郎)		TV	2
	地球温暖化と社会イノベーション('18)		TV	2
	【社会と産業コースと共用】 (六川 修一、向井 人史)		TV	2
	データ構造の基礎('24)【情報コースと共用】 (鈴木 一史)		TV	2
	コンピュータとソフトウェア('18)		TV	2
	【情報コースと共用】 (辰己 丈夫、中谷 多哉子)		TV	2
	錯覚の科学('20)【心理と教育コースと共用】 (菊池 聡)		TV	2
	数値の処理と数値解析('22)【情報コースと共用】 (櫻井 鉄也)		R	2
	環境を可視化する技術と応用('23)		TV	2
	【社会と産業コースと共用】 (中村 恭志、浅輪 貴史)		TV	2
	データベース('23)【情報コースと共用】 (辻 靖彦、芝崎 順司)		TV	2
	環境と持続可能な経済発展('24)		R	2
【社会と産業コースと共用】 (坂田 裕輔)		R	2	
記号論理学('24)【情報コースと共用】 (加藤 浩、辰己 丈夫)		TV※	2	
データの分析と知識発見('24)【情報コースと共用】 (秋光 淳生)		TV	2	
画像処理('24)【情報コースと共用】 (柳沼 良知)		R	2	
<b>小 計</b>		<b>34科目</b>	<b>66単位</b>	
暮らしに役立つバイオサイエンス('21) (岩橋 均、重松 亨)		TV	2	
エネルギーと社会('19)【社会と産業コースと共用】 (迫田 章義、堤 敦司)		TV	2	
情報技術が拓く人間理解('20)【情報コースと共用】 (仁科 エミ、辰己 丈夫)		TV	2	
時間を究める('23)【人間と文化コースと共用】 (大橋 理枝、佐藤 仁美※、岸根 順一郎※)		OL	1	
色を探究する('23)【心理と教育コースと共用】 (佐藤 仁美、二河 成男)		TV	2	
レジリエンスの科学('24) 【生活と福祉コースと共用】 (奈良 由美子、鈴木 康弘)		TV	2	
<b>小 計</b>		<b>6科目</b>	<b>11単位</b>	
資格取得等に資する科目	司書学校経営と学校図書館('23) (野口 武悟、前田 稔)		TV※	2
	学校図書館メディアの構成('22) (米谷 優子、呑海 沙織)		TV※	2
	学習指導と学校図書館('22) (塩谷 京子、鎌田 和宏)		TV	2
	読書と豊かな人間性('20) (米谷 茂則、岩崎 れい)		R	2
	情報メディアの活用('22) (高嶽 裕樹、田嶋 知宏)		TV	2
	<b>小 計</b>		<b>5科目</b>	<b>10単位</b>
	成人看護学('24) (林 直子、佐藤 まゆみ)		R	2
	老年看護学('19) (井出 訓)		R	2
	小児看護学('22) (江本 リナ)		TV	2
	母性看護学('20) (齋藤 いずみ)		TV	2
精神看護学('19) (松下 年子、田辺 有理子)		TV	2	
<b>小 計</b>		<b>5科目</b>	<b>10単位</b>	

## 研究科・専攻・プログラム

放送大学大学院修士課程は、1研究科(文化科学研究科)、1専攻(文化科学専攻)の下に、7つのプログラムを設けています。

研究科	専攻	プログラム名	教育目標
文化科学研究科	文化科学専攻	生活健康科学プログラム	生活、健康、福祉の領域における専門的かつ総合的な知識を持ち、生活環境をよりよい方向に導くための方法を習得し、人々の生活の質の向上に資するための施策に積極的に関わる能力を有する指導的人材の養成
		人間発達科学プログラム	人間の心理的及び社会的な発達のメカニズムを理解し、現代の学校や家族あるいは地域社会が直面する教育課題を科学的・実証的に把握した上で、そうした課題に積極的に取り組み、多様な学習ニーズに対応していくことができる指導的人材の養成
		臨床心理学プログラム	様々な分野で深刻さを増す心理的な問題に対応できる臨床心理士(高度専門職業人)の養成および再研修(※)
		社会経営科学プログラム	社会の構造と変容について多様な見地から解明し、様々な社会領域のガバナンスに必要とされる高度な知識と技術を備えた人材の養成
		人文学プログラム	人文学研究の諸分野において、蓄積されてきた知的資産を基礎にして、多様で洗練された方法論を身につけて資料の調査・解釈・分析を行い、総合的な知見と創造性をもって「知」の発展に貢献できる人材の養成
		情報学プログラム	情報及びコンピュータに関する基礎概念や応用知識をもとに、社会における様々な現象の本質を見極める能力を持ち、問題解決にむけて、その知識を実践的に活用していくことのできる人材の養成
		自然環境科学プログラム	科学技術が自然環境や人間社会に大きな影響を与える現代にあって、科学的認識に基づいて問題を把握し、その解決を指向する実践能力と、客観的な評価能力を身につけた人材の養成

※臨床心理学プログラム…公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第2種指定大学院

## 教育の基本方針 ※2025年度より「教育の基本方針」は改定致します。

「開かれた大学院」として、年齢、性別、職業、居住地域に関係なく、学生が家庭や職場を離れることなく、自らの計画に沿って、広い教養と高度な専門的学識や技能を学び、学位を取得できる場とすることを目指します。深く広い教養に裏付けられた専門知識に基づく確かな総合的判断能力を持ち、習得した知識と見識を社会に還元し、貢献できる人材を育成します。

### ■ 教育の目的

生涯学習の実践を通して、高度な総合的教養に裏打ちされた専門的学識及び知的技能を修得し、文化の進展並びに地域社会及び職場等に貢献できる人材の育成を目的とします。

### ■ ディプロマ・ポリシー

#### 【資質・能力等の養成】

専攻する専門分野に加えて、他の分野における専門知識や技能を修得し、深く広い教養を身につけることにより、学術的な研究遂行能力、高度な職業的知識や技能に基づく総合的判断力及び様々な課題に対して自らの力で解決する能動的探究力を涵養します。

これらの資質・能力により、地域社会や職場など、現代社会における様々な課題を自らの力で解決し、それぞれの地域社会や職場などにおいて活躍する実践的人材を養成します。

#### 【課程修了に必要な学習成果(条件)】

授業科目と研究指導科目を合わせて30単位(臨床心理学プログラムは34単位)以上修得し、修士論文などの審査及び試験に合格することが課程修了・学位取得の要件です。

## ■ カリキュラム・ポリシー

### 【教育課程編成】

修士課程においては、専門知識を修得するための授業科目と研究能力を養う研究指導を提供します。授業科目は深く広い教養の涵養を図るため、所属するプログラムの科目と他プログラムの推奨科目及び関連科目で構成しています。また、学士課程の教育課程との有機的接続を念頭に置き、修士課程に同分野における発展系の科目も開設します。研究指導は、主として論文執筆や研究方法論、学術的研究手法などの実践的コースワークを重視し、修士論文などを段階的・計画的に作成できるよう、修士課程の2年間を通じて指導します。

### 【教育内容・方法】

授業科目は、テレビ・ラジオによる放送授業の他、インターネットを活用したオンライン授業を提供します。

研究指導では、対面やWeb会議システムなどにより個別ないし数人に対する指導を行います。また、各学期の後半では、研究指導教員が課題を出し、それに対する各人のレポートへのフィードバックを行う課題研究の機会、あるいは集中面接授業の機会を設けています。このようにして、いつでもどこでも学べるという柔軟性を持ちつつ、遠方に在住している学生に対しても個別指導の機会を提供します。

### 【学習成果の評価方法】

授業科目は、単位認定試験の結果により成績評価を行います。単位認定試験を課さないオンライン授業は、各回における形成的評価と、最終回後に行う達成度評価の結果を総合的に判断して厳格な成績評価を行います。研究指導は、修士論文などに対する審査と口頭試問の結果を総合的に判断して、修士の学位に相応しいか否かの成績評価を行います。

## ■ アドミッション・ポリシー

### 【求める人材像】

地域社会・職場などにおける豊かな経験を持つ社会人や、専門領域における基礎知識を有し、学問及びその実践への応用に対する意欲と広い問題意識を持って、生涯にわたってあらゆる機会、場所において学び、その成果を生かしていくことができる学習者を求めます。

### 【入学者選抜の方法】

入学者選抜は、年に1回、第1次選考と第2次選考に分けて実施します。第1次選考を実施後、第1次選考合格者に対して第2次選考を実施し、最終合格者を決定します。第1次選考は英語読解力(一部のプログラム)及び専門的知識や思考力を問う筆記試験、第2次選考は提出書類を基にした面接試問により行います。

### 【求める学習成果】

学士課程卒業など、一定の要件を満たすことが条件です。



## 学生の種類及び学習システム

放送大学大学院修士課程の教育は、放送授業と印刷教材を中心とした自宅学習によって行われます。学期の途中に「通信指導」を受けて合格した方は「単位認定試験」を受けることができます。

また、2016年度からは、全ての学習をインターネット上で行う「オンライン授業」を開講しています。

修士全科生における「研究指導」は、対面による直接指導及びメディア（インターネット、Web会議システムなど）により行います。

### ■ 修士全科生 ～修士課程を修了して学位「修士(学術)」の取得を目指す学生～

- ・ 出願資格があるのは、大学を卒業した方(卒業見込みを含む)、又は本学大学院が行う出願資格事前審査において大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方です。
- ・ 入学者選考を実施します。
- ・ 入学の時期は毎年1回、4月です。
- ・ 科目登録は1学期間(6カ月)ごとに行う必要があります。
- ・ 修士全科生は、出願時に7つのプログラムから選択した1つのプログラムに所属して学習・研究を進めていきます。

#### 【入学者選考】

- ・ 第1次選考(筆記試験)  
プログラムごとに筆記試験を行い、第1次選考の合格者を決定します。
- ・ 第2次選考(面接試問)  
第1次選考の合格者に対して、プログラムごとに、出願の際に提出された研究計画書、志望理由書等をもとに面接試問を行います。最終合格者は、プログラムごとに、筆記試験及び面接試問の実施結果を総合的に判定し決定します。

#### 【研究指導】

- ・ 出願の際に提出された研究計画書及び入学者選考の結果などを総合的に判断して、第1学期の初めに、それぞれの学生を受け持つ研究指導担当教員を決定します。
- ・ 第1年次においては、研究レポートの添削指導の他、修士論文の研究テーマ及び研究計画の具体化のための指導を行います。
- ・ 第2年次においては、修士論文を作成するための指導を行います。
- ・ 研究指導の方法は、対面による直接指導及びメディア（インターネット、Web会議システムなど）により行います。

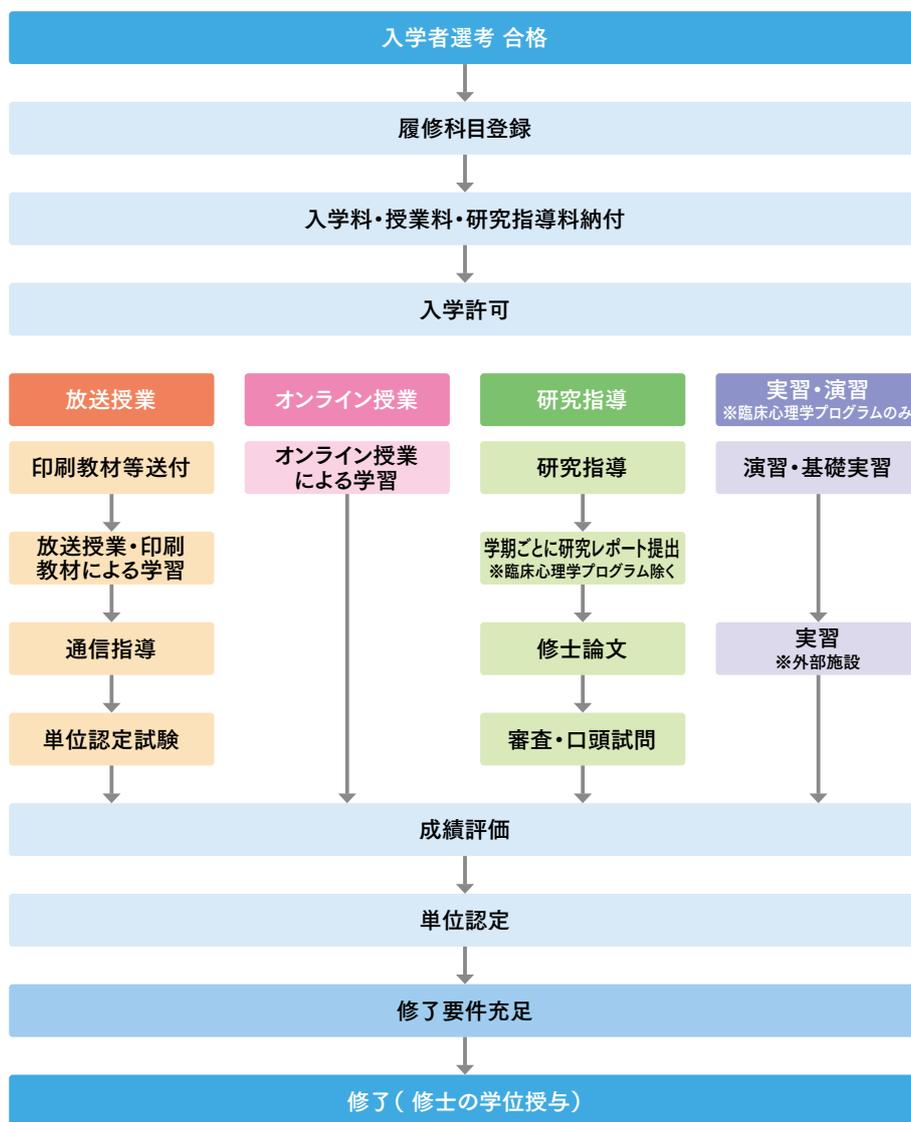


#### 【修士課程の修了】

- ・ 修了するためには2年以上在学し(在学年限は5年)、研究指導8単位及び所属プログラムの放送授業、又はオンライン授業科目の修得を含めて、30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査及び口頭試問に合格する必要があります。ただし、臨床心理学プログラムにおいては、必修科目・選択必修科目があり、34単位以上を修得する必要があります。



▶ 修士全科生



■ 臨床心理学プログラムの特徴

【臨床心理学プログラムの必修科目（2024年度入学生）】

- 臨床心理学プログラム所属の修士全科生については、放送授業（「臨床心理学特論（'23）」、「臨床心理面接特論Ⅰ（'19）」、「臨床心理面接特論Ⅱ（'19）」）、面接授業（実習・演習）、及び研究指導などが必修となっています。  
なお、実習、及び演習科目については、臨床心理学プログラム所属の修士全科生以外は履修できません。
- 「臨床心理実習」の学外実習施設については、できるだけ履修者の居住地に近い施設を確保するよう努力しますが、近隣都道府県の施設に通っていただく場合もあります。
- 実習・演習を受ける際の旅費などの経費は自己負担となります。

年次	科目名	単位数	時期	場所
第1年次	「臨床心理査定演習」	4単位	5月中旬(予定)(4日間程度)	本部
			8月上旬(予定)(3日間程度)	
	「臨床心理基礎実習」	2単位	5月中旬(予定)(2日間程度)	本部
			8月上旬(予定)(3日間程度)	
			2月上旬(予定)(5日間程度)	
第2年次	「臨床心理実習」	2単位	年間90時間程度の実習 例1) 7時間/日×13週 例2) 3時間/週×30週	学外実習施設 ・病院 ・教育相談所 ・児童相談所など
			臨床心理実習・本部面接授業 8月下旬(予定)(3日間程度)	本部

1年次の5月上旬に「オリエンテーション」「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」が連続7日間程度、8月上旬～中旬に「臨床心理基礎実習」「臨床心理査定演習」が連続6日間、2月上旬に「臨床心理基礎実習」が連続5日間、さらに2年次8月下旬に「修士論文中間報告」「臨床心理実習・本部面接授業」が連続3日間程度開設され、臨床心理学プログラム所属の修士全科生は全日程参加が必要となります。

### 【臨床心理士の受験資格取得】

本学大学院は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の第2種指定大学院となっています。臨床心理学プログラム所属の修士全科生の方は、所定の単位を修得して修了した後、1年以上の心理臨床実務経験を経て、臨床心理士の受験資格を取得できます。

## ■ 修士選科生・科目生 ～自分の学習・研究したい科目を選択して、1科目から履修する学生～

### 【特徴】

- ・入学する年度の初めにおいて満18歳以上であればどなたでも入学でき、入学試験は実施しません。
- ・入学時期は、年に2回、4月と10月です。
- ・在学期間は修士選科生1年間(2学期間)、修士科目生半年間(1学期間)です。
- ・修士選科生は入学した学期の途中で、次の学期の科目登録を行います。
- ・修士全科生と同様の通信指導・単位認定試験により、単位を認定します。修得した単位は、修士全科生として入学した場合、原則として修了要件の単位として認定されます。
- ・アカデミック・スキルズ、研究指導及び臨床心理学プログラムの実習・演習は履修できません。
- ・企業などの、職場研修として利用したり、現職教員の方などが上位の免許状を取得するために利用できます。

## ■ 放送授業

### 【放送授業による学習】

放送授業は、各学期とも15回(週1回、1回45分)にわたって、BSテレビ又はBSラジオで授業が行われます。

在学学生はテレビ科目、ラジオ科目の原則すべてをインターネットでも視聴可能です。

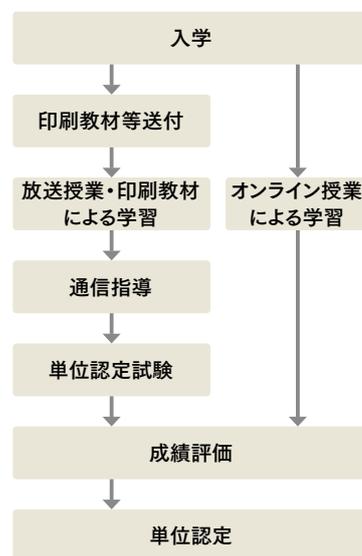
※テレビ科目の中には、インターネット配信限定で視聴する科目があります。

### 【印刷教材による学習】

放送授業科目には、すべて印刷教材が用意され、放送教材と印刷教材による学習を併せて行うことになります。印刷教材は240頁(A5判)程度で、原則として指定の期日までに授業料を納入いただくと、学期開始前に送付されます。

なお、印刷教材は、放送大学の企画の下に授業科目担当講師が執筆し、一般財団法人放送大学教育振興会が発行しています。この印刷教材は、学習センターや全国の主な書店でも販売されています。

### 修士選科生・科目生



## 【通信指導】

通信指導とは、学期の途中に1回、前半の一定範囲の問題を出題し、その答案を提出して担当教員の指導(添削・講評)を受けることです。なお、通信指導に合格することによって、単位認定試験の受験資格が得られます。

## 【単位認定試験】

単位認定試験は15週間の放送授業終了後に実施される試験で、合格者には単位の認定を行います。

2022年度からインターネットを通じて自宅等から受験する、Web受験方式で実施しています。Web受験が困難な場合は、学習センターなどで受験することも可能です。

## ■ オンライン授業

インターネット上で講義を視聴、小テストやディスカッション、レポートなどの課題を科目ごとに決められた期間に提出して学びを進めます。通信指導、単位認定試験は行われず、インターネット上での学習により成績評価が行われます。

## 学費

学生種	検定料	入学科	授業料	研究指導料
修士全科生	30,000円	48,000円	1単位当たり 12,000円	1年間につき96,000円
修士選科生	—	18,000円		—
修士科目生	—	14,000円		—

(1)放送授業科目は1科目2単位(又は4単位)ですので、1科目当たりの授業料は24,000円(又は48,000円)となります。オンライン授業科目は1科目1単位(又は2単位)ですので、1科目当たりの授業料は12,000円(又は24,000円)となります。

(2)臨床心理学プログラムの実習・演習の授業料も、1単位当たり12,000円です。(修士全科生のみ)

(3)研究指導料は2年分(192,000円)を入学時に納入します。修士論文が提出できない場合又は審査・口頭試問の結果不合格になった場合は、以後、研究指導を受けることができますが、別途、研究指導料(1年間につき96,000円)を1年ごとに引き続き納入していただくことになります。(修士全科生のみ)

(4)在学中に授業料・研究指導料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。

(5)臨床心理学プログラムの方は、上記の金額に加え、入学後に臨床心理実習費(20,000円)を徴収します。(修士全科生のみ)

## 【入学科の割引(修士全科生を除く)】

学校・企業などが推薦する20名以上の所属学生や職員の出願書類を取りまとめ、一括して手続きをした場合などには、全員の入学科を割引します。

また、修士選科生又は修士科目生の学生が、在学期間終了後継続して修士選科生、又は修士科目生に入学する場合にも、入学科が割引となります。

## 【奨学金 その他】

### 「奨学金の貸与及び給付」

- 修士全科生に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与されます。
- 修士全科生又は修士選科生(4月入学者のみ)に対しては、選考の上、公益財団法人北野生涯教育振興会の奨学金が給付されます。

### 「勤労学生の所得控除」

- 修士全科生に対しては、年間所得が一定額に満たない場合、勤労学生控除が適用されます。

### 「国民年金学生納付特例」

- 修士全科生に対しては、前年の所得が一定額に満たない場合、学生納付特例制度が適用されます。

### 「郵便料金の割引」

- 通信指導や授業内容に関する質問のための郵便料金は、1通100グラムまで15円です。

### 「学生旅客運賃割引証の発行」

- 修士全科生が自宅から学習センターに通学する場合などに、学生旅客運賃割引証を発行します。

### 「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」(一般教育訓練給付)

- 修士選科生は「社会経営コース」(社会経営科学プログラムの開設科目)、「臨床心理学コース」(臨床心理プログラムの開設科目)、修士科目生は「社会経営(短期養成)コース」(社会経営科学プログラムの開設科目)、「臨床心理(短期養成)コース」(臨床心理学プログラムの開設科目)が対象講座です。

## 大学院修士課程開設授業科目一覧

2024年度に開設する放送授業科目は51科目(テレビ5科目、ラジオ46科目)、オンライン授業科目は38科目です(研究指導は含まれません)。

この他に臨床心理学プログラム所属の修士全科生のみ履修できる面接授業(実習・演習)を開設しています。

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
生活健康科学プログラム	家族政策研究('21)	(下夷 美幸)	R	2
	リスク社会における市民参加('21)	(八木 絵香、三上 直之)	R	2
	食健康科学('21)【自然環境科学プログラムと共通】	(佐藤 隆一郎、三浦 豊※、下条 直樹※)	OL	1
	コミュニティアクア('24)	(田城 孝雄、大木 幸子※、服部 真治※)	OL	2
	生活リスクマネジメント('17)	(奈良 由美子)	R	2
	精神医学特論('22)【臨床心理学プログラムと共通】	(石丸 昌彦)	R	2
	ヘルスリサーチの方法論('19)	(井上 洋士)	R	2
	スポーツ・健康医科学('19)	(河合 祥雄)	R	2
	健康・スポーツ科学研究('21)	(関根 紀子)	R	2
	福祉政策と人権('22)	(金川 めぐみ)	R	2
	社会福祉の探究('24)	(山田 知子、川島 聡※)	OL	2
	臨床推論('16)	(北村 聖、山脇 正永)	OL	1
	フィジカルアセスメント特論('16)	(山内 豊明)	OL	1
	臨床病態生理学特論('17)	(小川 真(2019年1月ご逝去)、東本 恭幸)	OL	1
	疾病・臨床病態概論('17)	(小川 薫)	OL	2
	臨床薬理学特論('17)	(柳田 俊彦)	OL	1
	特定行為実践特論('17)	(石井 邦子、木澤 晃代)	OL	1
特定行為共通科目統合演習('17)	(山内 豊明)	OL	1	
統合臨床病態生理学・疾病概論('19)	(東本 恭幸、小川 薫)	OL	2	
統合医療安全・特定行為実践特論('19)	(石井 邦子、木澤 晃代、山本 武志)	OL	1	
生活環境情報学基礎演習('18)	(川原 靖弘、ロペズ ギョーム)	OL	2	
生活空間情報の表現とGIS('24)	(川原 靖弘、山城 興介※、岩見 昌邦※)	OL	1	
アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】	(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)	OL	1	
<b>小 計</b>	<b>23科目</b>	<b>36単位</b>		
人間発達科学プログラム	教育文化の社会学('17)	(稲垣 恭子)	R	2
	成人の発達と学習('19)	(岩崎 久美子)	R	2
	道德教育の理念と実践('20)	(西野 真由美)	R	2
	海外の教育改革('21)	(坂野 慎二、藤田 晃之)	R	2
	カリキュラムの理論と実践('21)	(田中 統治、根津 朋実)	R	2
	教育老年学('22)	(堀 薫夫)	R	2
	教育行政と学校経営('24)	(村上 祐介、勝野 正章)	R	2
	学校臨床心理学特論('21)【臨床心理学プログラムと共通】	(倉光 修)	TV	2
	発達心理学特論('21)【臨床心理学プログラムと共通】	(荻野 美佐子)	TV	2
	現代社会心理学特論('15)【臨床心理学プログラムと共通】	(森 津太子)	R	2
	心理・教育統計法特論('21)【臨床心理学プログラムと共通】	(小野寺 孝義)	R	2
	教育心理学特論('24)【臨床心理学プログラムと共通】	(進藤 聡彦、丸山 広人)	R	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】	(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)	OL	1
<b>小 計</b>	<b>13科目</b>	<b>25単位</b>		

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
臨床心理学プログラム	臨床心理学特論('23)	(橋本 朋広、大山 泰宏)	R	4
	臨床心理面接特論Ⅰ('19) —心理支援に関する理論と実践—	(大山 泰宏、小林 真理子)	R	2
	臨床心理面接特論Ⅱ('19) —心理療法の世界—	(大山 泰宏、佐藤 仁美)	R	2
	臨床心理学研究法特論('23)	(石原 宏、川部 哲也)	R	2
	心理・教育統計法特論('21)	(小野寺 孝義)	R	2
	【人間発達科学プログラムと共通】			
	発達心理学特論('21)	(荻野 美佐子)	TV	2
	【人間発達科学プログラムと共通】			
	教育心理学特論('24)	(進藤 聡彦、丸山 広人)	R	2
	【人間発達科学プログラムと共通】			
	現代社会心理学特論('15)	(森 津太子)	R	2
	【人間発達科学プログラムと共通】			
	司法矯正・犯罪心理学特論('20)	(橋本 和明)	R	2
	一司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開—			
	精神医学特論('22)	(石丸 昌彦)	R	2
	【生活健康科学プログラムと共通】			
	保健医療心理学特論('22) —保健医療分野における理論と支援の展開—	(小林 真理子)	TV	2
障害児・障害者心理学特論('19) —福祉分野に関する理論と支援の展開—	(大六 一志、山中 克夫)	R	2	
学校臨床心理学特論('21)	(倉光 修)	TV	2	
【人間発達科学プログラムと共通】				
臨床心理地域援助特論('21)	(伊藤 亜矢子)	R	2	
<b>小 計</b>	<b>14科目</b>	<b>30単位</b>		
社会経営科学プログラム	経済政策('22)	(松原 隆一郎)	R	2
	知財制度論('20)【情報学プログラムと共通】	(児玉 晴男)	R	2
	公共政策('22)	(砂原 庸介、手塚 洋輔)	R	2
	都市社会構造論('23)	(北川 由紀彦)	OL	2
	環境工学('19)【自然環境科学プログラムと共通】	(迫田 章義)	OL	2
	社会的協力論('20)	(坂井 素思)	R	2
	—いかに近代的協力の限界を超えるか—			
	実践的都市景観形成論('19)	(宮城 俊作)	OL	2
	地域産業の発展と主体形成('20)	(北川 太一)	R	2
	統合イノベーション制度研究('21)	(児玉 晴男)	OL	1
	『貨幣・勤労・代理人』文献講読('21) —近代経済社会の文明的・反文明的特性を読む—	(坂井 素思)	OL	1
	法律学文献講読('21)	(李 鳴)	OL	1
	現実と向き合う政治理論('22)	(山岡 龍一、大澤 津)	R	2
	人的資源管理('22)	(原田 順子、平野 光俊)	R	2
	保険法('22)	(李 鳴)	OL	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】	(滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)	OL	1
	<b>小 計</b>	<b>15科目</b>	<b>26単位</b>	

TV:BSテレビで放送する科目 R:BSラジオで放送する科目 OL:オンラインで配信する科目 TV※:インターネット配信限定で視聴する科目

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
人文学プログラム	日本文化と思想の展開－内と外と('22) (魚住 孝至)		R	2
	美学・芸術学研究('19) (青山 昌文)		R	2
	日本史史料を読む('21) (近藤 成一、杉森 哲也)		R	2
	朝鮮の歴史と社会－近世近代('20) (須川 英徳(2023年3月ご逝去)、三ツ井 崇)		R	2
	西洋中世史('21) (河原 温、堀越 宏一)		R	2
	日本文学の研究史('21) (島内 裕子)		R	2
	モダニズムの文学と文化('21) (宮本 陽一郎)		R	2
	異文化との出会い('22) (滝浦 真人、野崎 歎)		R	2
	文化人類学の最前線('21) (大村 敬一)		OL	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】 (滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)		OL	1
<b>小 計</b>		<b>10科目</b>	<b>19単位</b>	
情報学プログラム	知能システム論('18) (大西 仁)		OL	2
	音楽・情報・脳('23) (仁科 エミ、河合 徳枝)		R	2
	ソフトウェア工学('19) (中谷 多哉子、中島 震)		R	2
	研究のためのICT活用('21) (高橋 秀明)		OL	2
	eラーニングの理論と実践('24) (青木 久美子、高橋 秀明※、加藤 浩※、辻 靖彦※、 山田 恒夫※、平岡 斉士※)		OL	2
	コンピューティング('19)－原理とその展開－ 【自然環境科学プログラムと共通】 (萩谷 昌己)		R	2
	データの科学('17) (浅井 紀久夫、辰己 丈夫)		OL	2
	サイバーボランティア論('22) －ボランティア活動におけるICT活用－ (山田 恒夫)		OL	2
	情報とコミュニケーション('23) (青木 久美子、高橋 秀明※)		OL	2
	知財制度論('20)【社会経営科学プログラムと共通】 (児玉 晴男)		R	2
	情報デザイン特論('22) (伏見 清香、須永 剛司)		TV※	2
	教育情報システム設計('23)－学習教育データとデジタル エコシステム－ (山田 恒夫、常盤 祐司※、緒方 広明※)		OL	1
	要求工学('24) (中谷 多哉子、大西 淳)		R	2
	アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】 (滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)		OL	1
<b>小 計</b>		<b>14科目</b>	<b>26単位</b>	

区分	2024年度 開設科目		メディア	単位
	科目名(主任講師名、専門担当講師名※)			
自然環境科学プログラム	現代生物科学('18) (加藤 和弘、二河 成男)		OL	2
	生物の種組成データの分析法('16) (加藤 和弘)		OL	2
	野外生物調査法('19) (加藤 和弘)		OL	2
	生態学における情報リテラシー('23) (加藤 和弘)		OL	2
	現代物理の展望('19) (岸根 順一郎、松井 哲男)		R	2
	先端技術のための現代物理学('18) (岸根 順一郎)		OL	2
	計算で紐解く物質科学・環境科学('18) (橋本 健明、安池 智一)		OL	2
	宇宙、地球、そして人類('18) (谷口 義明、大森 聡一)		OL	2
	地球を読み解く('19) (大森 聡一、谷口 義明)		OL	2
	数理科学('21)－離散数理モデル－ (石崎 克也、諸澤 俊介)		TV※	2
	計算論('16) (隈部 正博)		R	2
	コンピューティング('19)－原理とその展開－ 【情報学プログラムと共通】 (萩谷 昌己)		R	2
	食健康科学('21)【生活健康科学プログラムと共通】 (佐藤 隆一郎、三浦 豊※、下条 直樹※)		OL	1
	環境工学('19)【社会経営科学プログラムと共通】 (迫田 章義)		OL	2
アカデミック・スキルズ('20)【臨床心理学プログラム以外と共通】 (滝浦 真人、三輪 眞木子※、各プログラム教員※)		OL	1	
<b>小 計</b>		<b>15科目</b>	<b>28単位</b>	

「科目名」欄の「(〇〇)」は科目が開設された年度の下2桁です。



## 研究科・専攻・プログラム

放送大学大学院博士後期課程は、1研究科(文化科学研究科)、1専攻(文化科学専攻)の下に、6つのプログラムを設けています。

研究科	専攻	プログラム名	教育目標
文化科学研究科	文化科学専攻	生活健康科学プログラム	生活科学、健康科学、社会福祉学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の生活と健康の向上に資する公共的施策もしくは地域社会の形成をリードすることのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		人間科学プログラム	心理学、臨床心理学、教育学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、人々の心のあり方の究明とその問題状況の解決に取り組み、子どもの教育、高等教育さらには成人の学習に関わる公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		社会経営科学プログラム	政治学、経済学・経営学、社会学などに加えて、これらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践的に活用して直面する社会的諸課題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、社会や組織の経営・運営に関わる公共的施策を高度に指導することのできる高度な社会人研究者として公共の場で活躍できる社会分析家(アナリスト)・社会的企業家、公共政策の社会実践家・社会批評家(ジャーナリスト)、学際的・超領域的な社会研究者、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		人文学プログラム	哲学、言語学、美学、歴史学、人類学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、さまざまなジャンルの文化の普及啓蒙や地域社会・職場等における研究の遂行や公共的施策を高度に指導することのできる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		情報学プログラム	情報の生成・探索・表現・蓄積・管理・認識・分析・変換・伝達に関わる原理と技術を探求し活用する高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に応用するとともに、情報とその処理、及び情報化が人間と社会に及ぼす諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。
		自然科学プログラム	数学、物理学、化学、生物学、地球惑星科学、天文学及びそれらの学際領域における高度な自立的研究能力を有し、専門的かつ総合的な広い学識を実践に活用するとともに、現下の自然科学にまつわる諸問題を的確に発見し、その要因と背景を究明して問題状況の解決に取り組み、高度な指導力を発揮できる人材、及び当該領域において自立的・創造的に高度な研究を遂行することのできる人材の養成を目的とする。

## 教育の基本方針

※2025年度より「教育の基本方針」は改定致します。

地域社会・職場などが直面する課題の解決に対応できる専門性の深化を図るとともに、それら課題を社会的・学問的文脈で捉え統合することのできる俯瞰力を備えた自立的で実

践的な研究能力を有する高度社会人研究者、及び自立的で創造的な研究を通じて教養を最大限に高め、知識基盤社会を多様に支えることのできる高度教養知識人を養成します。

## ■ 教育の目的

生涯学習の実践を通して、学術の理論、及び応用の深奥を極め、高度な専門性が求められる社会的役割を担うための深い学識及び卓越した能力を修得し、文化の進展並びに地域社会及び職場などに貢献できる主導的人材の養成を目的とします。

## ■ ディプロマ・ポリシー

---

### 【資質・能力等の養成】

主に専攻する学問分野(メジャー研究分野)に加えて、関連する学問分野(マイナー研究分野)など、他分野における高度な専門的知識や技能を修得し、学術の理論及び応用の深奥を極めることにより、物事を俯瞰的に観察する能力と解決が困難な実際の課題に対応できる創造的実践力が身につくよう指導します。

これらの資質・能力により、社会に知を発信し、地域社会や職場などにおける困難な課題を自らの力で解決し、それぞれの地域社会や職場などの未来を切り拓く知的リーダーとして活躍する人材を養成します。

### 【課程修了に必要な学習成果(条件)】

授業科目と研究指導科目を合わせて17単位以上修得し、博士予備論文、及び博士論文の審査及び試験に合格することが課程修了・学位取得の要件です。

## ■ カリキュラム・ポリシー

---

### 【教育課程編成】

博士後期課程においては、高度な専門知識や精緻な研究方法を修得するための基盤研究科目と高い研究能力を養う特定研究科目を提供します。基盤研究科目では、学術理論、及び高度な研究方法を多角的視点から習得するため、メジャー研究分野の科目とマイナー研究分野の科目で構成しています。特定研究科目では、博士論文を段階的・計画的に作成できるよう、3年間の対面指導を行い、プログラムの枠を超えて、専攻するメジャー研究分野のみならず、マイナー研究分野も加えた専任教員が指導に当たります。定期的に関催される研究指導では、論文執筆に関する指導に加え、研究方法論も指導します。

### 【教育内容・方法】

基盤研究科目のうち、メジャー研究分野関連教員のオムニバス講義である特論では、対面により授業を行い、メジャー研究分野、及びマイナー研究分野の研究法では、対面やWeb会議システムなどにより指導を行います。また、特定研究科目では、定期的に課題を出し、対面により指導します。このようにして、通信教育を基本とする本学においても、密度の濃い授業や研究指導を実施します。

### 【学習成果の評価方法】

基盤研究科目は、授業における学習状況と提出されたレポートを基に成績評価を行います。特定研究科目は、博士論文に対する審査と口頭試問の結果を総合的に判断して、博士の学位に相応しいか否かの成績評価を行います。

## ■ アドミッション・ポリシー

---

### 【求める人材像】

地域社会・職場等において直面する課題を解決するための実践に取り組み、豊かな経験知・実践知を有する社会人や、学問知の獲得に強い意志と意欲を持ち、より高度な教養知の修得を目指し、生涯にわたってあらゆる機会、場所において学び、その成果を生かしていくことができる学習者を求めます。

### 【入学者選抜の方法】

入学者選抜は、年に1回、第1次選考と第2次選考に分けて実施します。第1次選考を実施後、第1次選考合格者に対して第2次選考を実施し、最終合格者を決定します。第1次選考は英語読解力及び高度な専門的知識や思考力を問う筆記試験、第2次選考は提出書類を基にした面接試問により行います。

### 【求める学習成果】

修士課程修了など、一定の要件を満たすことが条件です。

## 学生の種類及び学習システム

放送大学大学院博士後期課程の教育は、本部キャンパスでの集中対面指導、情報通信技術を有効に用いた双方向研究指導、本部キャンパス及び全国に展開する学習センター

等を利用した履修指導、豊富な“知”の蓄積としての教材アーカイブスの利用といった多様な教育機能を用いて、特色ある研究指導を行います。

### ■ 博士全科生～博士後期課程を修了して、学位「博士(学術)」の取得を目指す学生～

- ・ 出願資格があるのは、修士の学位もしくは専門職学位を有する方またはこれと同等以上の学力があると認められた方です。
- ・ 入学者選考を実施します。
- ・ 入学の時期は毎年1回、4月です。
- ・ 6つのプログラムのうち、いずれか1つのプログラムに所属して学習・研究を進めていきます。

#### 【入学者選考】

- ・ 第1次選考(筆記試験)  
プログラムごとに英語読解試験及び小論文を行い、第1次選考の合格者を決定します。
- ・ 第2次選考(面接試問)  
第1次選考の合格者に対して、プログラムごとに、出願の際に提出された研究計画書、志望理由書及び修士論文又は修士論文に相当する論文等をもとに面接試問を行います。最終合格者は、プログラムごとに、筆記試験、及び面接試問の実施結果を総合的に判定し決定します。

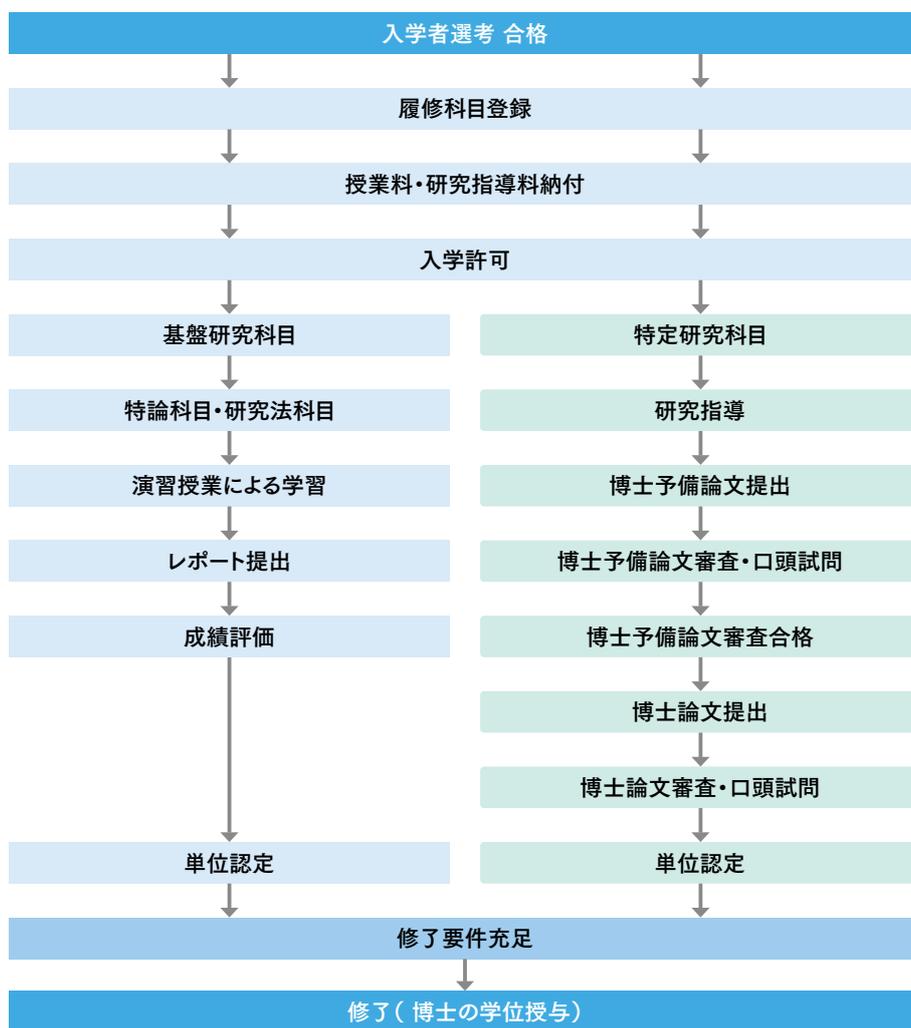
#### 【研究指導】

- ・ 博士論文作成のための研究指導体制に関しては、主研究指導教員1名(メジャー分野の教員1名)、副研究指導教員2名(マイナー分野の教員1名及びメジャー分野又はメジャー隣接分野の教員1名)で博士論文作成のための研究指導を行います。
- ・ 主研究指導教員は、願書の研究テーマや研究計画などをもとに、入学試験面接試問等により領域適合性を確認し、本学が最適と判断した専任教員を充てます。
- ・ 副研究指導教員は、入学後のオリエンテーションでの主研究指導教員との面談後、本学が最適と判断した専任教員を充てます。
- ・ 「基盤研究」と「特定研究」の2つの研究指導方法によって、専門分野の研究能力の深化とともに俯瞰力と創造力を幅広く備え実践と理論を結びつけることのできる高度な社会人研究者を養成します。
- ・ 研究指導は、個別やゼミナール形式による直接対面しての指導、及びWeb会議システムや電子メールによるインターネット技術を活用した指導により行います。

#### 【博士後期課程の修了】

- ・ 修了するためには、3年以上在学し(在学年限は8年)、下記の単位数以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び口頭試問に合格する必要があります。
- 所属するプログラムの基盤研究科目4単位(特論科目2単位、研究法科目2単位の合計4単位)
- 所属するプログラム以外のプログラムの基盤研究科目1単位(研究法科目1単位)
- 特定研究科目12単位

▶ 入学から単位修得、修了までの流れ



## 学費

- (1) 授業料は1単位当たり、48,000円となります。
- (2) 研究指導料は1年分(384,000円)を入学時に納入します。以後、修了まで研究指導料(1年間につき384,000円)を1年ごとに引き続き納入していただくことになります。
- (3) 在学中に授業料・研究指導料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料・研究指導料が適用されます。

検定料	入学料	授業料(基盤研究科目)	研究指導料(特定研究科目)
30,000円	48,000円	1単位当たり 48,000円	1年間につき 384,000円

### 【奨学金 その他】

#### 「奨学金の貸与」

博士全科生に対しては、選考の上、日本学生支援機構の奨学金が貸与されます。

#### 「勤労学生の所得控除」

博士全科生に対しては、年間所得が一定額に満たない場合、勤労学生控除が適用されます。

#### 「国民年金学生納付特例」

博士全科生に対しては、前年の所得が一定額に満たない場合、学生納付特例制度が適用されます。

#### 「学生旅客運賃割引証の発行」

博士全科生が自宅から学習センターに通学する場合などに、学生旅客運賃割引証を発行します。

## 大学院博士後期課程開設授業科目一覽

授業科目は、基盤研究科目(特論及び研究法)と特定研究科目(研究指導)に区分され、2024年度に開設する科目は合計91科目(特論6科目、研究法79科目、研究指導6科目)です。

区分	科目名	担当教員	単位	区分	科目名	担当教員	単位	
生活健康科学	生活健康科学特論	所属プログラム教員	2	人文学	言語学研究法	滝浦 真人	1	
	生活環境情報学・家族関係学研究法	下夷 美幸、川原 靖弘	1		コミュニケーション学研究法	大橋 理枝	1	
	食品科学・リスク学研究法	朝倉 富子、奈良 由美子	1		中国語学研究法	宮本 徹	1	
	医科学・公衆衛生学研究法	石丸 昌彦、関根 紀子、田城 孝雄	1		社会人類学研究法	大村 敬一	1	
	看護学・健康社会学研究法	井出 訓、戸ヶ里 泰典、山内 豊明	1		博物館学研究法	鶴見 英成	1	
	社会福祉学研究法A	山田 知子	1		情報学特論	所属プログラム教員	2	
	社会福祉学研究法B	川島 聡	1		人間社会情報学研究法	青木 久美子	1	
人間科学	人間科学特論	所属プログラム教員	2	情報学	生体情報処理研究法	秋光 淳生	1	
	生涯学習研究法	岩崎 久美子	1		知識情報処理研究法	浅井 紀久夫	1	
	教育社会学研究法	岩永 雅也	1		認知情報科学研究法	大西 仁	1	
	高等教育研究法	苑 復傑	1		学習環境デザイン学研究法	加藤 浩	1	
	教育心理学研究法	進藤 聡彦	1		学習コンテンツ評価研究法	近藤 智嗣	1	
	社会心理学研究法	森 津太子	1		メディアリテラシー研究法	芝崎 順司	1	
	認知心理学研究法	高橋 秀明	1		計算機システム研究法	鈴木 一史	1	
	発達心理学研究法	向田 久美子	1		情報教育研究法	辰己 丈夫	1	
	心理臨床学研究法	大山 泰宏	1		教育・学習システム工学研究法	辻 靖彦	1	
	深層心理学研究法	橋本 朋広	1		メディア教育研究法	中川 一史	1	
	福祉心理学研究法	村松 健司	1		ソフトウェア工学研究法	中谷 多哉子	1	
	芸術療法学研究法	佐藤 仁美	1		メディア情報質評価研究法	仁科 エミ	1	
	教育臨床心理学研究法	波田野 茂幸	1		情報環境応用研究法	葉田 善章	1	
	学校臨床学研究法	丸山 広人	1		デザイン研究法	伏見 清香	1	
	高等教育論研究法	橋本 鍼市	1		学習支援システム研究法	森本 容介	1	
	教育行財政学研究法	櫻井 直輝	1		マルチメディア情報処理研究法	柳沼 良知	1	
	基盤研究科目	カリキュラム研究法	小林 祐紀		1	教育・学習データ分析研究法	山田 恒夫	1
健康・医療心理学研究法		高梨 利恵子	1	教授システム研究法	平岡 斉士	1		
社会経営科学特論		所属プログラム教員	2	自然科学	自然科学特論	所属プログラム教員	2	
知的財産法学研究法		児玉 晴男	1		生態環境研究法	加藤 和弘	1	
国際法研究法		柳原 正治	1		生物科学研究法	二河 成男	1	
民法法学研究法		李 鳴	1		分子科学研究法	橋本 健朗	1	
公共政策(政治学・国際政治学)研究法		白鳥 潤一郎	1		化学研究法	安池 智一	1	
公共政策(政治理論)研究法		山岡 龍一	1		凝縮系物理学研究法	岸根 順一郎	1	
社会経済学研究法		松原 隆一郎	1		原子核物理学研究法	松井 哲男	1	
社会学研究法		北川 由紀彦	1		宇宙物理学研究法	谷口 義明	1	
企業会計研究法		齋藤 正章	1		数理解析学研究法	石崎 克也	1	
人的資源管理研究法		原田 順子	1		数理論理学研究法	隈部 正博	1	
オペレーションズ・マネジメント研究法		松井 美樹	1	地球惑星科学研究法	大森 聡一	1		
建築設計研究法		堀部 安嗣	1	生活健康科学	生活健康科学特定研究(研究指導)	各主研究指導教員	12	
地域産業学研究法		古橋 元	1		人間科学	人間科学特定研究(研究指導)	各主研究指導教員	12
都市研究法		玉野 和志	1			社会経営科学	社会経営科学特定研究(研究指導)	各主研究指導教員
経済思想史研究法		桑田 学	1		人文学		人文学特定研究(研究指導)	各主研究指導教員
人文学特論	所属プログラム教員	2	情報学			情報学特定研究(研究指導)	各主研究指導教員	12
哲学・日本思想研究法	魚住 孝至	1			自然科学	自然科学特定研究(研究指導)	各主研究指導教員	12
美術史研究法	船岡 美穂子	1						
日本古代・中世史研究法	近藤 成一	1						
日本近世・近代史研究法	杉森 哲也	1						
東洋史学研究法	小二田 章	1						
西洋史学研究法	河原 温	1						
フランス語圏文学研究法	野崎 敏	1						
英語圏文学研究法	宮本 陽一郎	1						

## 単位互換協定

各大学に在学する学生が自大学の授業科目のほか、他大学の授業科目の一部を利用することができれば、教育課程はより豊富になり教育内容も充実することとなります。

このようなことから、学生が他の大学の授業科目を履修し、単位を修得することが可能となる制度(単位互換制度)が設けられています。

本学の設置目的の一つに「他大学との単位互換の推進」が

掲げられており、積極的に単位互換協定の締結に努めているところです。この制度に基づく学生は、「特別聴講学生」として受け入れを行っています。

本学の最大の特色は、BSテレビ・BSラジオ・インターネットなどにより授業を行うことであり、全国57か所の学習センター、サテライトスペースで視聴することもできるため、時間や場所の制約を受けずに学習することが可能です。

### 単位互換協定締結校数(令和5年11月1日現在)

	国立	公立	私立	合計
大学(学部)	62	37	219	318
短期大学	0	4	90	94
高等専門学校	17	0	0	17
大学院	1	2	12	15
合計	80	43	321	444

### (参考)全国の大学・短期大学・高等専門学校数

	国立	公立	私立	合計
大学(学部)	82	99	602	783
短期大学	0	15	288	303
高等専門学校	51	3	4	58
大学院	86	90	485	661
合計	219	207	1,379	1,805

※令和5年度学校基本調査による。

### 単位互換協定を締結した大学、及び短期大学・高等専門学校・大学院(令和5年11月1日現在 444校)

#### 国立大学(62校)

- 北海道教育大学
- 帯広畜産大学
- 旭川医科大学
- 北見工業大学
- 弘前大学
- 岩手大学
- 東北大学
- 宮城教育大学
- 秋田大学
- 山形大学
- 福島大学
- 茨城大学
- 筑波技術大学
- 宇都宮大学
- 群馬大学
- 埼玉大学
- 千葉大学
- 東京医科歯科大学
- 東京農工大学
- 東京海洋大学
- 電気通信大学
- 横浜国立大学
- 新潟大学
- 上越教育大学
- 富山大学
- 金沢大学
- 福井大学
- 山梨大学
- 信州大学
- 岐阜大学
- 静岡大学
- 浜松医科大学
- 三重大学
- 滋賀大学
- 滋賀医科大学
- 大阪大学
- 大阪教育大学
- 兵庫教育大学
- 神戸大学

- 奈良教育大学
- 奈良女子大学
- 和歌山大学
- 鳥取大学
- 鳥根大学
- 岡山大学
- 広島大学
- 山口大学
- 徳島大学
- 鳴門教育大学
- 香川大学
- 愛媛大学
- 高知大学
- 九州大学
- 福岡教育大学
- 佐賀大学
- 長崎大学
- 熊本大学
- 大分大学
- 宮崎大学
- 鹿児島大学
- 鹿屋体育大学
- 琉球大学
- 国立高等専門学校(17校)**
- 一関工業高等専門学校
- 仙台高等専門学校
- 鶴岡工業高等専門学校
- 福島工業高等専門学校
- 茨城工業高等専門学校
- 群馬工業高等専門学校
- 小山工業高等専門学校
- 石川工業高等専門学校
- 福井工業高等専門学校
- 岐阜工業高等専門学校
- 鈴鹿工業高等専門学校
- 明石工業高等専門学校
- 呉工業高等専門学校
- 宇部工業高等専門学校
- 久留米工業高等専門学校
- 大分工業高等専門学校

- 都城工業高等専門学校
- 国立大学大学院(1校)**
- 北陸先端科学技術大学院大学
- 公立大学(37校)**
- 札幌市立大学
- 宮城大学
- 秋田県立大学
- 山形県立保健医療大学
- 山形県立米沢栄養大学
- 会津大学
- 福島県立医科大学
- 群馬県立女子大学
- 埼玉県立大学
- 千葉県立保健医療大学
- 新潟県立大学
- 長岡造形大学
- 富山県立大学
- 石川県立大学
- 石川県立看護大学
- 金沢美術工芸大学
- 福井県立大学
- 長野県看護大学
- 公立諏訪東京理科大学
- 岐阜県立看護大学
- 岐阜薬科大学
- 公立鳥取環境大学
- 鳥根県立大学
- 県立広島大学
- 広島市立大学
- 周南公立大学
- 香川県立保健医療大学
- 愛媛県立医療技術大学
- 高知県立大学
- 高知工科大学
- 福岡県立大学
- 福岡女子大学
- 長崎県立大学
- 大分県立看護科学大学
- 宮崎県立看護大学
- 宮崎公立大学

- 名桜大学
- 公立短期大学(4校)**
- 山形県立米沢女子短期大学
- 会津大学短期大学部
- 岐阜市立女子短期大学
- 大分県立芸術文化短期大学
- 公立大学大学院(2校)**
- 富山県立大学大学院
- 山根県立大学大学院
- 私立大学(219校)**
- 札幌国際大学
- 函館大学
- 北海学園大学
- 北海道情報大学(通信教育部)
- 酪農学園大学
- 八戸学院大学
- 青森大学
- 盛岡大学
- 石巻専修大学
- 尚絅学院大学
- 仙台大学
- 仙台白百合女子大学
- 東北学院大学
- 東北工業大学
- 東北生活文化大学
- 東北福祉大学
- 東北文化学園大学
- 東北医科薬科大学
- 宮城学院女子大学
- 東北芸術工科大学
- 東北公益文科大学
- 東北文教大学
- 医療創生大学
- 郡山女子大学
- 福日本国際大学
- 福島学院大学
- 日本大学工学部
- 茨城キリスト教大学
- 筑波学院大学
- 足利大学

宇都宮共和大学	東京未来大学	広島工業大学	文化学園大学短期大学部
作新学院大学	東洋大学	広島国際大学	新潟工業短期大学
自治医科大学	フェリス学院大学	広島文教大学	富山福祉短期大学
獨協医科大学	横浜商科大学	安田女子大学	金沢学院短期大学
白鷗大学	東海大学	エリザベト音楽大学	金沢星稜大学女子短期大学部
文星芸術大学	東京工芸大学	近畿大学工学部	金城大学短期大学部
帝京大学(理工学部)	文教大学	比治山大学	北陸学院大学短期大学部
関東学院大学	松蔭大学	広島経済大学	仁愛女子短期大学
共愛学園前橋国際大学	新潟リハビリテーション大学	広島国際学院大学	山梨学院短期大学
上武大学	敬和学園大学	広島修道大学	松本大学松商短期大学部
共栄大学	高岡法科大学	広島女学院大学	清泉女学院短期大学
埼玉学園大学	金沢医科大学	広島文化学園大学	大垣女子短期大学
十文字学園女子大学	金沢学院大学	広島都市学園大学	岐阜聖徳学園大学短期大学部
聖学院大学	金沢工業大学	宇部フロンティア大学	岐阜保健大学短期大学部
西武文理大学	金沢星稜大学	徳島文理大学	正眼短期大学
獨協大学	金城大学	四国学院大学	高山自動車短期大学
人間総合科学大学	北陸大学	高松大学	中部学院大学短期大学部
ものづくり大学	北陸学院大学	松山大学	東海学院大学短期大学部
文京学院大学	福井医療大学	松山東雲女子大学	中日本自動車短期大学部
目白大学	健康科学大学	聖カタリナ大学	平成医療短期大学
愛国学園大学	山梨学院大学	九州共立大学	中京学院大学短期大学部
植草学園大学	清泉学院大学	九州産業大学	愛知産業大学短期大学
江戸川大学	松本大学	九州女子大学	愛知みずほ大学短期大学部
川村学園女子大学	朝日大学	福岡工業大学	至学館大学短期大学部
神田外語大学	岐阜医療科学大学	西九州大学	京都文教短期大学
敬愛大学	岐阜協立大学	長崎純心大学	嵯峨美術短期大学
国際医療福祉大学	岐阜女子大学	熊本学園大学	大阪女学院短期大学
国際武道大学	岐阜聖徳学園大学	熊本保健科学大学	大阪千代田短期大学
三育学院大学	中京学院大学	崇城大学	甲子園短期大学
秀明大学	中部学院大学	日本文理大学	神戸女子短期大学
淑徳大学	東海学院大学	別府大学	神戸教育短期大学
城西国際大学	岐阜保健大学	立命館アジア太平洋大学	兵庫大学短期大学部
聖徳大学	静岡産業大学	九州保健福祉大学	奈良佐保短期大学
清和大学	聖隷クリストファー大学	南九州大学	鳥取短期大学
千葉科学大学	愛知大学	宮崎国際大学	中国短期大学
千葉経済大学	愛知淑徳大学	宮崎産業経営大学	美作大学短期大学部
千葉工業大学	愛知みずほ大学	鹿児島純心女子大学	安田女子短期大学
千葉商科大学	東海学園大学	志学館大学	山陽女子短期大学
中央学院大学	豊田工業大学	鹿児島国際大学	比治山大学短期大学部
東京基督教大学	名古屋商科大学	沖縄大学	広島文化学園短期大学
東京情報大学	名古屋芸術大学	沖縄国際大学	松山東雲短期大学
東京成徳大学	人間環境大学	<b>私立短期大学(90校)</b>	松山短期大学
開智国際大学	鈴鹿大学	釧路短期大学	聖カタリナ大学短期大学部
麗澤大学	鈴鹿医療科学大学	札幌国際大学短期大学部	高知学園短期大学
和洋女子大学	聖泉大学	北翔大学短期大学部	九州女子短期大学
明海大学	京都女子大学	北海道科学大学短期大学部	福岡工業大学短期大学部
帝京平成大学	京都ノートルダム女子大学	青森明の星短期大学	九州龍谷短期大学
東京音楽大学	京都美術工芸大学	聖和学園短期大学	佐賀女子短期大学
東洋学園大学	同志社女子大学	東北生活文化大学短期大学部	西九州大学短期大学部
桜美林大学	立命館大学	羽陽学園短期大学	別府清部学園短期大学
嘉悦大学	龍谷大学	東北文教大学短期大学部	大分短期大学
北里大学	佛教大学(通信教育課程)	いわき短期大学	東九州短期大学
実践女子大学	嵯峨美術大学	郡山女子大学短期大学部	別府大学短期大学部
順天堂大学	京都先端科学大学	桜の聖母短期大学	南九州短期大学
創価大学	大阪女学院大学	福島学院大学短期大学部	宮崎学園短期大学
大東文化大学	追手門学院大学	足利短期大学	鹿児島女子短期大学
多摩大学	大阪学院大学(通信教育部)	宇都宮短期大学	沖縄キリスト教短期大学
帝京科学大学	大阪産業大学	宇都宮文星短期大学	沖縄女子短期大学
東京家政大学	関西福祉科学大学	國學院大學栃木短期大学	<b>私立大学大学院(12校)</b>
東京工科大学	森ノ宮医療大学	作新学院大学女子短期大学部	社会構想大学院大学
東京聖栄大学	太成学院大学	佐野日本大学短期大学	東京医療保健大学大学院
東京電機大学	兵庫大学	新島学園短期大学	佐久大学大学院
二松学舎大学	大手前大学	国際学院埼玉短期大学	岐阜女子大学大学院
日本女子大学	畿央大学	植草学園短期大学	聖隷クリストファー大学大学院
文化学園大学	奈良大学	昭和学院短期大学	星城大学大学院
武蔵野大学	帝塚山大学	聖徳大学短期大学部	中京大学大学院
麻布大学	奈良学園大学	清和大学短期大学部	豊橋創造大学大学院
神奈川工科大学	鳥取看護大学	千葉敬愛短期大学	龍谷大学大学院
産業能率大学	岡山商科大学	千葉経済大学短期大学部	森ノ宮医療大学大学院
湘南工科大学	岡山理科大学	千葉明德短期大学	美作大学大学院
洗足学園音楽大学	川崎医療福祉大学	東京経営短期大学	広島文化学園大学大学院
鶴見大学	吉備国際大学	上野学園大学短期大学部	
田園調布学園大学	倉敷芸術科学大学	自由が丘産能短期大学	
桐蔭横浜大学	美作大学	東京家政大学短期大学部	

## 資格の取得

### ■ 学位

学部

修士

博士

全科履修生・修士全科生・博士全科生として卒業・修了すると以下の学位が取得できます。

教養学部	学士(教養)
大学院修士課程	修士(学術)
大学院博士後期課程	博士(学術)

#### アイコンの説明

学部

学部で対応

修士

大学院修士課程で対応

博士

大学院博士後期課程で対応

### ■ 大学改革支援・学位授与機構による学士の学位の取得について

学部

短期大学、高等専門学校、一定の基準を満たす専修学校専門課程卒業生などが科目等履修生として大学の単位を修得する等の方法により、一定の学修を積み上げた場合、大学改革支援・学位授与機構の行う審査によって学士の学位を取得できる途が開かれています。放送大学の一部の単位は、この制度に活用できます。

### ■ 国家試験の受験資格の取得

学部

他の大学と同様に、放送大学で所定の単位を修得することにより、国家試験の受験資格を取得できるものとしては次のようなものがあります。

資格試験の種類	左記の受験資格等を得るために本学で必要な学修
税理士試験	全科履修生として、3年次以上で社会科学に属する科目を1科目以上含む計62単位以上修得、もしくは、大学、短大又は高等専門学校の卒業生の場合、社会科学に属する科目を科目履修生又は選科履修生、全科履修生として1科目以上履修
社会保険労務士試験	全科履修生として62単位以上修得
保育士試験	全科履修生として2年以上在学して62単位以上修得
甲種危険物取扱者試験	大学等において化学に関する学科等を修めて卒業した者、又は大学等において「化学に関する授業科目」を15単位以上修得した者、又は乙種危険物取扱者免状を有する者

### ■ 上位・他教科等の教員免許状の取得

学部

現に教員免許状を有している方が各都道府県教育委員会の行う教育職員検定で上位・他教科・隣接校種の免許状又は特別支援学校の教諭の免許状を取得しようとする場合に、各都道府県教育委員会の判断により、必要な単位の一部を放送大学において修得できます。

### ■ 専修免許状の取得

修士

現に教員免許状を有している方が各都道府県教育委員会の行う教育職員検定で専修免許状を取得しようとする場合に、各都道府県教育委員会の判断により、必要な単位の一部を放送大学大学院において取得できます。

### ■ 栄養教諭の免許状

学部

管理栄養士、管理栄養士養成課程修了(栄養士免許は必要)又は栄養士免許を基礎資格とし、学校栄養職員として3年以上の実務経験を有している方が栄養教諭の普通免許状を取得しようとする場合に、各都道府県教育委員会の判断により、必要な単位の一部を放送大学において修得できます。

### ■ 社会教育主事、社会教育士

学部

他大学等で実施される社会教育主事講習を受講しようとする方が、放送大学において指定科目の単位を修得している場合、講習実施機関の判断により、講習科目の一部が免除されます。また、現に社会教育主事となる資格取得のためのすべての単位を修得されている方が「社会教育士」の称号を得ようとする場合に対応した、社会教育主事講習を令和4年度(2022年度)から実施しています。

## ■ 学芸員

学部

放送大学において、学芸員の資格を取得するために必要な単位の一部を修得することができます。

## ■ 司書教諭

大学に2年以上在学し62単位以上を修得している学生(教員免許状を取得することが必要です)又は既に教員免許状をお持ちの方は、本学で開講する学校図書館司書教諭講習を修了することにより、司書教諭の資格が取得できます。

## ■ 認定心理士

学部

認定心理士は、心理学に関する標準的基礎知識と基礎技術を習得していることを「公益社団法人日本心理学会」が認定する資格です。資格取得に必要な単位は全て放送大学で満たすことができます。

※学会申請時には学士(又は修士)の学位が必要となります(放送大学にて取得可能)。

## ■ 公認心理師試験受験資格

学部

2019年度第1学期から公認心理師対応カリキュラムを学部段階で開設しました。

「大学における必要な科目」の単位をすべて修得し卒業した上で、他の公認心理師対応の大学院において「大学院における必要な科目」の単位をすべて修得して修了、あるいは法の規定する認定施設にて2年の実務経験を経ることで、公認心理師試験の受験資格を得ることができます。

※放送大学では大学院のカリキュラムには対応していません。

## ■ 臨床心理士資格審査受験資格 (→P.32)

修士

## ■ 看護師国家試験受験資格

学部

准看護師として7年以上の就業経験を有する方が、看護師学校養成所2年課程(通信制)を卒業して看護師国家試験をめざす場合、各養成所の判断により放送大学で修得した単位を総修得単位数の2分の1を超えない範囲まで活用できます。

## ■ 看護師の特定行為研修

修士

特定行為研修とは、看護師が手順書により特定行為を行うために必要な、実践的な理解力・思考力・判断力、高度かつ専門的な知識・技能の向上を図る研修です。

放送大学大学院では、共通科目に該当する科目として「講義」と「演習」部分をオンライン授業として開講しています(「実習」部分は指定研修機関・その他協力施設で受講する必要があります)。

(以上の措置については、種々の制度的な制約があります。詳細を放送大学本部連携教育課又は各学習センターまでお問い合わせいただくか、資料をご請求ください。)

## 職場研修などの支援

会社等の集団で研修などの目的で利用される場合、次のような特別な対応をしています。

- ・ 学期末の単位認定試験の結果を受講者本人だけでなく、必要があれば、会社などの研修担当者にお知らせすることができます。この制度によって、会社などでは研修の目的を達したかどうか、研修事業の結果を確認することができます。
- ・ 会社などでまとめて20人以上の集団で入学の申し込みをされますと、入学料を半額に割り引いています。

## 科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)

学部

「科目群履修認証制度(放送大学エキスパート)」は、2006年から放送大学が実施している学習プログラム(履修証明プログラム)で、学校教育法第105条「履修証明制度」※に対応しています。

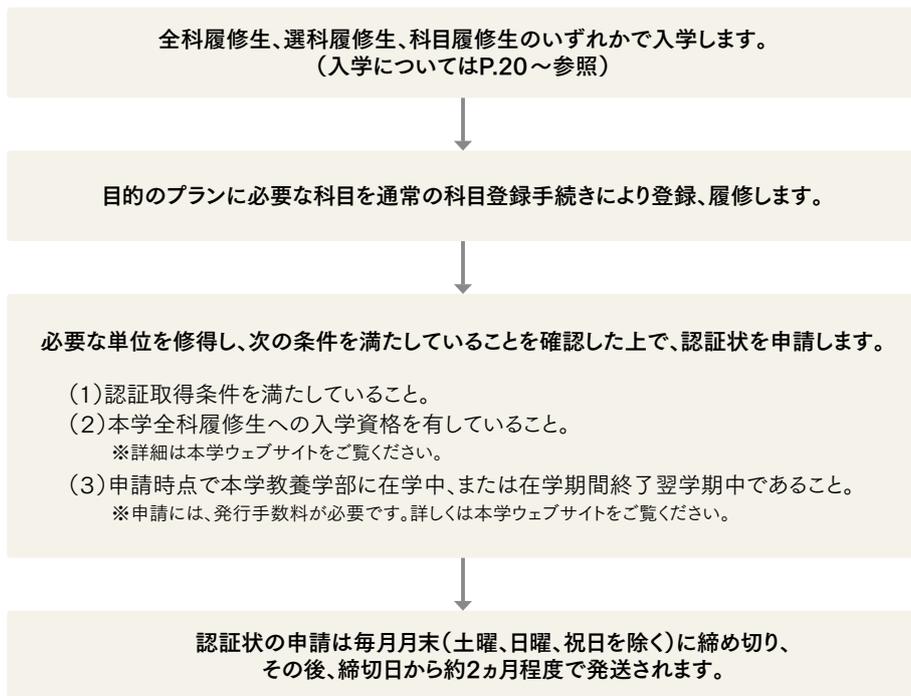
本学が指定する特定の授業科目群(17プラン)に沿って科目履修し、専門分野を体系的に学び申請することにより、修了者に「履修証明制度」に基づいた認証状、証明書、携帯できる認証カード(希望者)が交付されます。

※学校教育法第105条「履修証明制度」

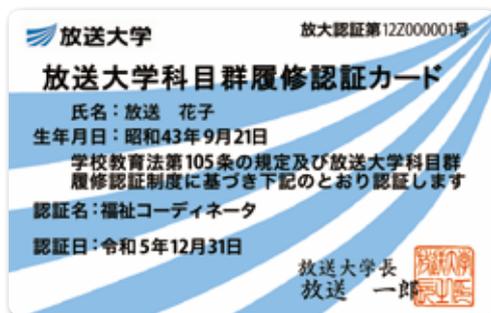
社会人などを対象とした、2007年に始まった新しい履修・学習の証明制度。大学などが開設した一定のまとまりある学習プログラム(履修証明プログラム)の修了者に対して、大学などが法に基づく「履修証明書」(certificate)を交付できる制度です。「履修証明制度」の詳細については、文部科学省のウェブサイトをご覧ください。

### 「放送大学エキスパート」入学から認証状取得までの流れ

入学から科目登録までは、通常の手続きと同じです。科目登録の際に、目指すプランを決めておく必要があります。



※イメージ



2020（令和2）年度に開始された「インターネット配信公開講座」は、キャリアアップや生涯学習に役立つ講義をインターネットを通じて提供するもので、パソコン、タブレット、スマートフォンなどを用い受講します。キャリアアップ支援認証制度に対応した有料講座と、どなたでも受講できる無料講座を提供しています。

■ いつでもどこでも誰でも学べる、オンデマンドの公開講座

01

入学手続不要ですぐ学び始められる

専用サイトから会員登録することで、放送大学生も、学生でない方も、どなたでも受講できるのが特徴です。申込期間を定めず、思い立ったらすぐ学び始められる仕組みです。



02

クレジットカード決済可能で、受講登録から修了までオンラインで完結

講座はオンデマンドで開講しており、時間と場所を選ばず、開講期間中であれば何度でも学ぶことができます。有料講座の決済方法はコンビニ払い・ペイジーのほかクレジットカード決済にも対応しています。  
\*一部講座は、会場でオンライン受験するCBT方式を採用しています。

03

成果が見える、認証状とデジタルバッジ

体系的に編成された講座を修了した方に対して放送大学が独自の認証を行う「キャリアアップ支援認証制度」対象講座では、修了後に認証状・デジタルバッジが発行されます。  
\*デジタルバッジとは、学習履歴や資格に関するデータを修了者自身が安全にやり取りできる次世代学習証明システムです。取得したデジタルバッジは、SNS等で公開したり電子履歴書へ活用することができます。



04

学校や企業での団体受講にも対応

一部の講座は受講料の団体割引があり、教育機関における授業や企業の社員教育に活用されています。団体が指定した講座群の修了者に対して団体名入りのデジタルバッジも発行でき、モチベーション管理に役立ちます。

■ 開講講座の例

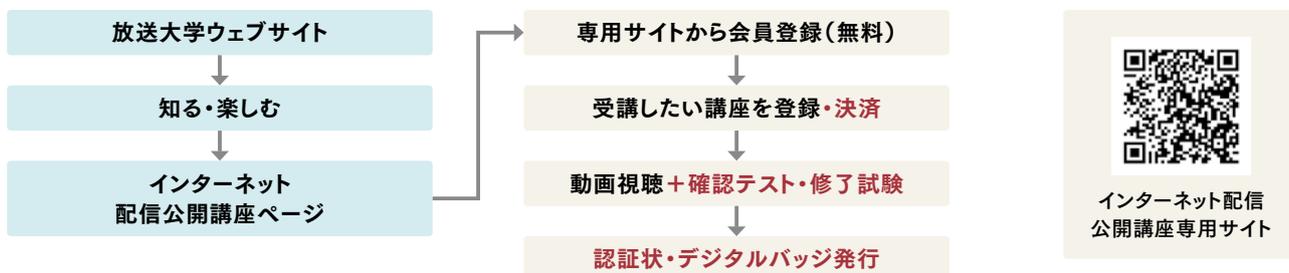
（令和6年4月時点）

有料講座 (キャリアアップ支援認証制度対象講座)	プログラミング教育プラン	4講座
	数理・データサイエンス・AI講座	リテラシーレベル 5講座* 応用基礎レベル 3講座 発展・専門 12講座
	教育課題に取り組むためのリスキング講座	75講座(5科目×各15回)
無料講座	生涯学習支援番組他	71講座

\*リテラシーレベルは放送大学生割引有り

■ インターネット配信公開講座受講の流れ

放送大学への入学は不要で、専用サイトへの会員登録(無料)が必要となります。



\*赤字は有料講座のみ



インターネット配信公開講座専用サイト

放送大学の数理・データサイエンス・AI講座

現代社会においては、ビッグデータの収集・蓄積・分析やAIの活用によって、社会的な問題の解決や新たな価値の創造が期待されています。そのためには、「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能が重要であると言われるようになってきました。放送大学の数理・データサイエンス・AI講座では、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム策定のモデルカリキュラムに対応した講座を提供しています。



全都道府県に学習センターやサテライトスペースを設置。面接授業（スクーリング）を受けたり、学生団体（サークル）活動で学生同士の交流を図ったりすることができます。また、学習センターでは本学の学生向けのWi-Fi環境を整備し、インターネットを通じた学習ができるようになっています。

## ■ 多彩な面接授業

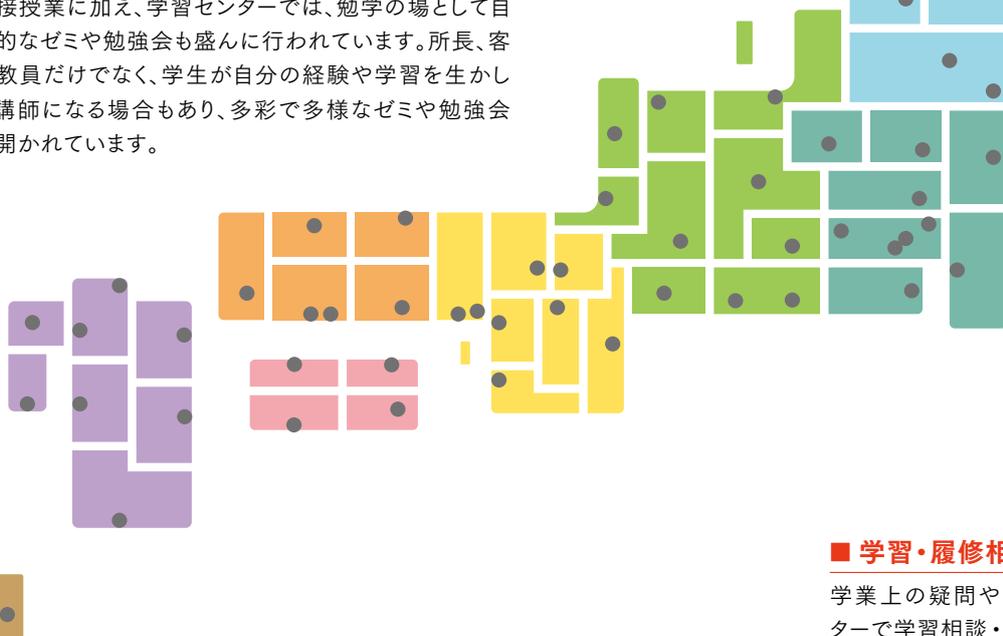
面接授業は、各地域の実情や特色を活かした科目などを開講しています。BSテレビ・BSラジオで接している放送大学の専任教員や、地元の客員教員などによる、対面・フィールドワークでの授業です。教員と学生の交流だけでなく、学生同士の出会いの機会ともなっています。



講師陣から直接指導を受ける面接授業

## ■ ゼミ・勉強会

面接授業に加え、学習センターでは、勉学の場として自主的なゼミや勉強会も盛んに行われています。所長、客員教員だけでなく、学生が自分の経験や学習を生かして講師になる場合もあり、多彩で多様なゼミや勉強会が開かれています。



## ■ 学生研修旅行

学生研修旅行は、地域の歴史や文化に触れるとともに、学生相互の交流を図る活動として、学習センター単位で開催されています。訪問先は、学術機関、地域の名所・旧跡、体験学習など多彩です。



## ■ 講演会や学習サロン

学習センターでは積極的に講演会を開催していて、地域、開催時期及び社会情勢などに応じたさまざまな話題が取り上げられています。



全国各地で開催される講演会

## ■ 学習・履修相談会

学業上の疑問や悩みについて各学習センターで学習相談・履修相談が受けられます。所長・客員教員、さらには経験者としての先輩学生たちが相談に応じています。

## ■ 文化祭

文化祭を行う学習センターも多くあります。学生たちの日頃の学習の成果や、趣味の作品が披露され、学生同士の交流の機会ともなっています。

## ■ 学生団体（サークル）活動

学習センターでは、学習・趣味・スポーツなどさまざまな学生団体（サークル）活動が活発に行われています。また、当該地域ならではの特色ある学生団体も多くあります。

北海道	北海道学習センター 札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学札幌キャンパス情報教育館5・6階)	☎011-736-6318
	旭川サテライトスペース 旭川市常磐公園(旭川市常磐館内)	☎0166-22-2627
東北	青森学習センター 弘前市文京町3 コラボ弘大7階(弘前大学文京町地区内)	☎0172-38-0500
	八戸サテライトスペース 八戸市一番町1-9-22(ユートリー 4階)	☎0178-70-1663
	岩手学習センター 盛岡市上田3-18-8(岩手大学図書館3・4階)	☎019-653-7414
	宮城学習センター 仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平キャンパス内)	☎022-224-0651
	秋田学習センター 秋田市手形学園町1-1(秋田大学手形キャンパス地方創生センター 2号館4階)	☎018-831-1997
	山形学習センター 山形市城南町1-1-1(霞城セントラル10階)	☎023-646-8836
	福島学習センター 郡山市桑野1-22-21	☎024-921-7471
	いわきサテライトスペース いわき市平字菱川町1-3(いわき市社会福祉センター 4階)	☎0246-22-7318
関東	茨城学習センター 水戸市文京2-1-1(茨城大学水戸キャンパス環境リサーチラボラトリー 2・3階)	☎029-228-0683
	栃木学習センター 宇都宮市峰町350(宇都宮大学峰キャンパス附属図書館1・2階)	☎028-632-0572
	群馬学習センター 前橋市若宮町1-13-2	☎027-230-1085
	埼玉学習センター さいたま市大宮区錦町682-2(JACK大宮8・9・10階)	☎048-650-2611
	千葉学習センター 千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)	☎043-298-4367
	東京渋谷学習センター 渋谷区道玄坂1-10-7(五育育英会ビル1階)	☎03-5428-3011
	東京文京学習センター 文京区大塚3-29-1(筑波大学東京キャンパス文京校舎内)	☎03-5395-8688
	東京足立学習センター 足立区千住5-13-5(学びピア21(6階))	☎03-5244-2760
	東京多摩学習センター 小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス国際共同研究センター 3・4階)	☎042-349-3467
	神奈川学習センター 横浜市南区大岡2-31-1	☎045-710-1910
甲信越・北陸	新潟学習センター 新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町キャンパス医歯学図書館4～6階)	☎025-228-2651
	富山学習センター 射水市黒河5180(富山県立大学情報基盤センター 3階)	☎0766-56-9230
	石川学習センター 野々市市扇が丘7-1(金沢工業大学扇が丘キャンパス9号館)	☎076-246-4029
	福井学習センター 福井市手寄1丁目4-1(AOSSA 7階)	☎0776-22-6361
	山梨学習センター 甲府市武田4-4-37(山梨大学甲府キャンパス総合研究棟Y号館隣接建物内)	☎055-251-2238
東海	長野学習センター 諏訪市諏訪1-6-1(アーク諏訪3階)	☎0266-58-2332
	岐阜学習センター 岐阜市教田南5-14-53(OKBふれあい会館第2棟2階)	☎058-273-9614
	静岡学習センター 三島市文教町1-3-93(静岡県立三島長陵高等学校2階)	☎055-989-1253
	浜松サテライトスペース 浜松市中央区早馬町2-1(クリエート浜松2階・4階)	☎053-453-3303
	愛知学習センター 愛知県名古屋西区則武新町3-1-17(BIZrium名古屋5階)	☎052-589-8333

東海	三重学習センター 津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター生涯学習棟4階)	☎059-233-1170
	滋賀学習センター 大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス4号館1階)	☎077-545-0362
近畿	京都学習センター 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939(キャンパスプラザ京都3階)	☎075-371-3001
	大阪学習センター 大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス中央館6・7階)	☎06-6773-6328
中国	兵庫学習センター 神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台第1キャンパスアカデミア館6・7階)	☎078-805-0052
	姫路サテライトスペース 姫路市本町68-290(イーグレひめじ地下2階)	☎079-284-5788
四国	奈良学習センター 奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター 3階)	☎0742-20-7870
	和歌山学習センター 和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)	☎073-431-0360
九州・沖縄	鳥取学習センター 鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅南庁舎5階)	☎0857-37-2351
	島根学習センター 松江白鷺本町43(スティックビル4階)	☎0852-28-5500
	岡山学習センター 岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学津島キャンパス文化科学系総合研究棟5・6階)	☎086-254-9240
	広島学習センター 広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田キャンパス東千田総合校舎3・4階)	☎082-247-4030
	福山サテライトスペース 福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム3階)	☎084-991-2011
	山口学習センター 山口市吉田1677-1(山口大学吉田キャンパス大会館内)	☎083-928-2501
	徳島学習センター 徳島市新蔵町2-24(徳島大学新蔵キャンパス日亜会館3階)	☎088-602-0151
	香川学習センター 高松市幸町1-1(香川大学幸町北キャンパス研究交流棟7・8階)	☎087-837-9877
	愛媛学習センター 松山市文京町3(愛媛大学城北キャンパス総合情報メディアセンター棟3・4階)	☎089-923-8544
	高知学習センター 高知市曙町2-5-1(高知大学朝倉キャンパスメディアの森内)	☎088-843-4864
九州・沖縄	福岡学習センター 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内 総合研究棟2階)	☎092-585-3033
	北九州サテライトスペース 北九州市八幡西区黒崎3-15-3(コムシティ 3階)	☎093-645-3201
	佐賀学習センター 佐賀市天神3-2-11(アバンセ4階)	☎0952-22-3308
	長崎学習センター 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)	☎095-813-1317
	熊本学習センター 熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学附属図書館南棟2・3階)	☎096-341-0860
	大分学習センター 別府市北石垣82(別府大学39号館2階)	☎0977-67-1191
	宮崎学習センター 日向市本町11-11(日向市役所北隣)	☎0982-53-1893
	鹿児島学習センター 鹿児島市山下町14-50(カクイックス交流センター西棟4階)	☎099-239-3811
	沖縄学習センター 中頭郡西原町字千原1(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)	☎098-895-5952

※学習センターは国立大学や自治体の生涯学習施設などと同居しているケースが多く、大変学びやすい環境です。

# Chapter 10 在学生の概要

## 在生人数 (令和5年(2023年度))

【教養学部】

(単位：人)

学生の種別等	第1学期在生人数		第2学期在生人数	
全科履修生	60,931		60,204	
選科履修生	14,564	19,441	14,162	20,017
科目履修生	4,877		5,855	
特別聴講学生	941		2,905	
合計	81,313		83,126	

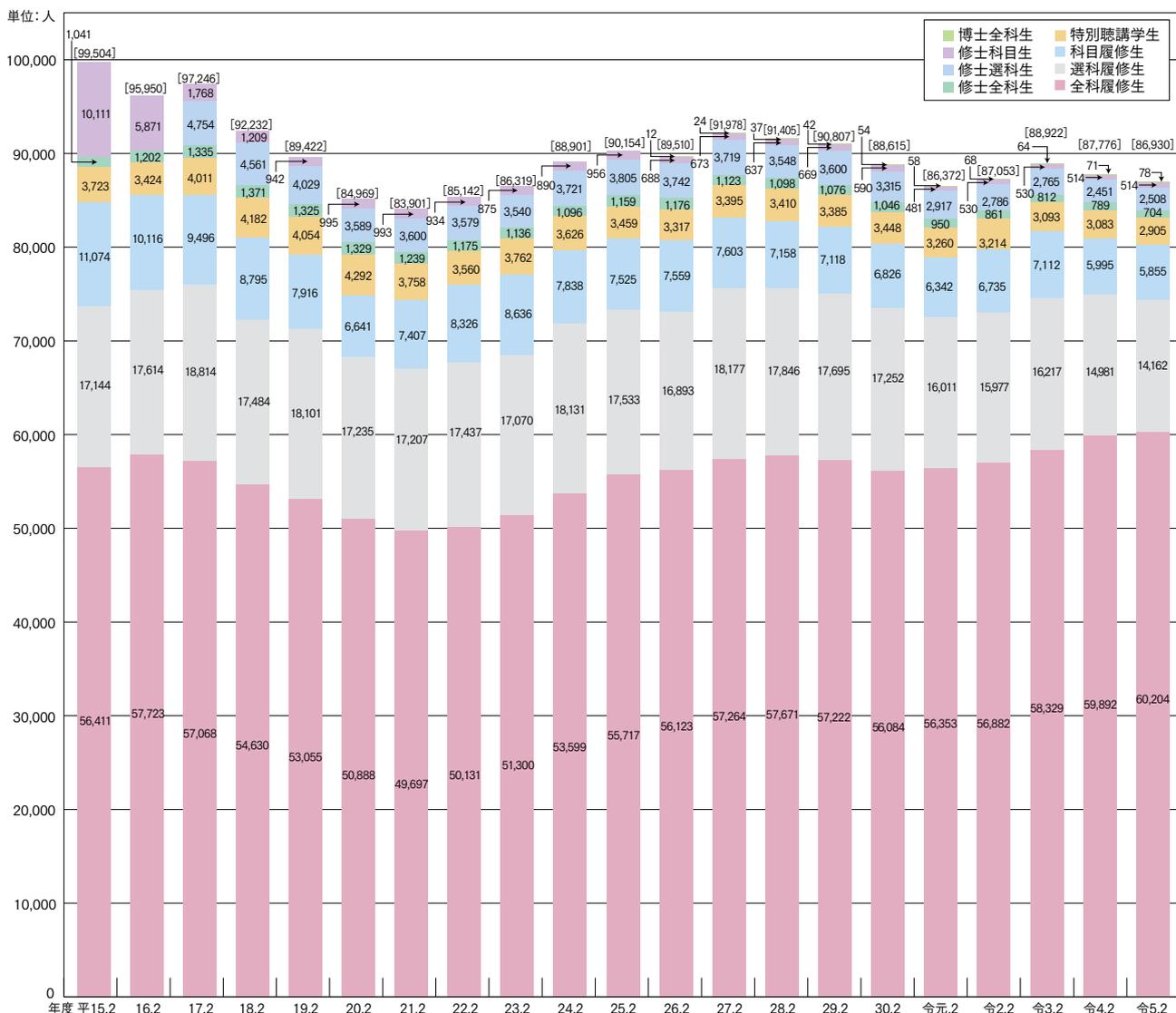
【大学院】

(単位：人)

学生の種別等	第1学期在生人数		第2学期在生人数	
修士全科生	722		704	
修士選科生	2,540	2,920	2,508	3,007
修士科目生	380		499	
特別聴講学生	24		15	
博士全科生	78		78	
合計	3,744		3,804	

(注) 特別聴講学生とは、他の大学等の学生で当該大学等と放送大学との単位互換協定に基づき、本学において科目の履修を行っている学生である。

## 在生人数の推移 (各年度第2学期)

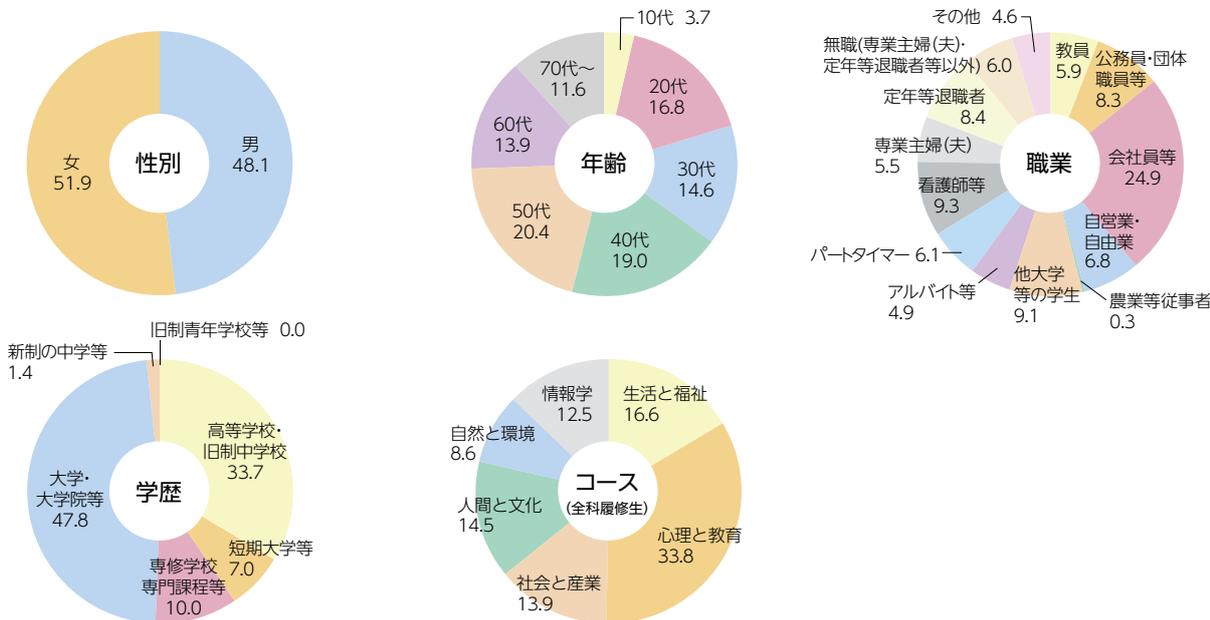


(注) 大学院修士特別聴講学生は、修士科目生に含まれる。

## 在学生の属性 (令和5年度(2023年度)第2学期)

〔教養学部(特別聴講学生を含む)〕

(単位：%)



### <性別・年齢別状況表>

(単位：人)

区分	合計	15～17歳	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	
学部計	計	83,126	60	3,054	7,778	6,169	5,787	6,370	7,083	8,723	8,934	7,985	6,338	5,206	9,639
	男	40,006	30	2,025	4,517	3,377	3,000	3,002	2,842	3,243	3,182	2,905	2,855	2,944	6,084
	女	43,120	30	1,029	3,261	2,792	2,787	3,368	4,241	5,480	5,752	5,080	3,483	2,262	3,555
全科目履修生	計	60,204	-	817	5,594	4,789	4,391	4,654	5,006	6,231	6,557	5,984	4,758	3,874	7,549
	男	29,225	-	473	3,246	2,746	2,455	2,373	2,186	2,510	2,443	2,133	2,013	2,082	4,565
	女	30,979	-	344	2,348	2,043	1,936	2,281	2,820	3,721	4,114	3,851	2,745	1,792	2,984
選科履修生	計	14,162	36	621	695	665	791	1,080	1,399	1,780	1,652	1,488	1,184	1,030	1,741
	男	6,412	17	442	378	305	298	368	424	495	502	591	645	669	1,278
	女	7,750	19	179	317	360	493	712	975	1,285	1,150	897	539	361	463
科目履修生	計	5,855	24	51	376	674	592	613	652	666	682	491	386	301	347
	男	2,476	13	25	154	307	240	250	225	225	234	177	193	193	240
	女	3,379	11	26	222	367	352	363	427	441	448	314	193	108	107
特別聴講学生	計	2,905	-	1,565	1,113	41	13	23	26	46	43	22	10	1	2
	男	1,893	-	1,085	739	19	7	11	7	13	3	4	4	-	1
	女	1,012	-	480	374	22	6	12	19	33	40	18	6	1	1

(注)年齢は、令和5年11月1日現在

### <職業別状況表>

(単位：人)

区分	合計	教員	公務員・団体職員等	会社員等	自営業・自由業	農林水産業等従事者	他大学・専門学校等に在籍する学生	アルバイト等	パートタイマー	看護師等	専業主婦(夫)	定年等退職者	無職(専業主婦(夫)・定年等退職者等以外)	その他
学部計	83,126	4,943	6,867	20,676	5,670	231	7,539	4,053	5,062	7,721	4,590	6,958	5,027	3,789
全科目履修生	60,204	2,004	4,683	17,049	4,655	201	3,179	3,601	3,885	4,787	3,787	5,038	4,230	3,105
選科履修生	14,162	1,282	1,064	2,671	778	28	1,214	336	903	2,586	604	1,594	580	522
科目履修生	5,855	1,657	1,120	956	237	2	241	116	274	348	199	326	217	162
特別聴講学生	2,905	-	-	-	-	-	2,905	-	-	-	-	-	-	-

### <出身校別状況表> (特別聴講学生については表記の区分に在学中であることを示す)

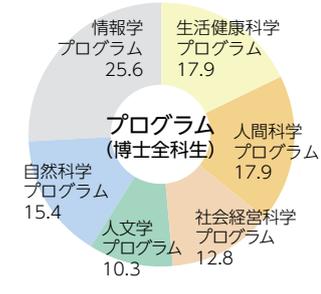
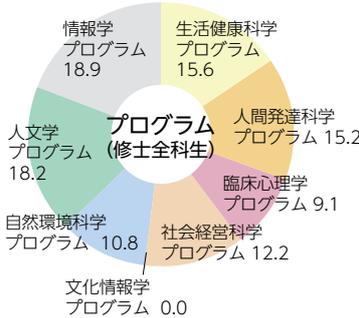
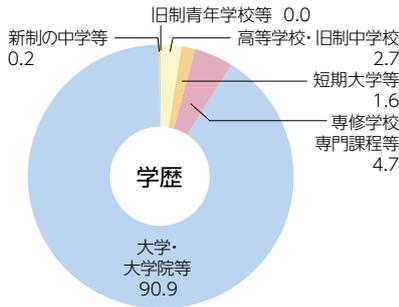
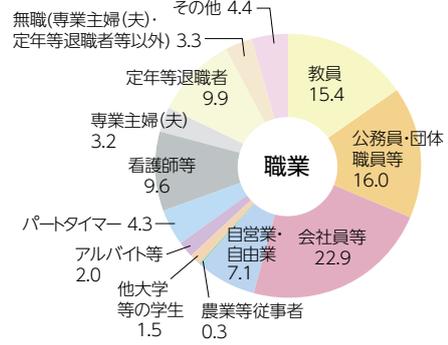
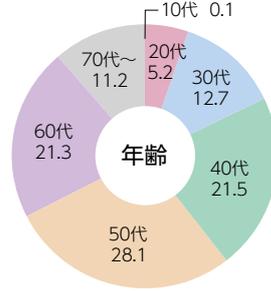
(単位：人)

区分	合計	新制の中学等	旧制青年学校等	旧制の中学等	専修学校・高等課程等	高等学校等	短期大学等	専修学校 専門課程等	大学等	大専校	大学院
学部計	83,126	1,186	3	114	1,629	26,303	5,844	8,276	28,754	4,468	6,549
全科目履修生	60,204	896	1	98	788	22,650	4,547	6,321	17,613	3,036	4,254
選科履修生	14,162	216	2	14	757	2,946	860	1,597	5,200	977	1,593
科目履修生	5,855	74	0	2	84	707	437	358	3,036	455	702
特別聴講学生	2,905	-	-	-	-	-	-	-	2,905	-	-

# 在学生の属性 (令和5年度(2023年度)第2学期)

(単位：%)

〔大学院修士課程・博士後期課程〕



＜性別・年齢別状況表＞

(単位：人)

区分	合計	15~17歳	18~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上	
大学院計	計	3,804	-	2	44	153	221	262	336	480	515	555	450	360	426
	男	2,207	-	-	30	100	122	154	187	246	260	303	265	244	296
	女	1,597	-	2	14	53	99	108	149	234	255	252	185	116	130
修士全科生	計	704	-	-	4	40	40	65	69	89	102	112	74	58	51
	男	448	-	-	3	30	18	42	51	53	62	61	54	41	33
	女	256	-	-	1	10	22	23	18	36	40	51	20	17	18
修士選科生	計	2,508	-	-	27	87	129	146	206	295	346	363	313	260	336
	男	1,443	-	-	18	54	74	86	109	155	169	197	175	174	232
	女	1,065	-	-	9	33	55	60	97	140	177	166	138	86	104
修士科目生	計	499	-	2	12	19	40	47	53	78	57	66	55	36	34
	男	253	-	-	8	12	22	23	22	26	27	33	30	24	26
	女	246	-	2	4	7	18	24	31	52	30	33	25	12	8
修士特別聴講学生	計	15	-	-	1	3	7	1	1	2	-	-	-	-	-
	男	10	-	-	1	2	5	-	1	1	-	-	-	-	-
	女	5	-	-	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-
博士全科生	計	78	-	-	-	4	5	3	7	16	10	14	8	6	5
	男	53	-	-	-	2	3	3	4	11	2	12	6	5	5
	女	25	-	-	-	2	2	-	3	5	8	2	2	1	-

＜職業別状況表＞

(注)年齢は、令和5年11月1日現在 (単位：人)

区分	合計	教員	公務員・団体職員等	会社員等	自営業・自由業	農林水産業等従事者	他大学・専門学校等に在籍する学生	アルバイト等	パートタイマー	看護師等	専業主婦(夫)	定年等退職者	無職(専業主婦(夫)・定年等退職者等以外)	その他
大学院計	3,804	585	610	870	271	11	57	77	164	367	121	377	127	167
修士全科生	704	133	119	200	53	1	7	13	27	51	15	47	12	26
修士選科生	2,508	337	390	547	188	10	25	57	124	243	85	283	93	126
修士科目生	499	90	87	108	27	-	8	5	10	68	21	40	20	15
修士特別聴講学生	15	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-
博士全科生	78	25	14	15	3	-	2	2	3	5	-	7	2	-

＜出身校別状況表＞ (特別聴講学生については表記の区分に在学中であることを示す)

(単位：人)

区分	合計	新制の中等等	旧制青年学校等	旧制の中等等	専修学校・高等課程等	高等学校等	短期大学等	専修学校専門課程等	大学等	大専校	大学院
大学院計	3,804	7	-	-	12	90	59	179	2,459	385	613
修士全科生	704	-	-	-	-	8	6	13	542	60	75
修士選科生	2,508	7	-	-	11	61	40	124	1,594	283	388
修士科目生	499	-	-	-	1	21	12	42	303	41	79
修士特別聴講学生	15	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-
博士全科生	78	-	-	-	-	-	1	-	5	1	71

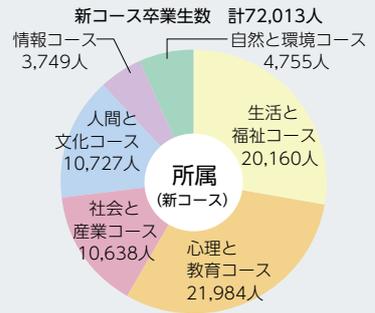
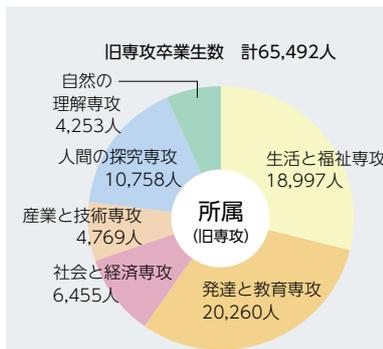
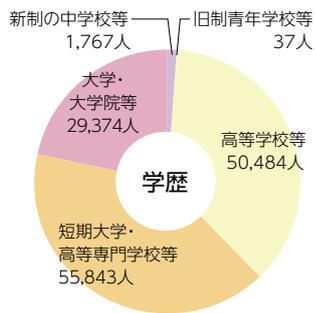
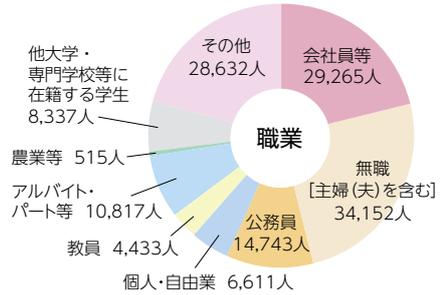
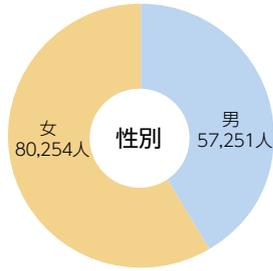
## 学習センター別在学生数(令和5年度(2023年度)第2学期)

(単位:人)

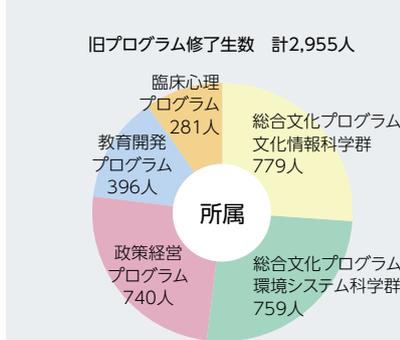
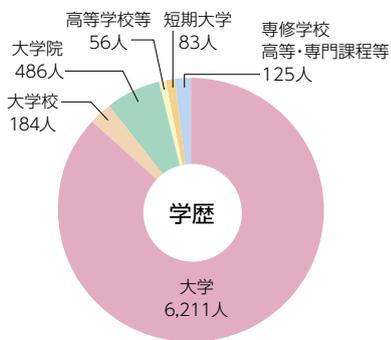
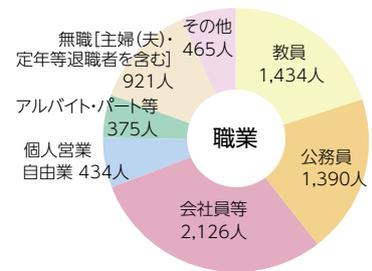
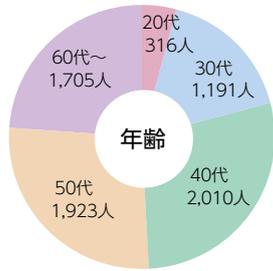
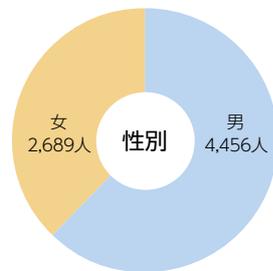
	学 部					大学院修士課程					大学院博士 後期課程	合計
	全科履修生	選科履修生	科目履修生	特別聴講生	小計	修士全科生	修士選科生	修士科目生	修士特聴生	小計	博士全科生	
合計	60,204	14,162	5,855	2,905	83,126	704	2,508	499	15	3,726	78	86,930
北海道	2,145	495	263	36	2,939	12	77	14		103	3	3,045
旭川サテライト	281	95	48		424	5	12	2		19	1	444
青森	322	45	24		391	2	12	11		25		416
八戸サテライト	236	23	10		269	1	9			10		279
岩手	529	108	50	34	721	7	18	4		29	1	751
宮城	1,117	275	106	150	1,648	13	48	6		67	1	1,716
秋田	369	60	22	66	517	5	16	2		23		540
山形	365	80	43	93	581	4	8	3		15		596
福島	406	101	50	20	577	5	19	2		26	1	604
いわきサテライト	101	40	19	17	177	2	4			6		183
茨城	743	229	121	10	1,103	7	30	8		45	1	1,149
栃木	727	209	75	8	1,019	12	25	7		44		1,063
群馬	853	267	100	9	1,229	13	40	4		57		1,286
埼玉	2,440	594	199	69	3,302	33	118	17		168	2	3,472
千葉	3,368	865	364	52	4,649	51	153	58		262	7	4,918
東京渋谷	5,186	999	397	197	6,779	81	184	50	1	316	6	7,101
東京文京	4,927	1,006	392	57	6,382	77	258	44	1	380	10	6,772
東京足立	1,691	380	156	28	2,255	22	57	11		90	4	2,349
東京多摩	2,599	538	204	62	3,403	29	124	21		174	4	3,581
神奈川	3,549	738	281	84	4,652	44	165	25	1	235	6	4,893
新潟	867	243	176	8	1,294	15	39	6		60	1	1,355
富山	455	89	32	4	580	6	37	3		46		626
石川	493	90	50	1,028	1,661	8	22	5	1	36	3	1,700
福井	295	62	40	3	400	3	9	1		13		413
山梨	366	75	75	3	519	4	17	2		23		542
長野	663	157	63	18	901	5	32	8	5	50	2	953
岐阜	699	189	65	5	958	8	23	3		34	1	993
静岡	812	169	74	4	1,059	12	28	5		45		1,104
浜松サテライト	644	178	160	12	994	3	35	7		45	2	1,041
愛知	2,380	608	251	5	3,244	24	72	22	5	123	5	3,372
三重	459	134	55	2	650	3	22	6		31		681
滋賀	441	85	43	16	585	1	17	1		19		604
京都	2,605	1,252	128	22	4,007	19	73	13		105	2	4,114
大阪	3,561	886	299	49	4,795	43	136	33		212	2	5,009
兵庫	1,287	302	142	12	1,743	17	64	10		91	1	1,835
姫路サテライト	401	105	64	2	572	3	28	4		35		607
奈良	580	118	57	37	792	6	36	2	1	45	1	838
和歌山	317	71	31	1	420	2	17	3		22		442
鳥取	220	53	35	1	309	1	10	2		13	1	323
島根	326	81	30	2	439	5	12	4		21	2	462
岡山	831	142	39	11	1,023	10	34	1		45	1	1,069
広島	1,018	242	63	58	1,381	12	51	5		68		1,449
福山サテライト	225	68	15	2	310	3	9	3		15		325
山口	426	49	46	14	535	4	16	3		23	1	559
徳島	340	78	30	6	454	1	7			8		462
香川	456	110	48	2	616	6	28	3		37		653
愛媛	622	107	51	29	809	7	16	4		27	1	837
高知	400	80	23	339	842	4	16	4		24	1	867
福岡	1,323	269	177	56	1,825	14	57	14		85	1	1,911
北九州サテライト	520	104	54	6	684	2	24	3		29	1	714
佐賀	330	77	55	2	464	1	11	2		14		478
長崎	497	94	53	38	682	6	19	3		28		710
熊本	694	139	73	64	970	4	23	6		33		1,003
大分	375	101	55		531		23	2		25		556
宮崎	453	73	66	4	596	3	9	6		18		614
鹿児島	908	179	94	16	1,197	4	29	3		36	2	1,235
沖縄	961	156	119	32	1,268	10	30	8		48		1,316

# Chapter 11 卒業生等の概要

## 学部卒業生の属性 卒業生数 137,505人(令和6年3月末までの累計)



## 大学院修士課程修了生の属性 修了生数 7,145人(令和6年3月末までの累計)



※2013年度(平成25年度)から、情報学プログラムを新設し、文化情報学プログラムは人文学プログラムに名称を変更。

## 卒業生・修了生数の推移

	学部卒業生数(人)	大学院修士課程修了生数(人)		学部卒業生数(人)	大学院修士課程修了生数(人)	大学院博士後期課程修了生数(人)
平成元年 3月	544		平成19年 3月	3,137	441	
9月	61		9月	2,030	10	
平成2年 3月	602		平成20年 3月	3,079	379	
9月	115		9月	1,929	9	
平成3年 3月	629		平成21年 3月	3,230	414	
9月	113		9月	1,719	10	
平成4年 3月	595		平成22年 3月	2,916	386	
9月	136		9月	1,879	8	
平成5年 3月	719		平成23年 3月	3,033	348	
9月	145		9月	1,661	9	
平成6年 3月	839		平成24年 3月	2,883	371	
9月	149		9月	1,592	2	
平成7年 3月	2,032		平成25年 3月	2,911	311	
9月	513		9月	1,632	9	
平成8年 3月	1,148		平成26年 3月	2,787	311	
9月	518		9月	1,845	7	
平成9年 3月	1,094		平成27年 3月	3,070	350	
9月	543		9月	1,887	3	
平成10年 3月	1,143		平成28年 3月	3,067	352	
9月	563		9月	2,181	2	
平成11年 3月	1,223		平成29年 3月	3,272	322	
9月	682		9月	2,122	8	4
平成12年 3月	1,251		平成30年 3月	3,584	314	4
9月	888		9月	2,351	5	0
平成13年 3月	1,982		平成31年 3月	3,637	324	7
9月	1,188		令和元年 9月	2,113	5	0
平成14年 3月	2,133		令和2年 3月	3,435	314	2
9月	1,653		9月	2,374	4	0
平成15年 3月	2,612		令和3年 3月	4,124	253	11
9月	1,849		9月	2,535	2	0
平成16年 3月	2,623	344	令和4年 3月	4,243	226	8
9月	1,921	10	9月	2,291	2	0
平成17年 3月	2,908	357	令和5年 3月	3,907	256	9
9月	2,315	10	9月	2,256	6	0
平成18年 3月	3,172	426	令和6年 3月	4,024	213	3
9月	2,168	12	累計	137,505	7,145	48

## 学習者数(累計)

昭和60年(1985年)に学生受け入れを開始し、今年で40年目を迎え、令和5年度第2学期現在累計1,861,274名の方が学生として学んでいます。

(全科履修生、選科履修生、科目履修生、特修生、研究生、特別聴講学生、修士全科生、修士選科生、修士科目生、博士全科生 累計人数)

昭和60年	学習者数(人)	平成10年	学習者数(人)	平成23年	学習者数(人)
昭和61年	18,852	平成11年	452,853	平成24年	1,251,985
昭和62年	29,032	平成12年	518,131	平成25年	1,308,448
昭和63年	40,694	平成13年	580,944	平成26年	1,362,258
平成元年	52,406	平成14年	643,703	平成27年	1,414,375
平成2年	66,080	平成15年	719,440	平成28年	1,468,612
平成3年	83,570	平成16年	795,901	平成29年	1,521,107
平成4年	107,954	平成17年	862,209	平成30年	1,572,782
平成5年	138,716	平成18年	924,663	令和元年	1,623,072
平成6年	175,110	平成19年	982,346	令和2年	1,670,901
平成7年	218,948	平成20年	1,037,079	令和3年	1,718,663
平成8年	270,815	平成21年	1,088,396	令和4年	1,769,597
平成9年	328,194	平成22年	1,141,098	令和5年	1,816,936
	388,098		1,196,490		1,861,274

## 次世代教育研究開発センター

### ■ 概要

次世代教育研究開発センターは、放送大学の教授形態の多様性と諸特性を踏まえ、メディアを活用した次世代教育の研究開発を行うと同時に、先駆的なコンテンツの企画・制作・評価を一貫して担当します。また、内外の研究機関と技術的、人的なネットワークを形成し、次世代を見据えた遠隔高等教育を研究開発していきます。



次世代教育研究開発センター

## IR室

### ■ 概要

IR室は、放送大学学園及び放送大学が策定、又は実施した施策の有効性を検証するために、本学園内外の情報収集を行い、次世代教育研究開発センターや各課室の協力を得ながら、教育、研究、学生支援、大学経営等に関する分析と評価を行うことを目的としています。

## 障がいに関する学生支援相談室

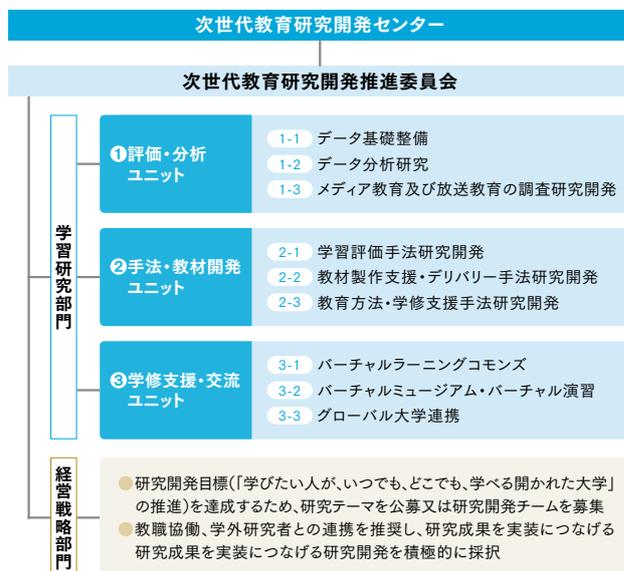
### ■ 概要

障がいに関する学生支援相談室は、2016年「障害者差別解消法」が施行されたことに伴い設置されました。放送大学における障がいのある学生への公正な教育保障、修学及び学生生活における支援に係る教職員による取組に対し、支援を行うことを目的としています。

障がいのある学生のうち、合理的配慮(本学では修学上の特別措置と言います)を希望する学生は毎年800人程度在籍しています。

学生からの個別の相談窓口は各学習センターとなっており、修学上の特別措置を希望する学生は、所属する学習セン

### ■ 組織



### ■ 組織

IR室は、総務担当理事の全体統括のもと、室長、副室長2名、その他の室員(総合戦略企画室員等)及び各データ分析関連分野の教員によるIRアドバイザリーボードで構成されています。また、IR室の運営に関する重要事項を審議するため、IR室運営会議が置かれ、IR室の業務計画を審議するとともに、複数の課室にまたがる検討課題に係る分析の統括などを行っています。

ターで本学教職員と面談を行い、それぞれの障がいの特性や大学側の状況などを勘案し、希望される方ご自身と本学とが相談・協議のうえ、具体的な支援内容が決定されます。障がいに関する学生支援相談室は、障がいのある学生に係る教職員からの相談に対する助言や支援を主に行っておりますが、特に必要があると認められた場合は、学習センターを通じて学生から直接相談を受けることもあります。また、教職員に対し、障がいの特性を理解してもらうために、オンライン会議を活用した研修を実施するとともに、障がいのある学生へ適切に対応するために必要なガイドブック等の整備を行っています。

## ■ 組織

障がいに関する学生支援相談室は、相談室長、副室長、室員若干名で構成されています。

相談室では、事務局の学生課障がい学生支援係とともに、障がいのある学生に対する支援についての学内外における情

報の収集、分析や見直し等が話し合わせ、障がいのある学生支援の充実を目指しています。



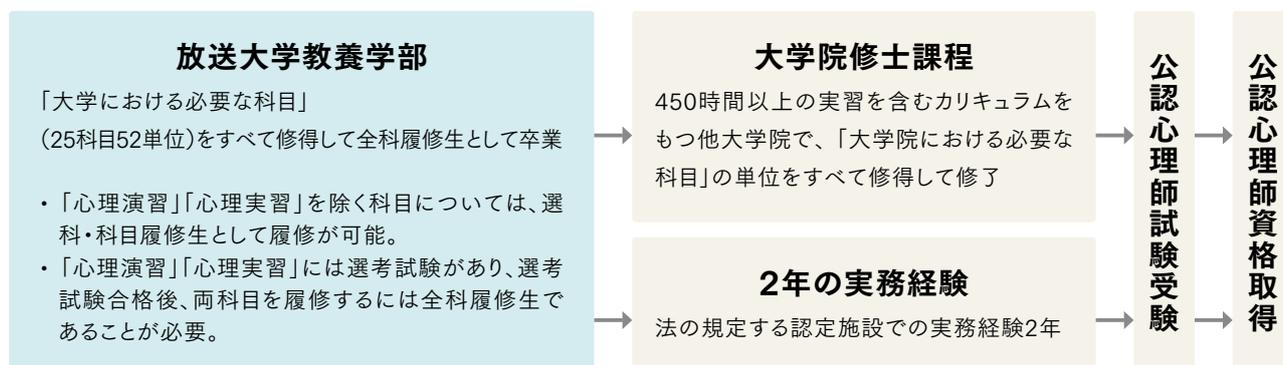
## 公認心理師教育推進室

### ■ 概要

公認心理師教育推進室は、公認心理師法(平成27年法律第68号)第7条第1号又は第2号に規定する心理学その他の公認心理師になるために必要な科目として文部科学省令・厚生労働省令で定めるもので構成するカリキュラムの提供等、放送大学における公認心理師の養成のための教育を推進することを目的としています。

また、本学では2019年度第1学期から公認心理師対応カリキュラムを学部段階で開設しており、対応科目である「心理演習」及び「心理実習」を受講するための選考試験を2021年度から実施しています。

(参考)公認心理師資格取得までの流れ



## データサイエンス教育推進室

### ■ 概要

データサイエンス教育推進室は、放送大学学園中期計画において「国の数理・データサイエンス・AI人材の育成目標を踏まえ、国の認定制度も活用しながら、授業科目や公開講座等により、リテラシー教育・応用基礎教育・エキスパート教育・リカレント教育にわたる多様な教育機会を学内及び学外に提供する。」と盛り込まれたことに伴い設置されました。

科目群履修認証制度として開設されている「データサイエンスリテラシープラン」及び「データサイエンスアドバンスプラン」については、令和4年8月に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」による認定を受け

ています。また、インターネット配信公開講座では国のAI戦略に沿って制作した数理・データサイエンス・AI講座を提供しています。

### ■ 組織

データサイエンス教育推進室は、室長、副室長、室員の若干名で構成されています。

さらに、数理・データサイエンス・AIに関する教育プログラムの改善等、数理・データサイエンス・AIに関する企画・制作並びにその運用などを行っています。

## 附属図書館

附属図書館(本部)は、平成2年3月に竣工、同年6月に開館し、学習センターに設置されている図書室とともに、本学の教育・研究と学習を支える重要な役割を担っています。

自宅からも読める電子ブックなど、インターネットで利用できる学習・研究用資料を多数提供しています。詳しくは、附属図書館ホームページ(<https://lib.ouj.ac.jp/>)をご覧ください。

### 機能

#### (1)本部

- ・ 研究・学習・保存・総合図書館の役割
- ・ 本学学術成果の蓄積と公開
- ・ フロア構成
  - 1階：映像音響資料室・情報検索室・  
参考図書コーナー・貴重図書展示コーナー・国際コーナー
  - 2階：一般開架図書・雑誌バックナンバー・美術書・研究個室
  - 3階：新着雑誌コーナー・演習室・グループ視聴室・  
パソコン利用室・小型本コーナー・サイレントルーム
- 西研究棟：情報資料室

#### (2)学習センター

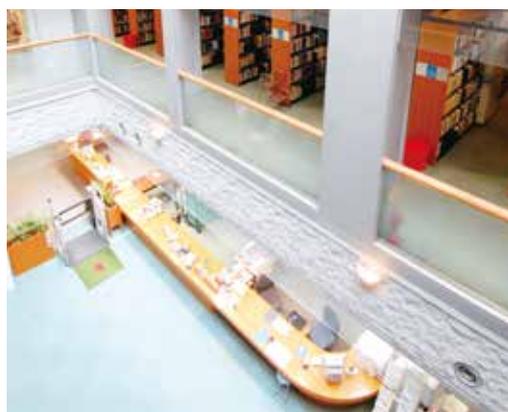
- ・ 学習用図書室
- ・ 附属図書館を通じた各種サービスの窓口
- ・ 連携協力を締結した大学等図書館の利用ができます。

#### 蔵書数(令和6年3月31日現在)

区分	蔵書数	雑誌	電子ブック	電子ジャーナル
本部	375,316冊	3,569タイトル	93,479点	4,781点
学習センター	309,465冊	—	—	—
合計	684,781冊	3,569タイトル	93,479点	4,781点



3階サイレントルーム



附属図書館館内



貴重図書展示コーナー

## セミナーハウス

### 設置目的

セミナーハウスは、放送大学の学生、教職員及び研究員などが、研修、演習実習、研究等を通じて交流を図り、教育研究の進展に寄与するため設けられた施設で、宿泊も可能です。

1. 放送大学及び放送大学学園が行う研修、演習又は実習など、並びに放送大学の公認の学生団体が行う課外活動に使用する場合を優先します。
2. 放送大学学園の職員、放送大学の学生、教員及び研究員などの利用が可能です。



## 土地・建物一覽

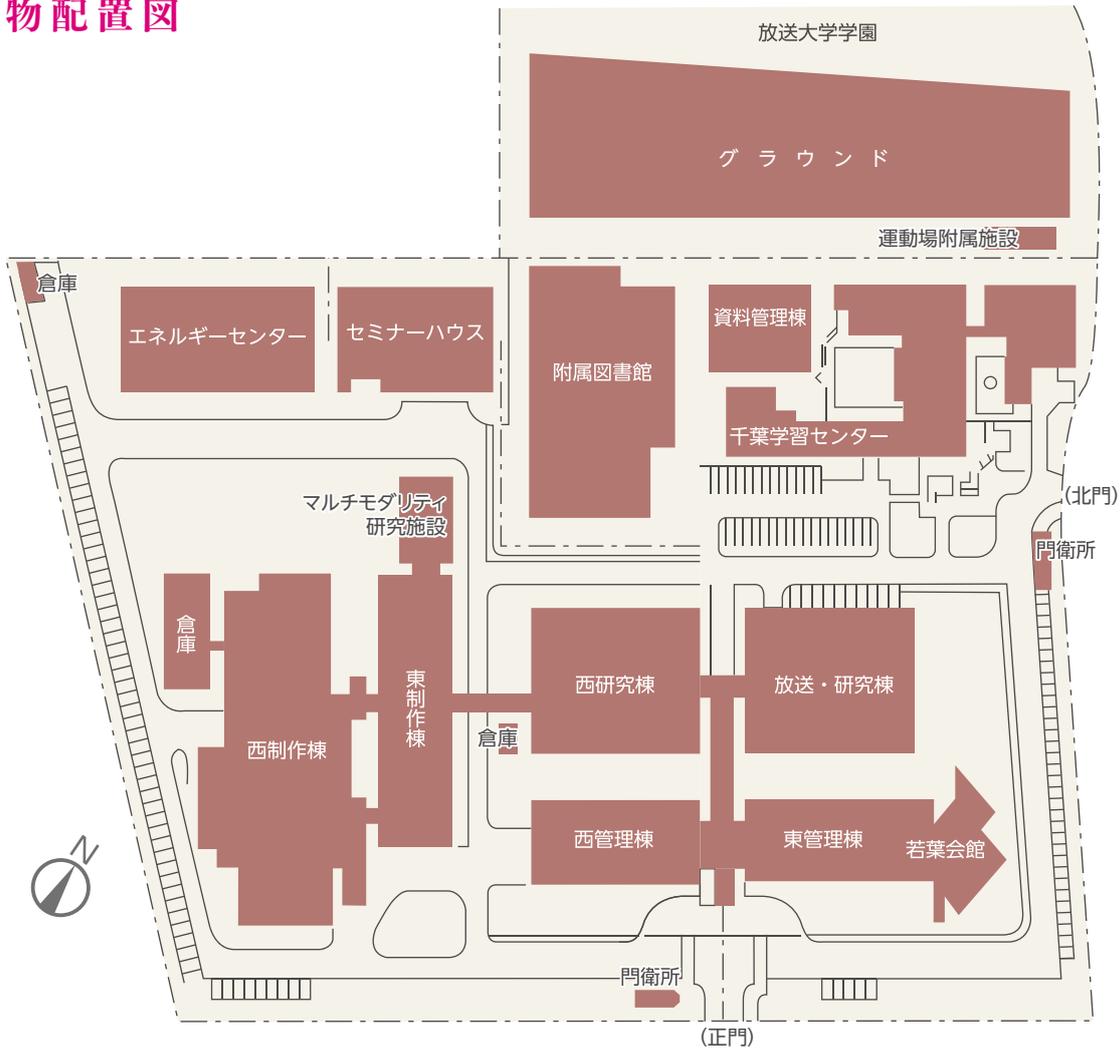
令和6年4月現在

区分	所在地	土地(m <sup>2</sup> )	建物(m <sup>2</sup> )	備考	
本部	管理棟	52,371.57			
	放送・研究棟		4,498.49		
	資料管理棟		10,144.32		
	制作棟		1,375.53		
	西研究棟		7,574.00		
	マルチメディア研究施設		8,685.00		
	附属図書館	千葉市美浜区若葉2-11		353.00	
	セミナーハウス		5,724.67		
	若葉会館		1,570.47		
	エネルギーセンター		1,871.42		
	門衛所		1,602.00		
	運動場		113.89		
	車庫・倉庫		114.80		
		455.00			
		44,082.59			
学習センター	北海道	札幌市北区北17条西8丁目(北海道大学内)	1,126.17	2,234.80	土地は北海道大学から借用
	旭川※	旭川市常磐公園(旭川市常盤館内)	—	179.82	旭川市から借用
	青森	弘前市文京町3外(弘前大学文京町地区内)	6.36	361.36	弘前大学から借用
	八戸※	八戸市一番町1-9-22(八戸地域地産産業振興センター内)	—	104.00	八戸市から借用
	岩手	盛岡市上田3-18-8(岩手大学構内)	860.39	1,719.91	土地は岩手大学から借用
	宮城	仙台市青葉区片平2-1-1(東北大学片平地区内)	3.02	1,260.64	東北大学から借用
	秋田	秋田市手形学園町1-1(秋田大学内)	525.35	1,046.92	土地は秋田大学から借用
	山形	山形市城南町1-1-1(霞城セントラル内)	—	320.40	山形県から借用
	福島	郡山市桑野1-22-21(郡山女子大学内)	—	546.05	郡山女子大学から借用
	いわき※	いわき市平字菱川町1-3(いわき市社会福祉センター4階)	—	105.17	いわき市社会福祉協会から借用
	茨城	水戸市文京2-1-1(茨城大学内)	749.51	1,248.79	土地は茨城大学から借用
	栃木	宇都宮市峰町350(宇都宮大学内)	967.93	1,506.57	土地は宇都宮大学から借用
	群馬	前橋市若宮町1-13-2	3,355.28	2,516.87	土地は関東財務局から借用
	埼玉	さいたま市大宮区錦町682-2(大宮情報文化センター内)	562.96	2,821.50	8.9.10階部分区分所有土地はさいたま市から借用
	千葉	千葉市美浜区若葉2-11(放送大学本部敷地内)		3,431.70	
	東京渋谷	渋谷区道玄坂1-10-7	—	542.09	五島育英会から借用
	東京文京	文京区大塚3-29-1	3,425.26	5,941.00	土地は筑波大学から借用
	東京足立	足立区千住5-13-5(学びピア21内)	—	547.50	足立区から借用
	東京多摩	小平市学園西町1-29-1(一橋大学小平国際キャンパス内)	1,127.50	2,127.05	土地は一橋大学から借用
	神奈川	横浜市南区大岡2-31-1	3,673.26	3,209.49	土地は関東財務局から借用
	新潟	新潟市中央区旭町通1番町754(新潟大学旭町地区内)	703.83	1,406.16	土地は新潟大学から借用
	富山	射水市黒川5180(富山県立大学内)	—	371.65	富山県から借用
	石川	野々市市扇が丘7-1(金沢工業大学内)	—	749.59	金沢工業大学から借用
	福井	福井市手寄1-4-1(AOSSA7階)	—	410.15	福井県から借用

区分	所在地	土地(m <sup>2</sup> )	建物(m <sup>2</sup> )	備考	
学習センター	山梨	甲府市武田4-4-37(山梨大学内)	650.91	1,365.93	土地は山梨大学から借用
	長野	諏訪市諏訪1-6-1(アーク諏訪3階)	—	411.89	諏訪市から借用
	岐阜	岐阜市藪田南5-14-53(岐阜県民ふれあい会館内)	—	499.00	岐阜県から借用
	静岡	三島市文教町1-3-93(静岡県立三島長陵高等学校内)	6.64	232.98	静岡県から借用
	浜松※	浜松市中央区早馬町2-1(クリエート浜松内)	—	168.96	浜松市から借用
	愛知	名古屋市西区則武町新町三丁目1-17(BIZrium名古屋5階)	—	715.78	イオンモールから借用
	三重	津市一身上津部田1234(三重県総合文化センター内)	—	318.80	三重県から借用
	滋賀	大津市瀬田大江町横谷1-5(龍谷大学瀬田キャンパス内)	—	495.30	龍谷大学から借用
	京都	京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939(キャンパスプラザ京都内)	—	759.10	京都市から借用
	大阪	大阪市天王寺区南河堀町4-88(大阪教育大学天王寺キャンパス内)	1,042.96	3,118.66	土地は大阪教育大学から借用
	兵庫	神戸市灘区六甲台町2-1(神戸大学六甲台キャンパス内)	900.95	1,838.28	土地は神戸大学から借用
	姫路※	姫路市本町68-290(イーグレひめじ内)	—	204.85	姫路市から借用
	奈良	奈良市北魚屋東町(奈良女子大学コラボレーションセンター内)	—	415.76	奈良女子大学から借用
	和歌山	和歌山市西高松1-7-20(和歌山大学松下会館内)	—	326.00	和歌山大学から借用
	鳥取	鳥取市富安2-138-4(鳥取市役所駅前庁舎内)	—	401.31	鳥取市から借用
	島根	松江市白湯本町43(スティックビル内)	—	443.45	松江市から借用
	岡山	岡山市北区津島中3-1-1(岡山大学構内)	729.84	1,453.15	土地は岡山大学から借用
	広島	広島市中区東千田町1-1-89(広島大学東千田地区内)	1,282.13	2,413.40	土地は広島大学から借用
	福山※	福山市霞町1-10-1(まなびの館ローズコム内)	—	134.42	福山市から借用
	山口	山口市吉田1677-1(山口大学内)	—	600.00	山口大学から借用
	徳島	徳島市新蔵町2-24(徳島大学日蓮会館内)	—	434.00	徳島大学から借用
	香川	高松市幸町1-1(香川大学内)	851.80	1,666.17	土地は香川大学から借用
	愛媛	松山市文京町3(愛媛大学内)	784.03	1,595.82	土地は愛媛大学から借用
	高知	高知市曙町2-5-1(高知大学内)	40.32	980.45	高知大学から借用
	福岡	春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内)	38.78	1,319.56	九州大学から借用
	北九州※	北九州市八幡西区黒崎3-15-3(コムシティ3階)	—	168.80	北九州市から借用
	佐賀	佐賀市天神3-2-11(アバンセ内)	—	189.52	佐賀県から借用
長崎	長崎市文教町1番14号(長崎大学文教地区キャンパス内)	298.35	1,093.52	土地は長崎大学から借用	
熊本	熊本市中央区黒髪2-40-1(熊本大学内)	723.95	1,112.58	土地は熊本大学から借用	
大分	別府市北石垣82(別府大学別府キャンパス内)	—	614.28	別府大学から借用	
宮崎	日向市本町11-11	573.61	413.00	日向市から借用	
鹿児島	鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)	0.17	528.67	鹿児島県から借用	
沖縄	沖縄県中頭郡西原町字千原1(琉球大学内)	809.88	1,592.44	土地は琉球大学から借用	

(注)※はサテライトスペースを示す。

## 建物配置図



## 放送大学学園の予算

### 令和6年度(2024会計年度)収入支出予算

(単位:百万円)

収 入				支 出			
科 目	前年度 予算額	当年度 予算額	比較増 △減額	科 目	前年度 予算額	当年度 予算額	比較増 △減額
(款)事業収入 (項)授業料及入学検定料	5,447	5,553	106	(項)放送大学学園運営費	13,017	13,034	17
(款)事業外収入 (項)雑収入	178	180	2	(項)特別修繕費	203	300	97
(款)特別修繕準備金収入 (項)特別修繕準備金収入	203	300	97	(項)放送大学学園施設整備費	391	—	△391
(款)補助金収入 (項)国庫補助金	7,783	7,301	△482	(項)受託研究等事業費	15	13	△2
(款)受託収入 (項)受託収入	15	13	△2				
合 計	13,626	13,347	△279	合 計	13,626	13,347	△279

(注)単位未満四捨五入のため、合計に符合しないことがある。

# Chapter 15 放送大学学園案内図

## 学園周辺案内図



## 交通案内

### 1 電車利用

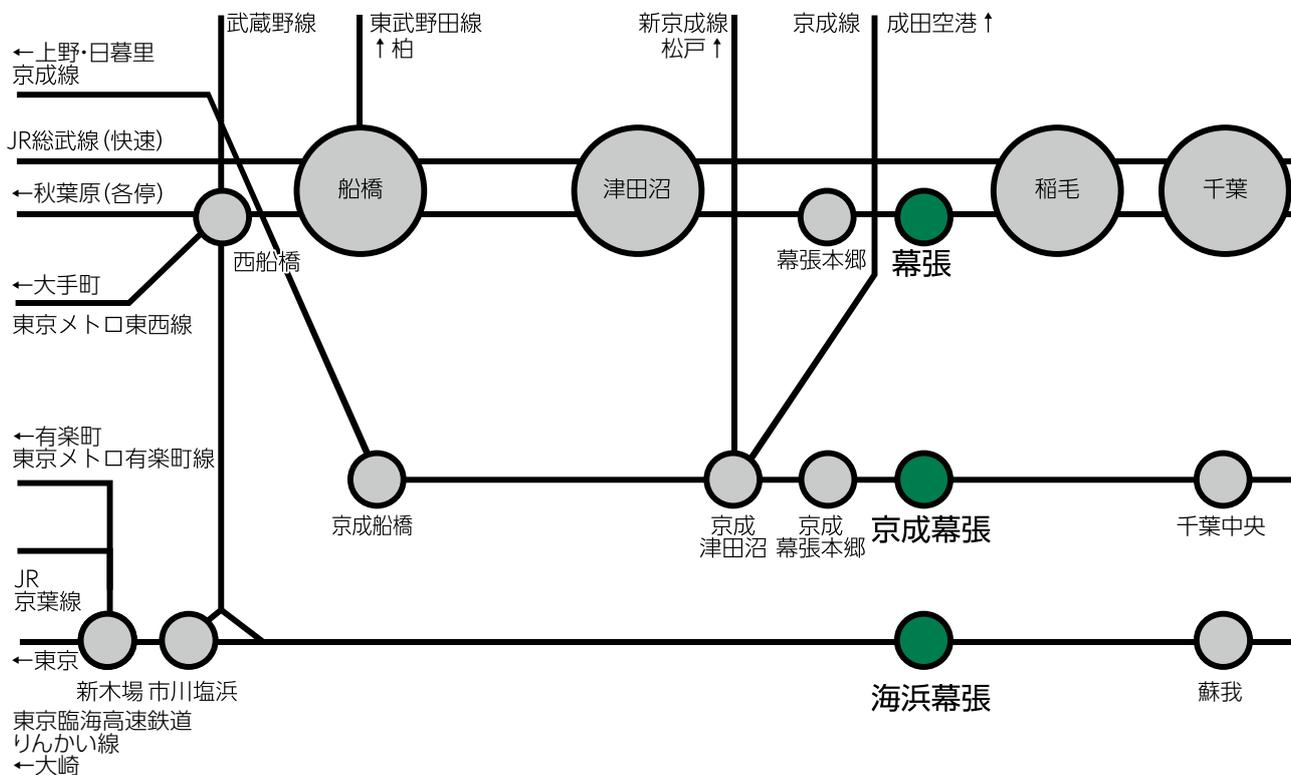
- JR総武線幕張駅  
京成千葉線幕張駅 } 下車  
海岸方向へ1km(徒歩15分)
- JR京葉線海浜幕張駅 下車  
北方向へ1km(徒歩15分)

### 2 路線バス利用

- JR幕張駅(北口)より千葉シーサイドバスで「総合教育センター」下車(所要約5分)
- 京成幕張駅より京成バスで「総合教育センター」下車(所要約5分)
- JR海浜幕張駅(北口)より千葉シーサイドバス、京成バスで「総合教育センター」下車(所要約5分)

### 3 車利用 (東京方面から)

- 首都高速→京葉道路→幕張I.C.  
→幕張5丁目信号右折400m
- 首都高速→東関東自動車道→湾岸習志野I.C.  
→1km(2つ目の信号左折)





〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11  
TEL.043-276-5111(総合受付)